

原作

KAKERU

漫画

瀬口たかひろ

Story: KAKERU Comic: Takahiro Seguchi

7

織津江大志の 異世界クソ娘 サバイバル日誌

The otherworldly
survival diary
of a young man
with creature girls.

Champion
RED Comics
RED



原作

KAKERU

織津江君は、ちょっとでも生存可能性あるとすぐに生活環境確保しやがるなあ。
でも生存可能性ないところに放り込むと生存可能性無いから死ぬなあ。



漫画

せぐち 瀬口たかひろ

オリサバ愛読者の皆さんだけにこっそり教えます。
じつは5年間毎月50km走っても腹は凹みません！

織津江大志の 異世界クワリ娘 サバイバル日誌

The otherworldly survival diary
of a young man with creature girls.



原作

KAKERU

漫画

瀬口たかひろ

Story by KAKERU

Comic by Takahiro Seguchi



CONTENTS

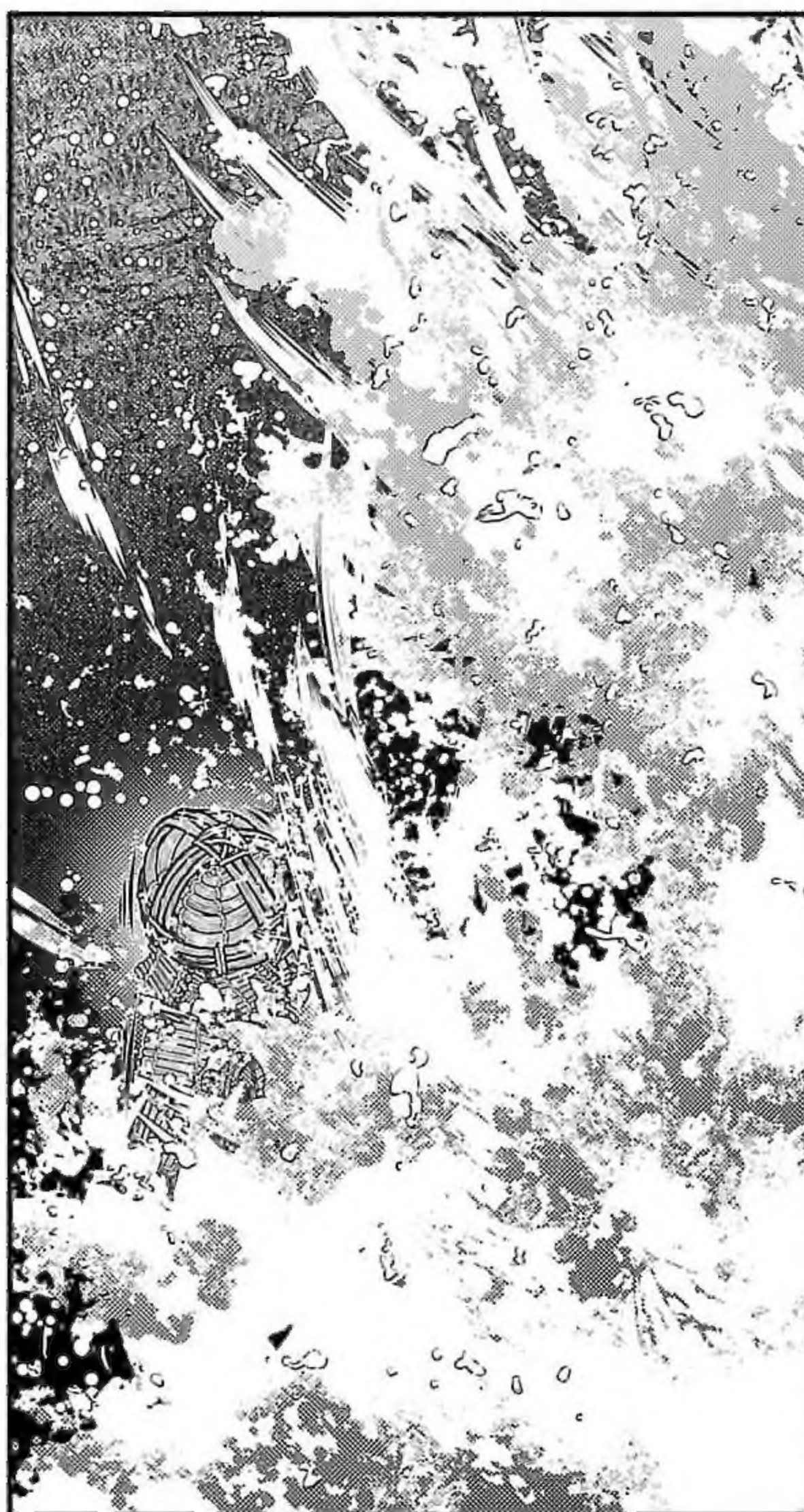
第36話	地球様には勝てんてーじやるよ	003
第37話	まだ本番じゃなかったんですか	031
第38話	刺身に抵抗ないのは強い	059
第39話	いきなりルナティックモードに挑戦するの好きだね	087
第40話	怪獣大決戦(ガチ)	115
第41話	過酷な環境は3時間で死ぬって言ったよね	143
あとがき		174

この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。



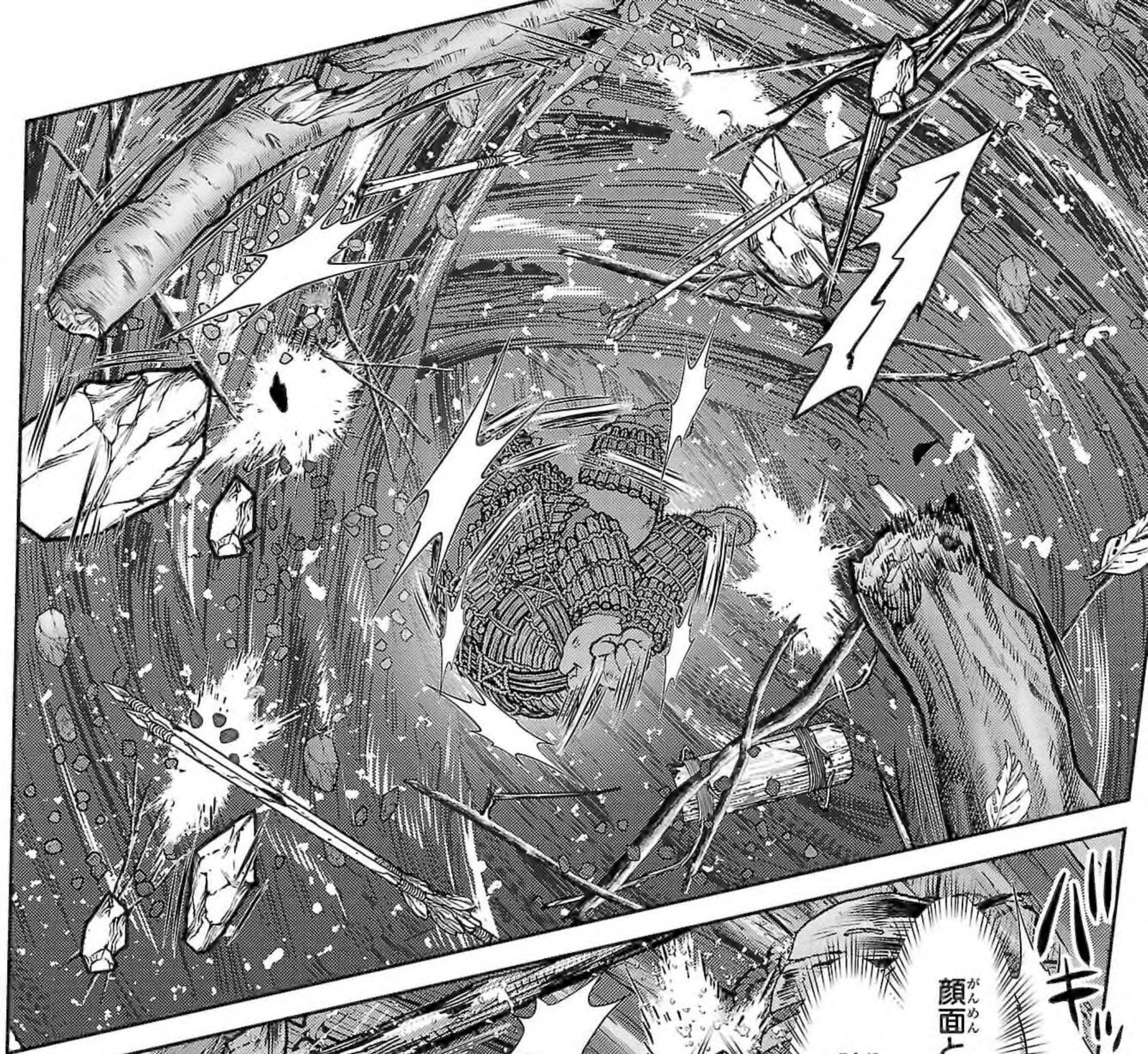
ちきゅうさま
第36話「地球様には勝てんでござるよ」











顔面と頭部…

防御…っ!!

激流とともに
襲いかかってくる
砂利や木片

岩

地面



oooooooooooo

ないっ

バキッ

バキッ

何も…っ!!

心臓の音がうるさい

いや陸地に
流されてるはず!!

落ち着け
僕なら1分以上
息を止めていられる

水圧が強くなってる!?
海底に
引き込まれてるんじゃない…

気のせい!!

とにかく瓦礫から頭部を守って
「海へ」のを待つ…!!



肺の浮腫が早じゃ
水に浮かないけど

肺の中の空気と
水の比重が等しければ
水に浮く…!!

絶対だに

信じろ!!!



長い…

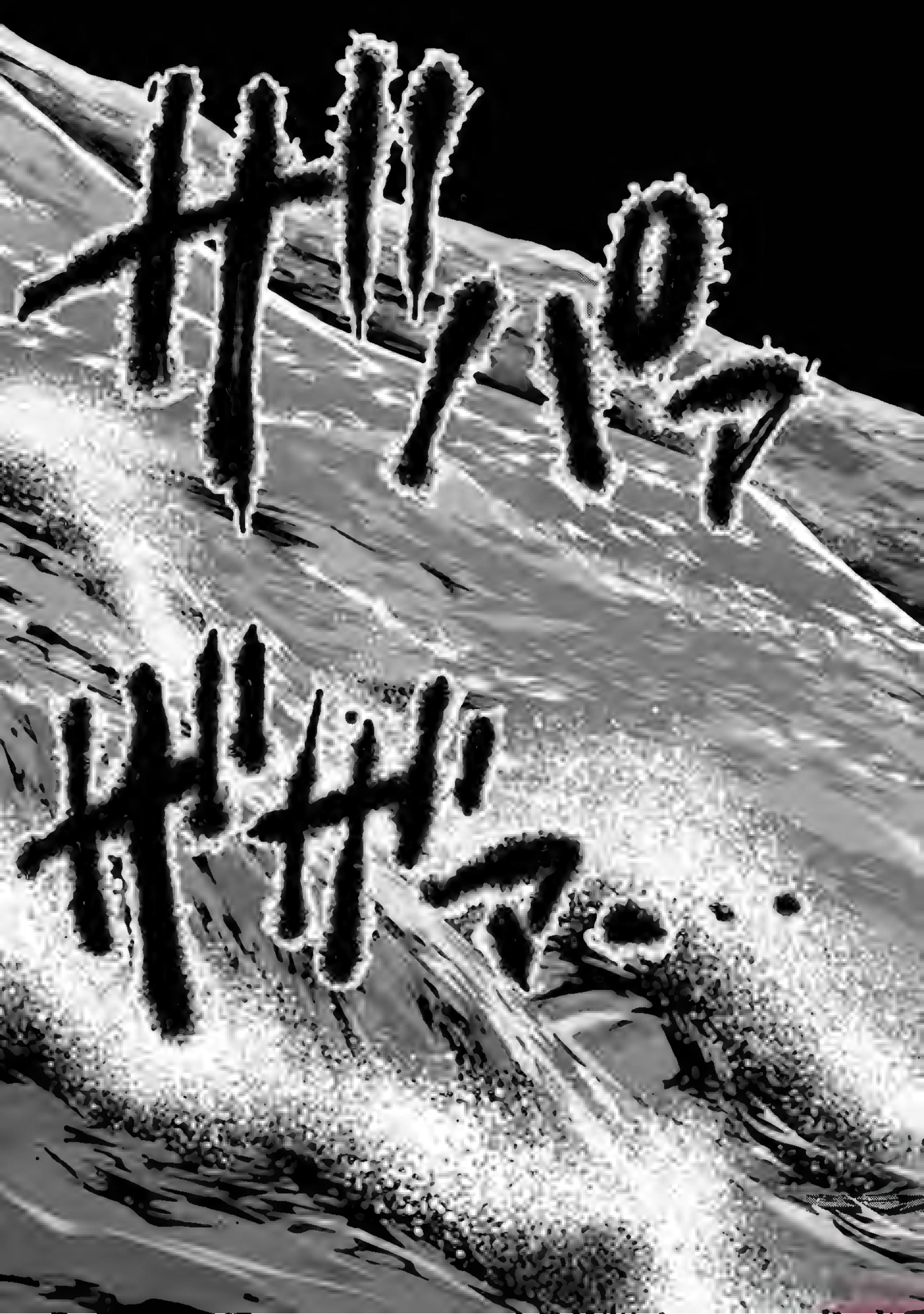
体感で5分とも
10分ともつかない
濁流と木片や
砂利による蹂躞

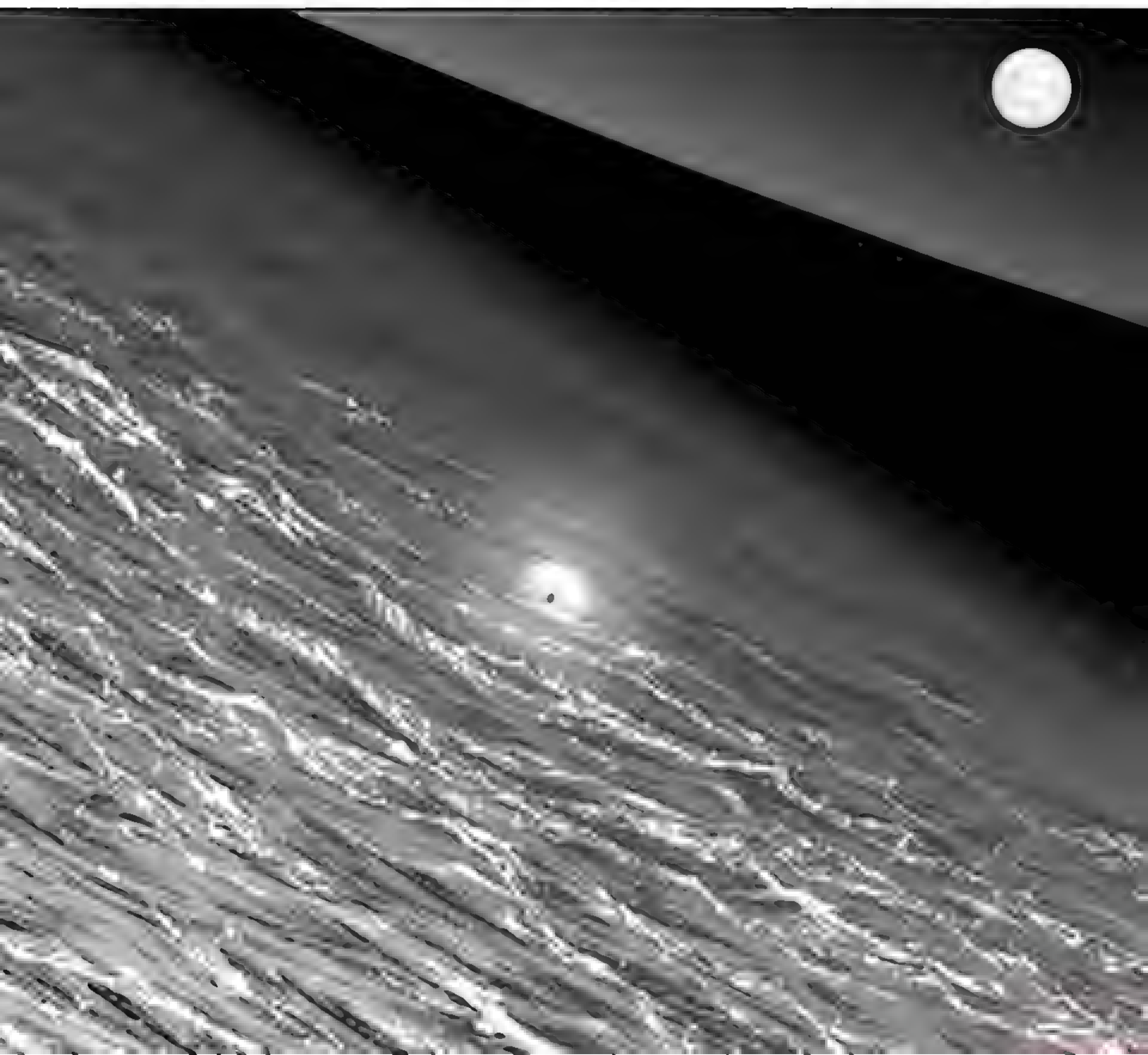
…

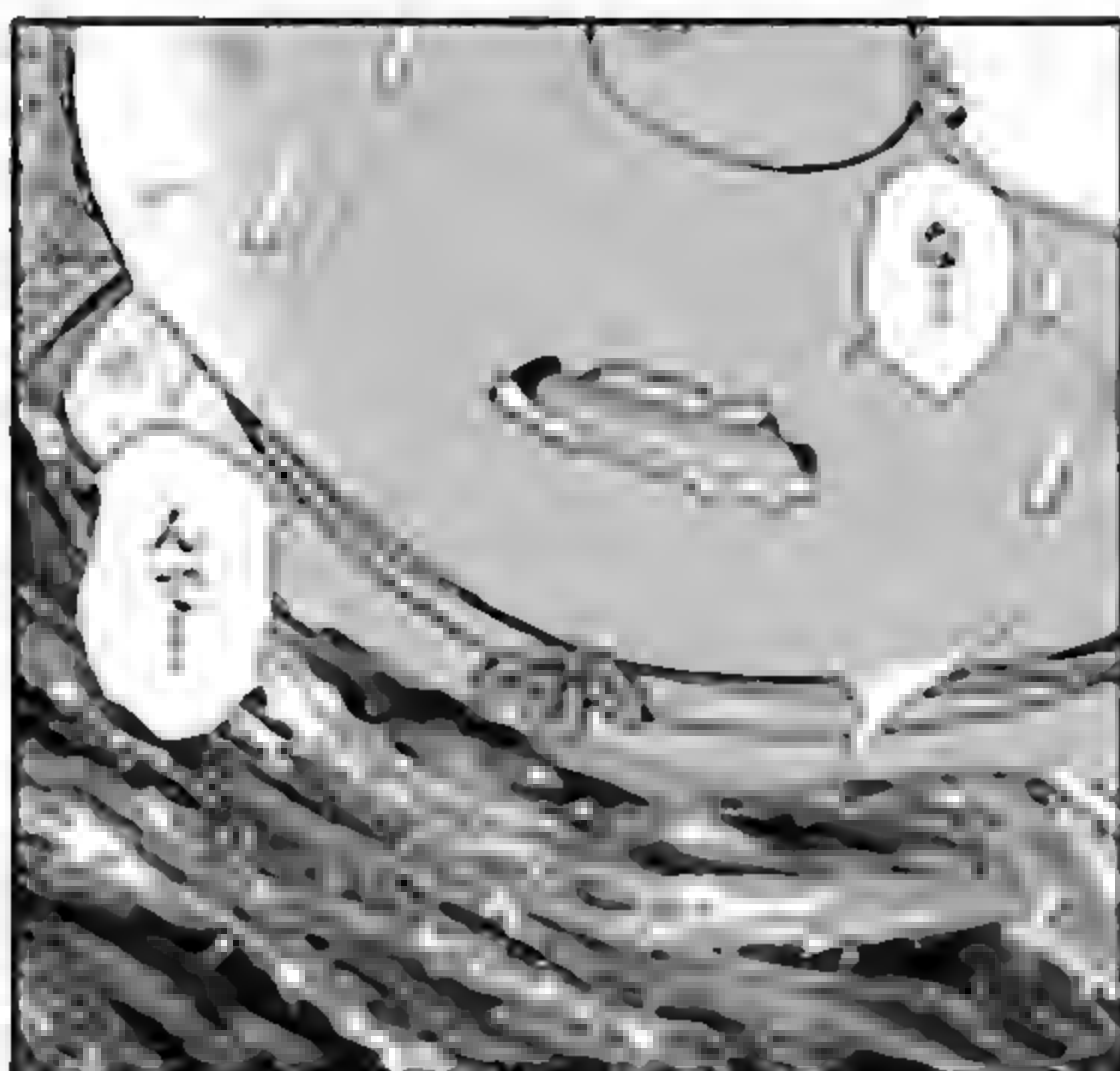
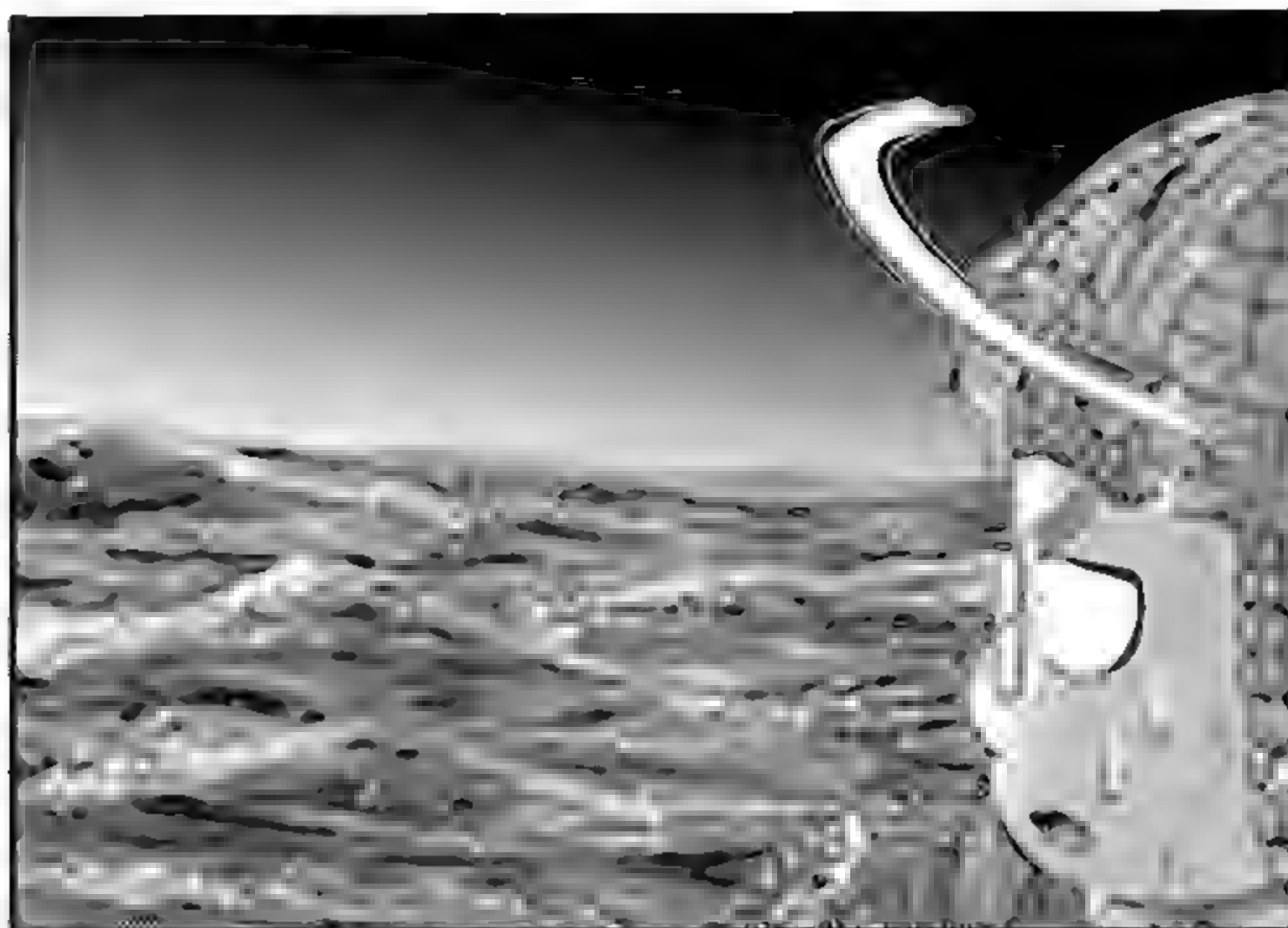
さ"は"

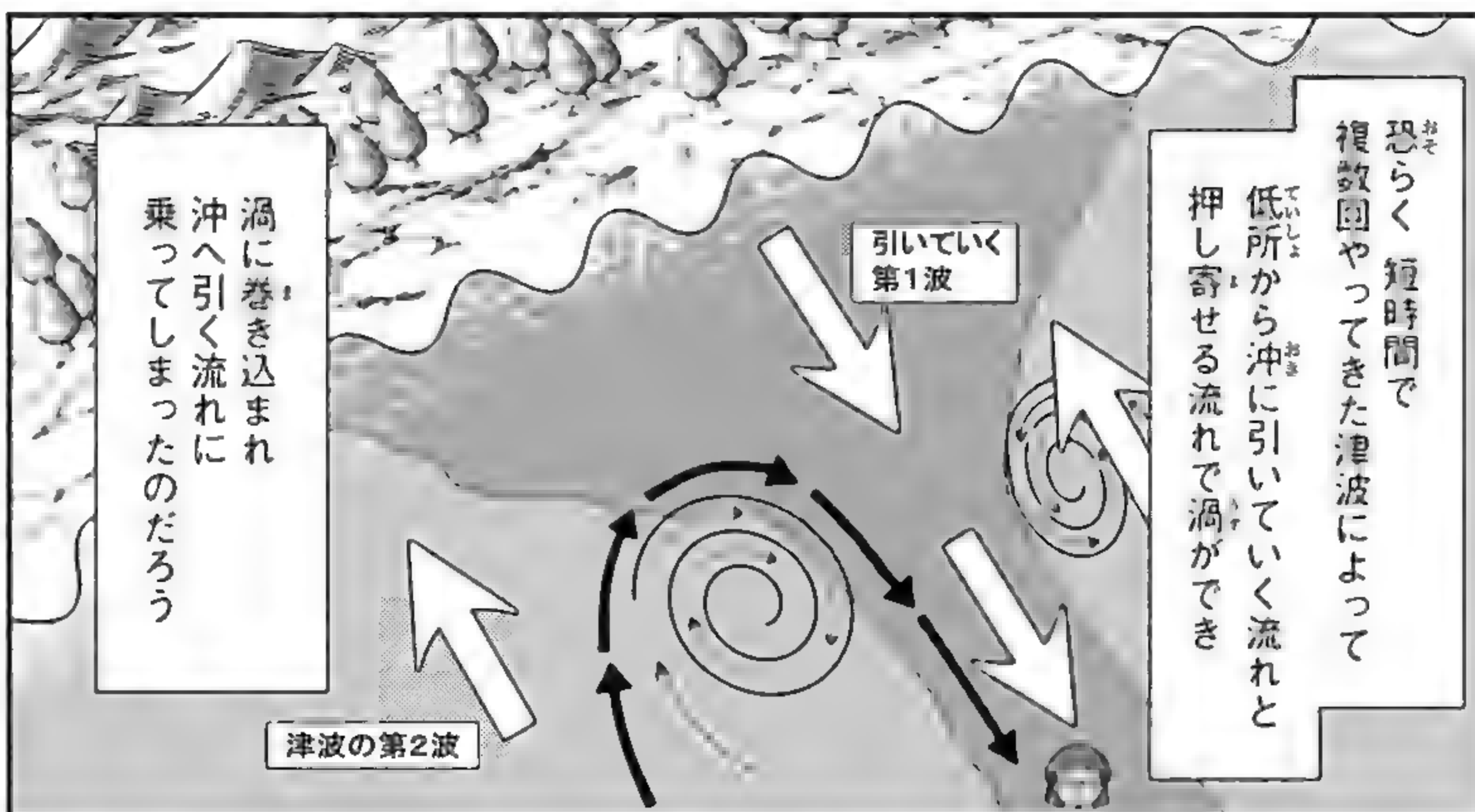
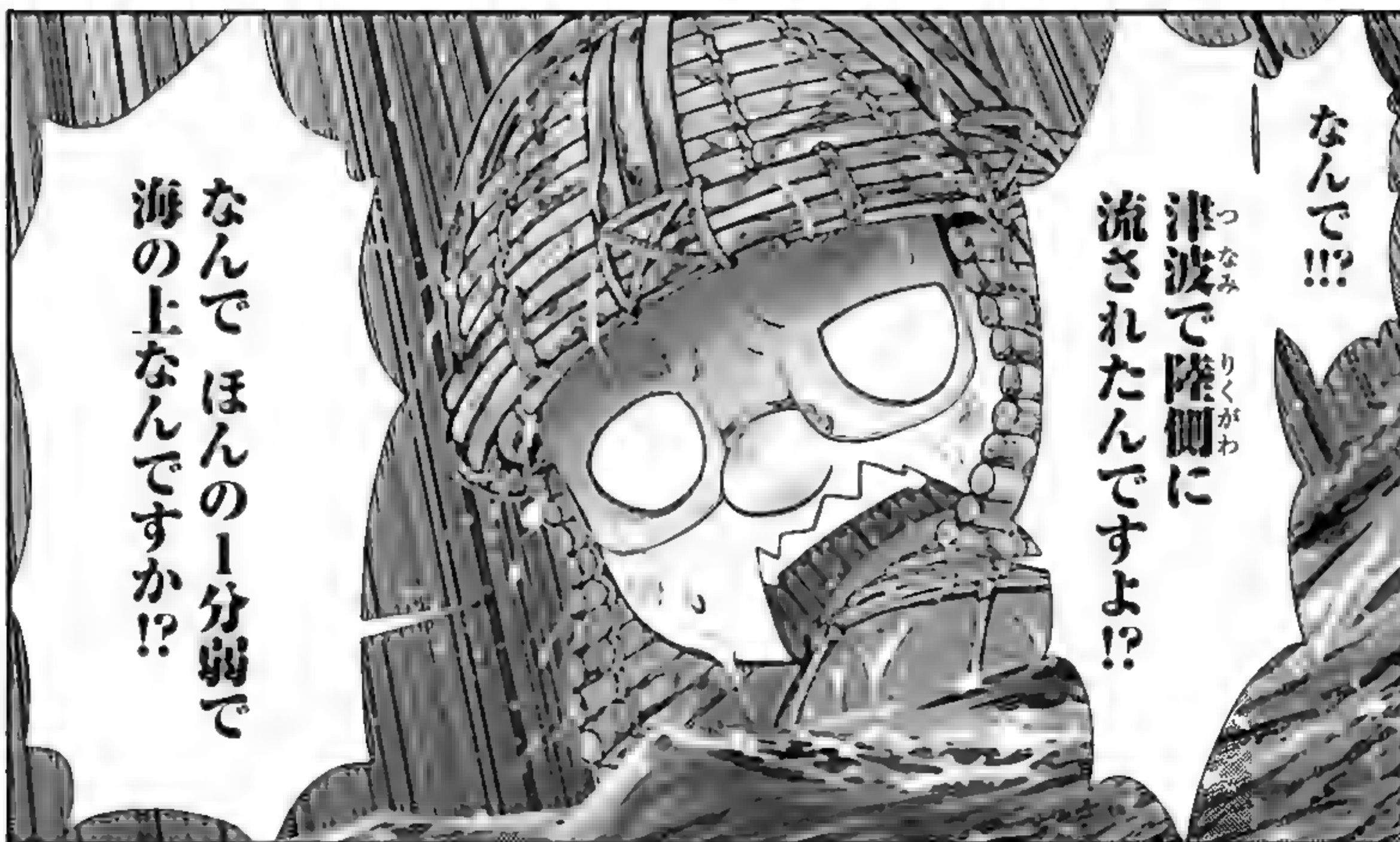
っ







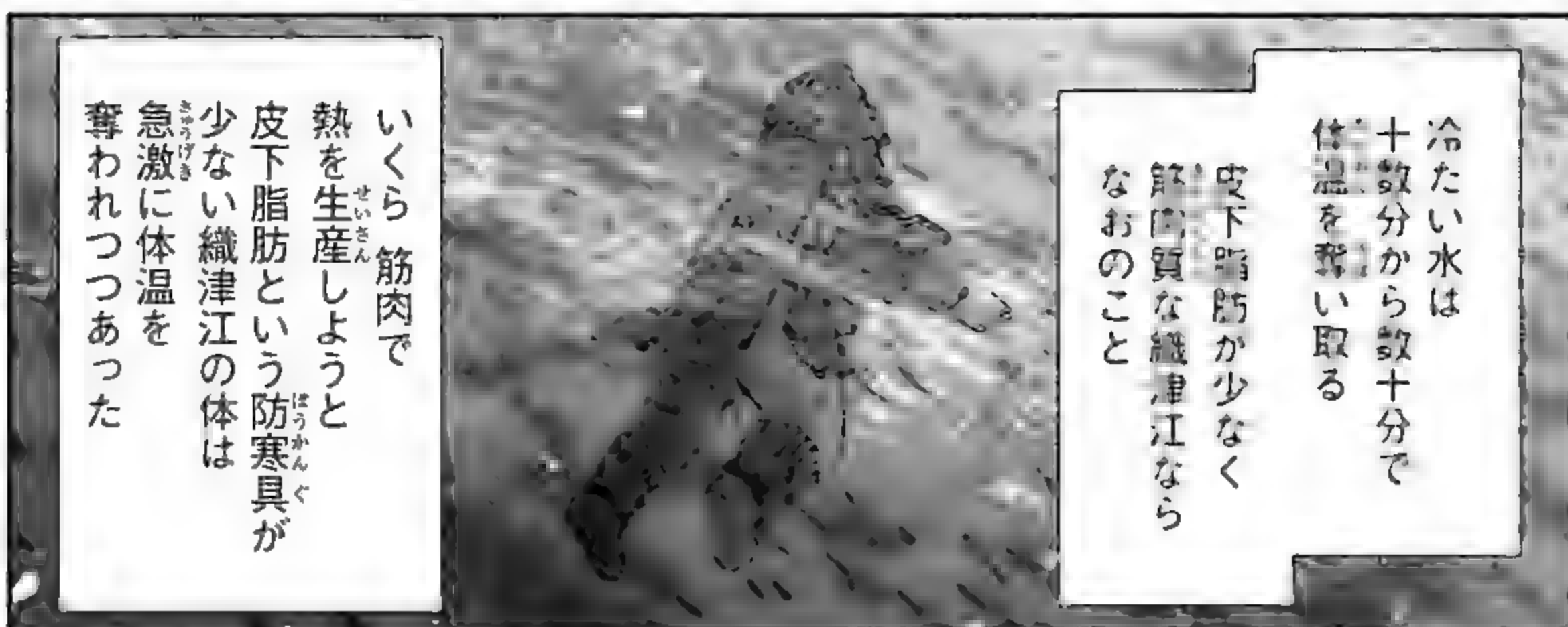






水が冷た過ぎる…

長くもたない…



冷たい水は
十数分から数十分で
体温を奪い取る

皮下脂肪が少なく
鮮肉質な織津江なら
なおのこと

いくら筋肉で
熱を生産しようと
皮下脂肪という防寒具が
少ない織津江の体は
急激に体温を
奪われつつあった



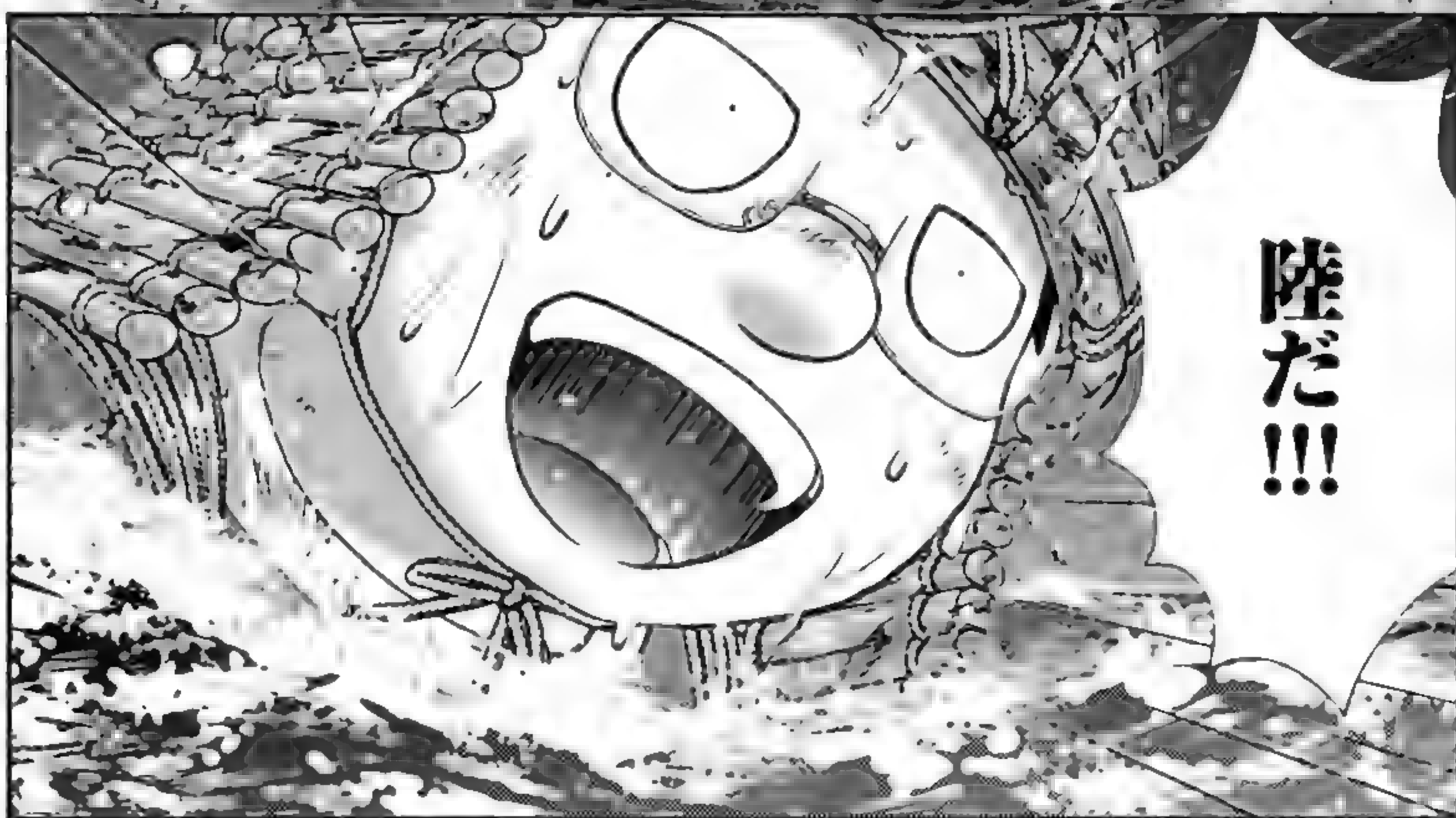
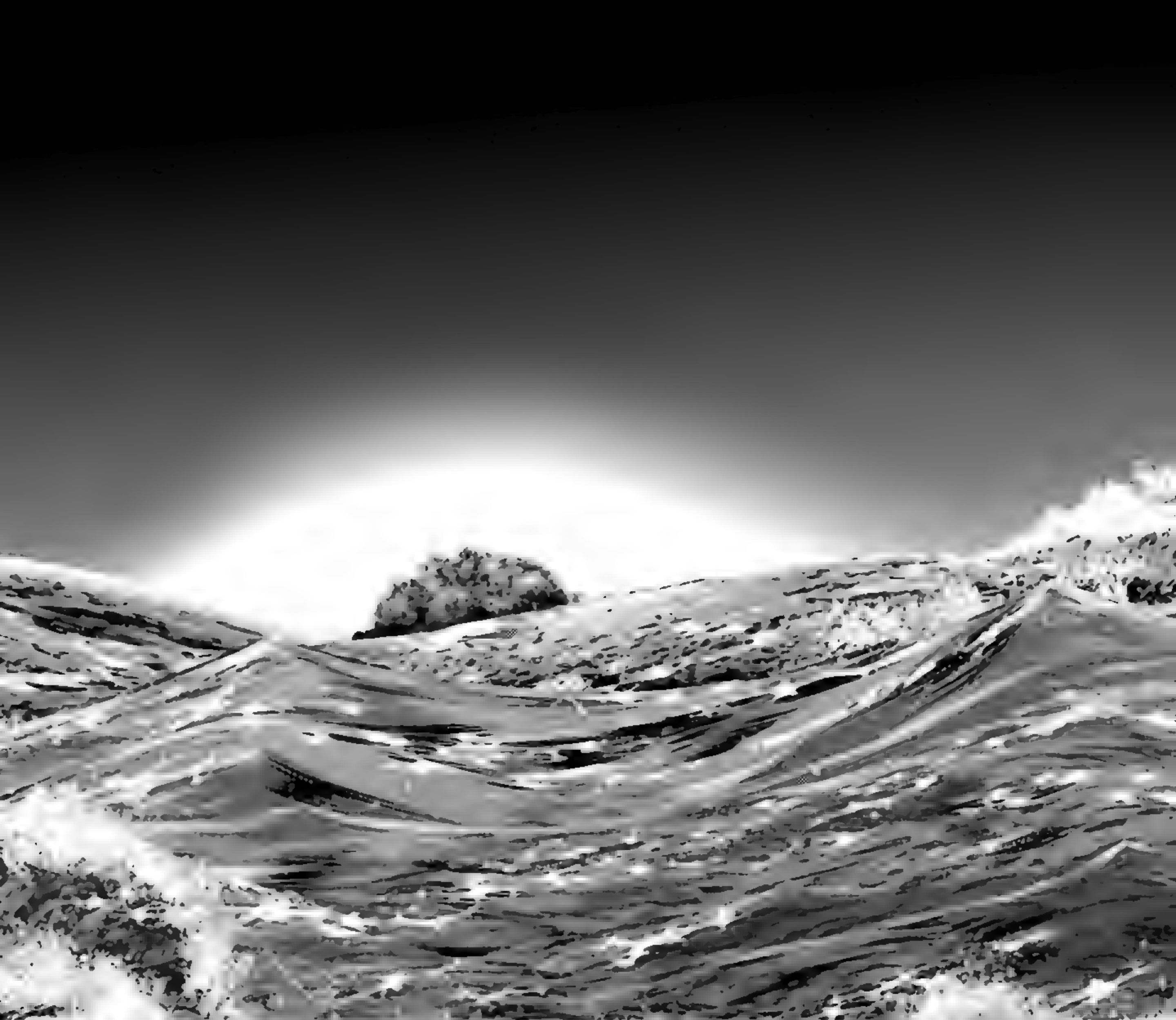
33

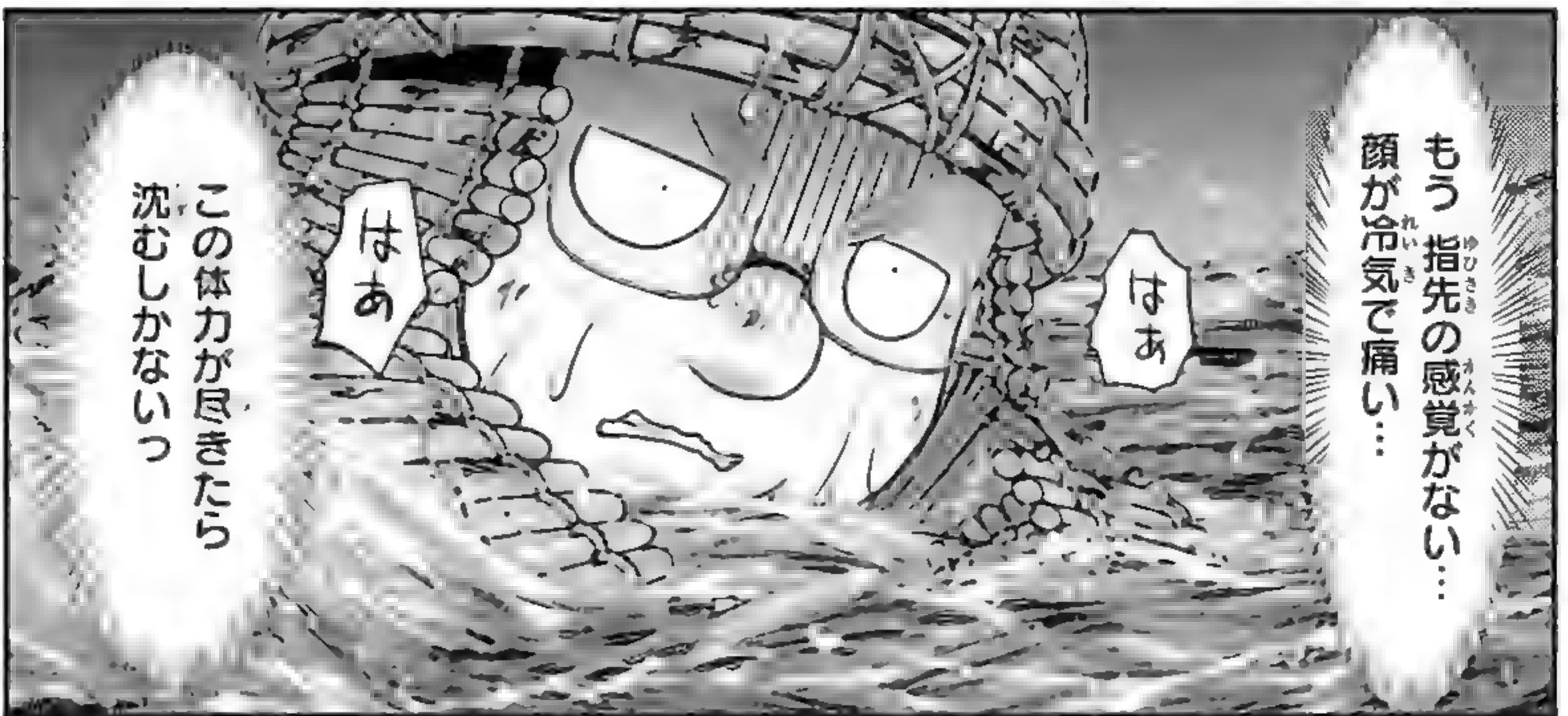
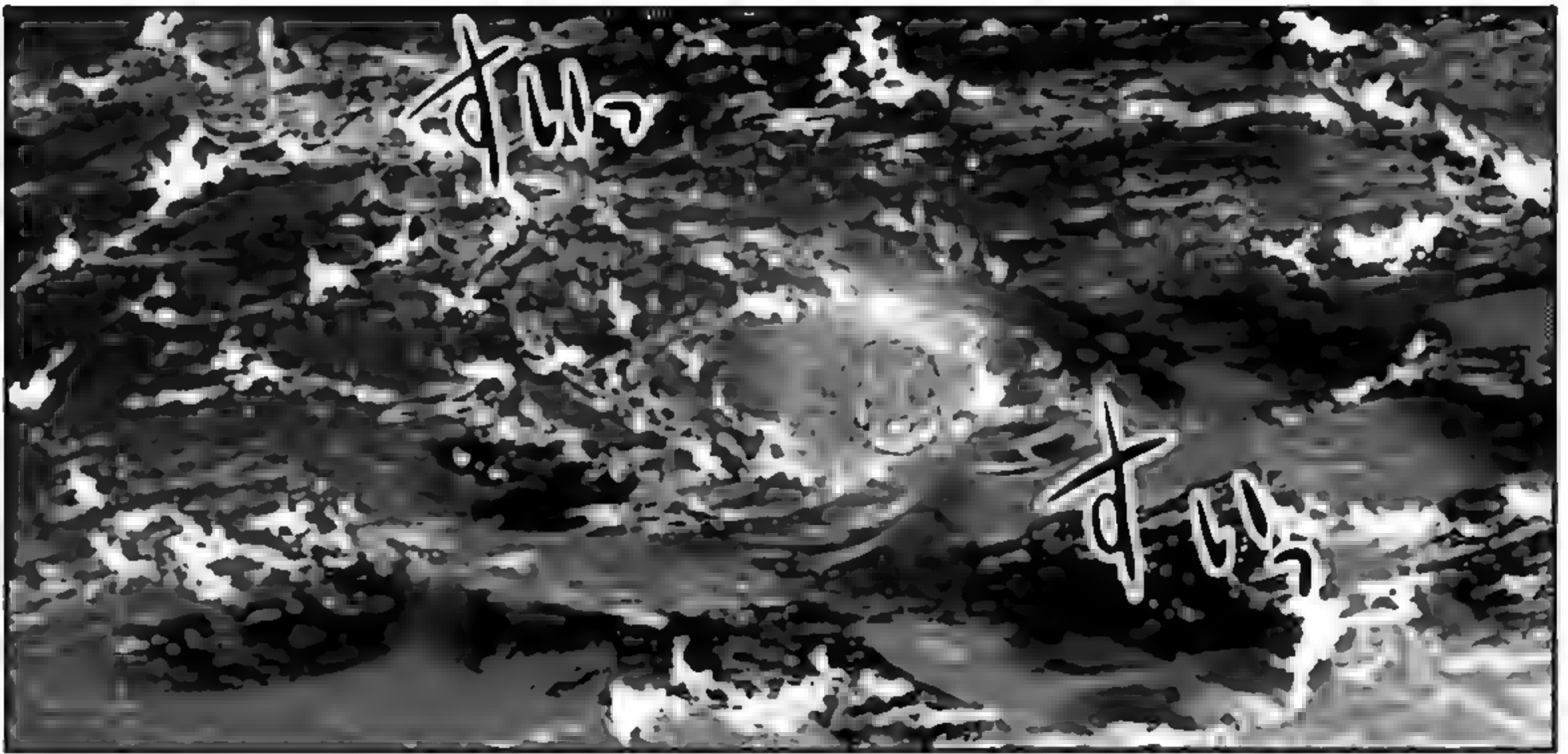


海中の恐るべきモンスターも
気にならないほどに
目の前に迫る「凍死」の脅威…

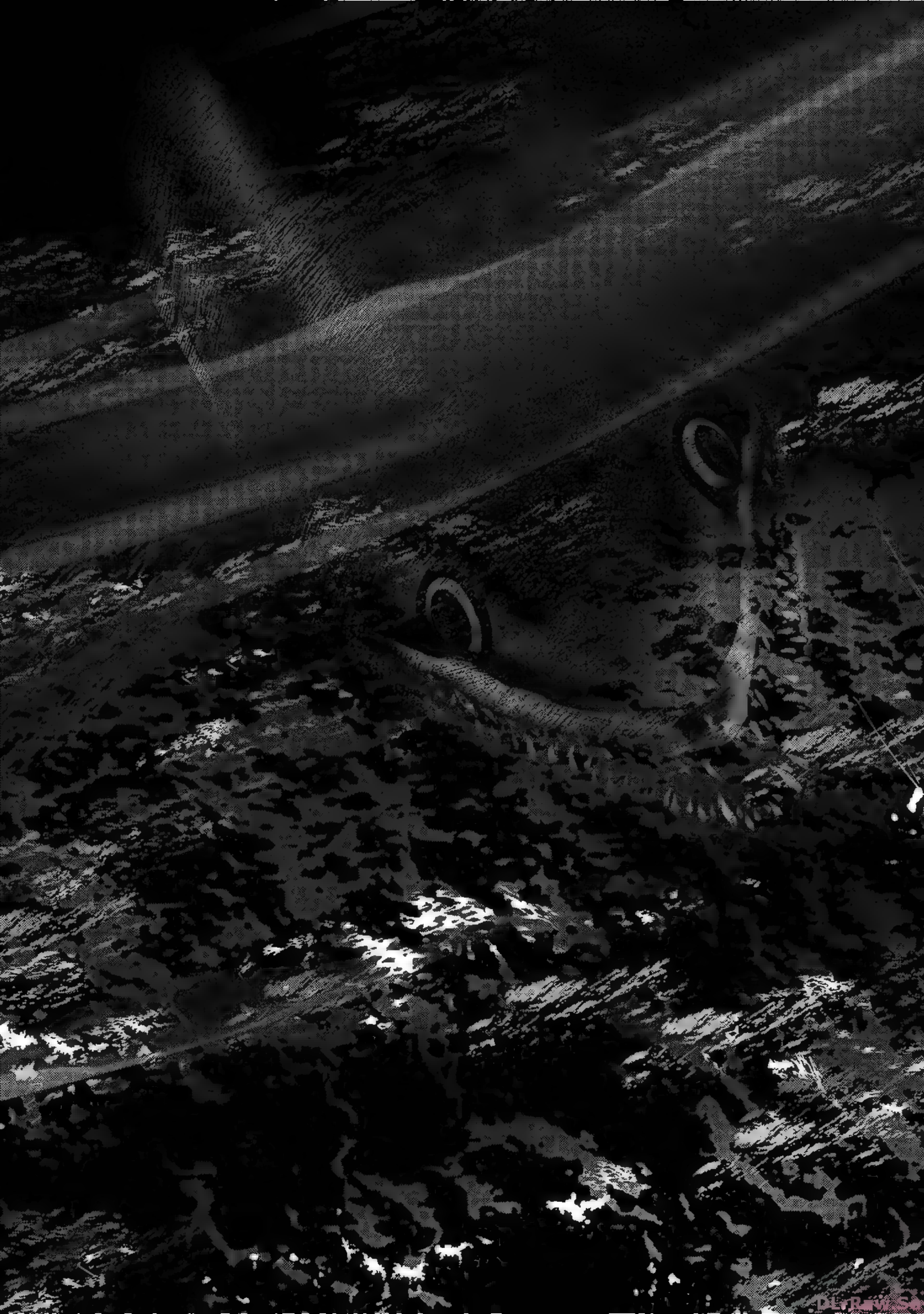
陸地…

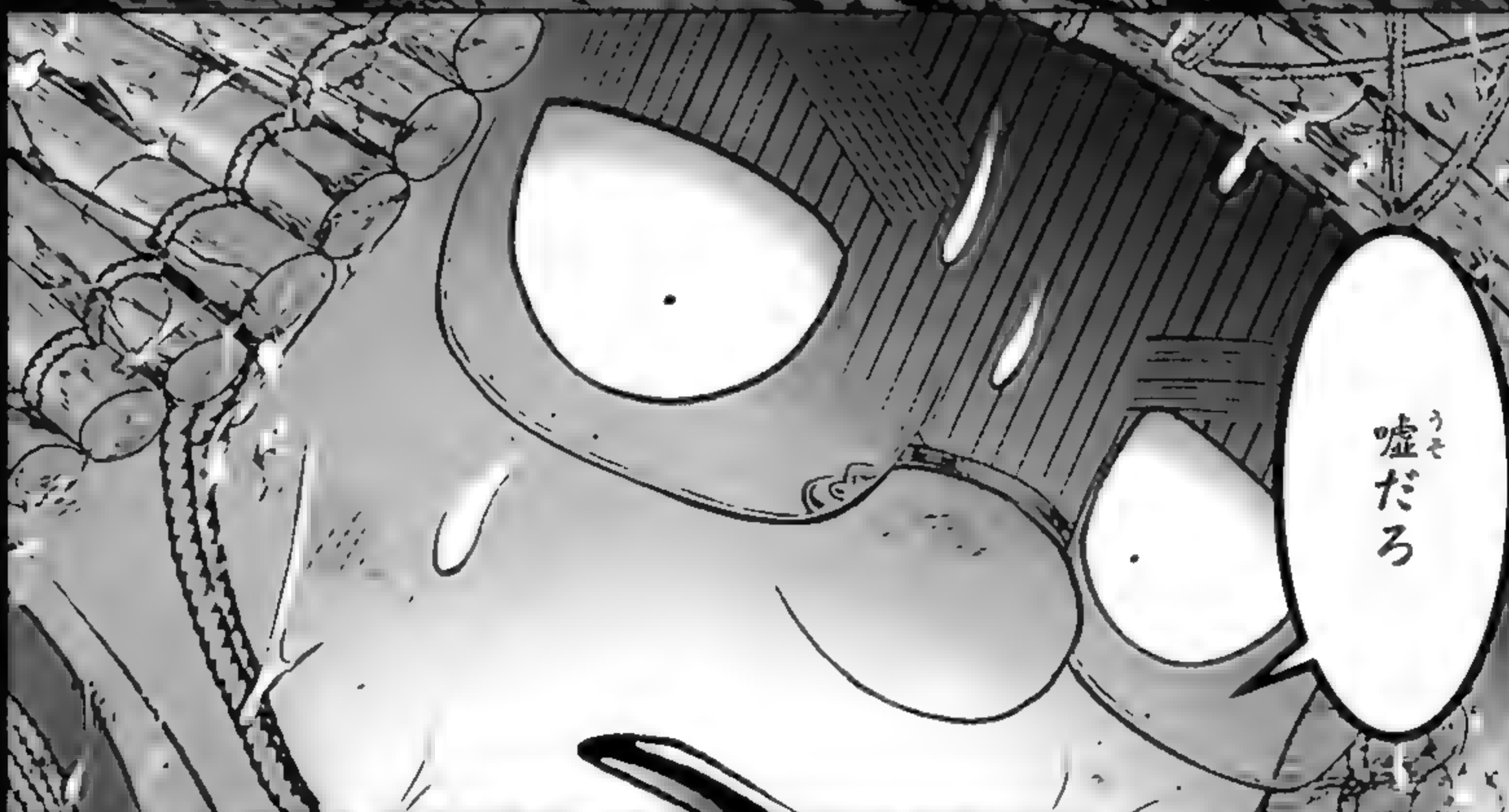
とにかく陸地を
探さないこと…

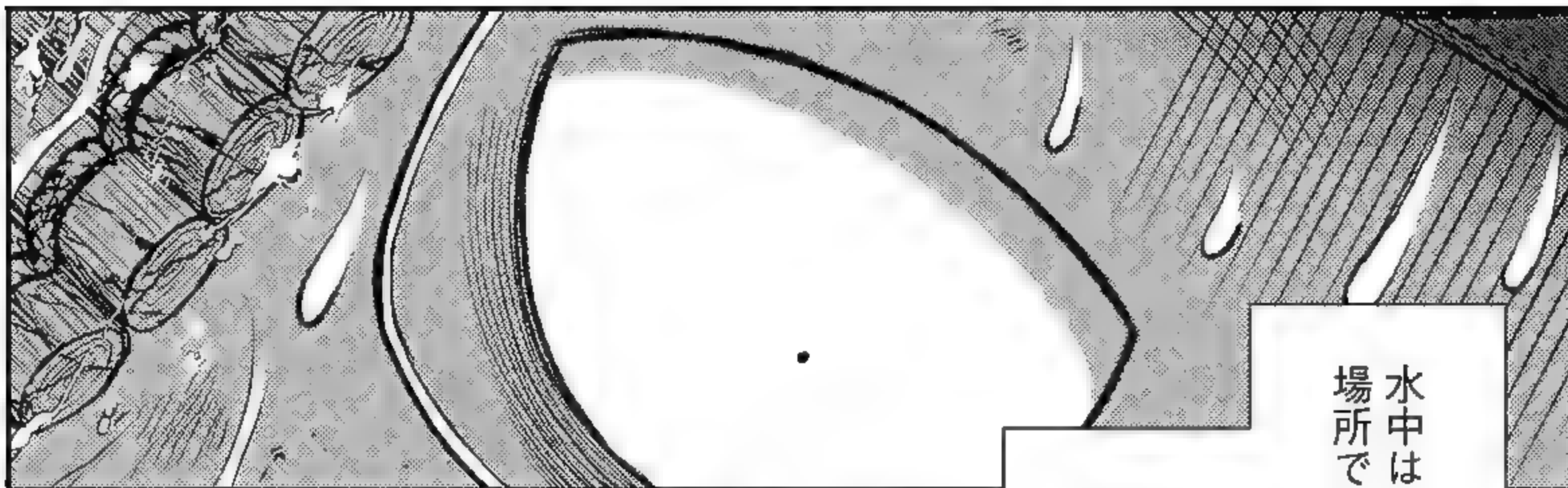










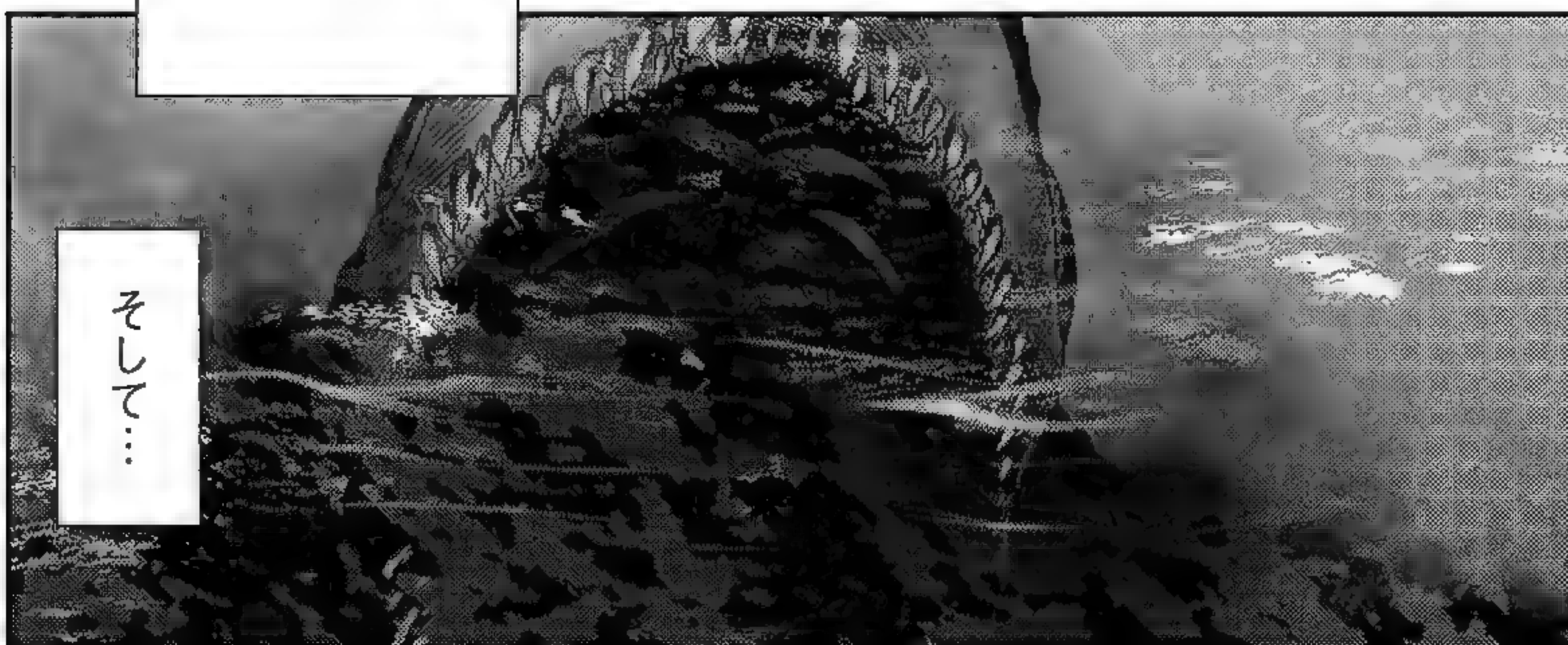
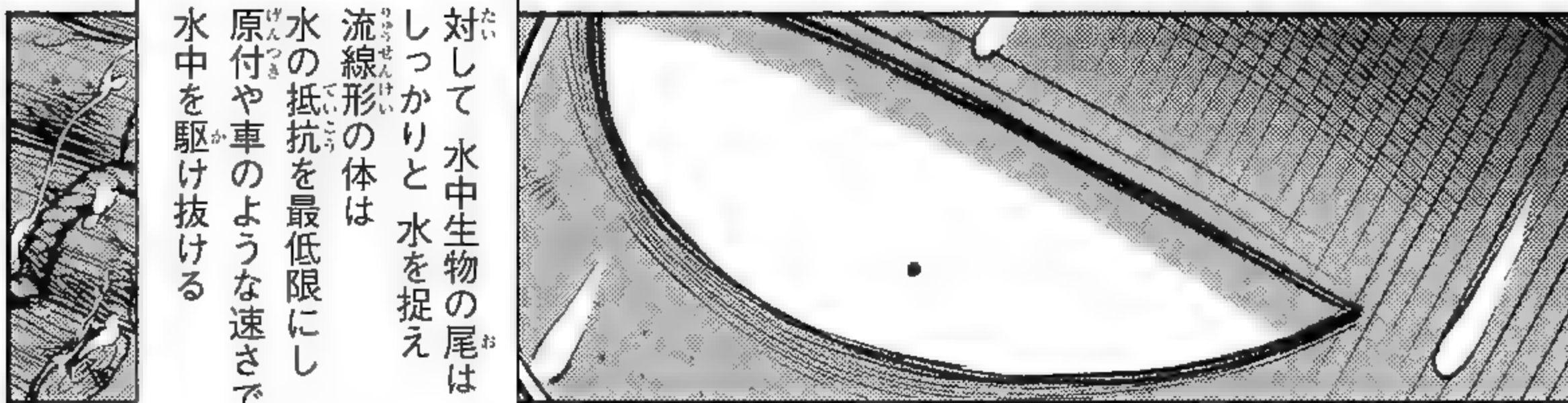


水中は人間が住む
場所ではない

あらゆる活動は制限され
1日に何十kmも走る
自慢の脚は
口々に水を掬えない



対して水中生物の尾は
しっかりと水を掬え
流線形の体は
水の抵抗を最低限にし
原付や車のような速さで
水中を駆け抜ける



そして…



シーサーペントの鼻先は
はなさき

鯨にさえ 致命傷を与える
「ちめいしょう」
あた

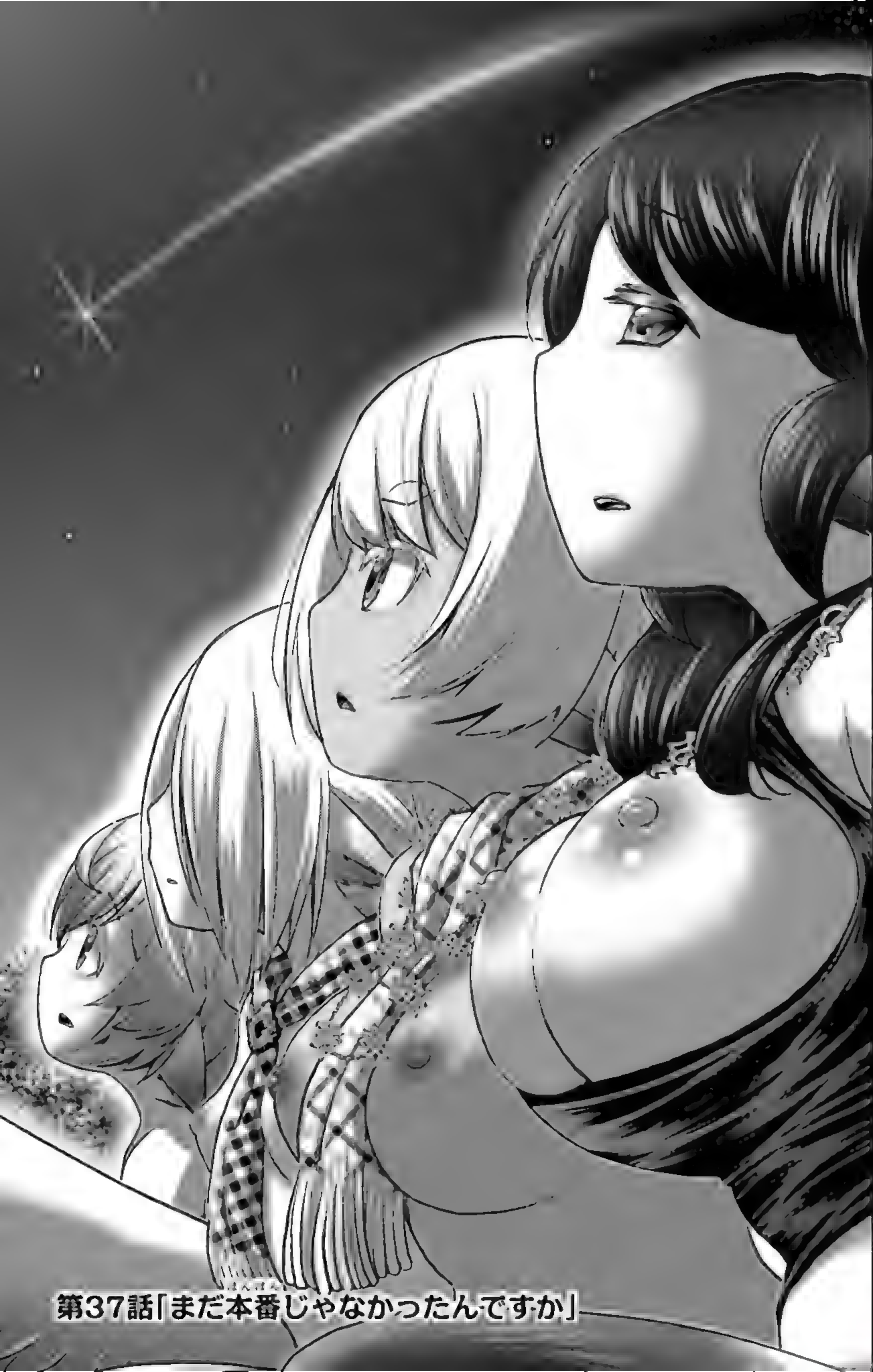








NEXT「まだ本番じゃなかったんですか」



第37話「まだ本番じゃなかったんですか」

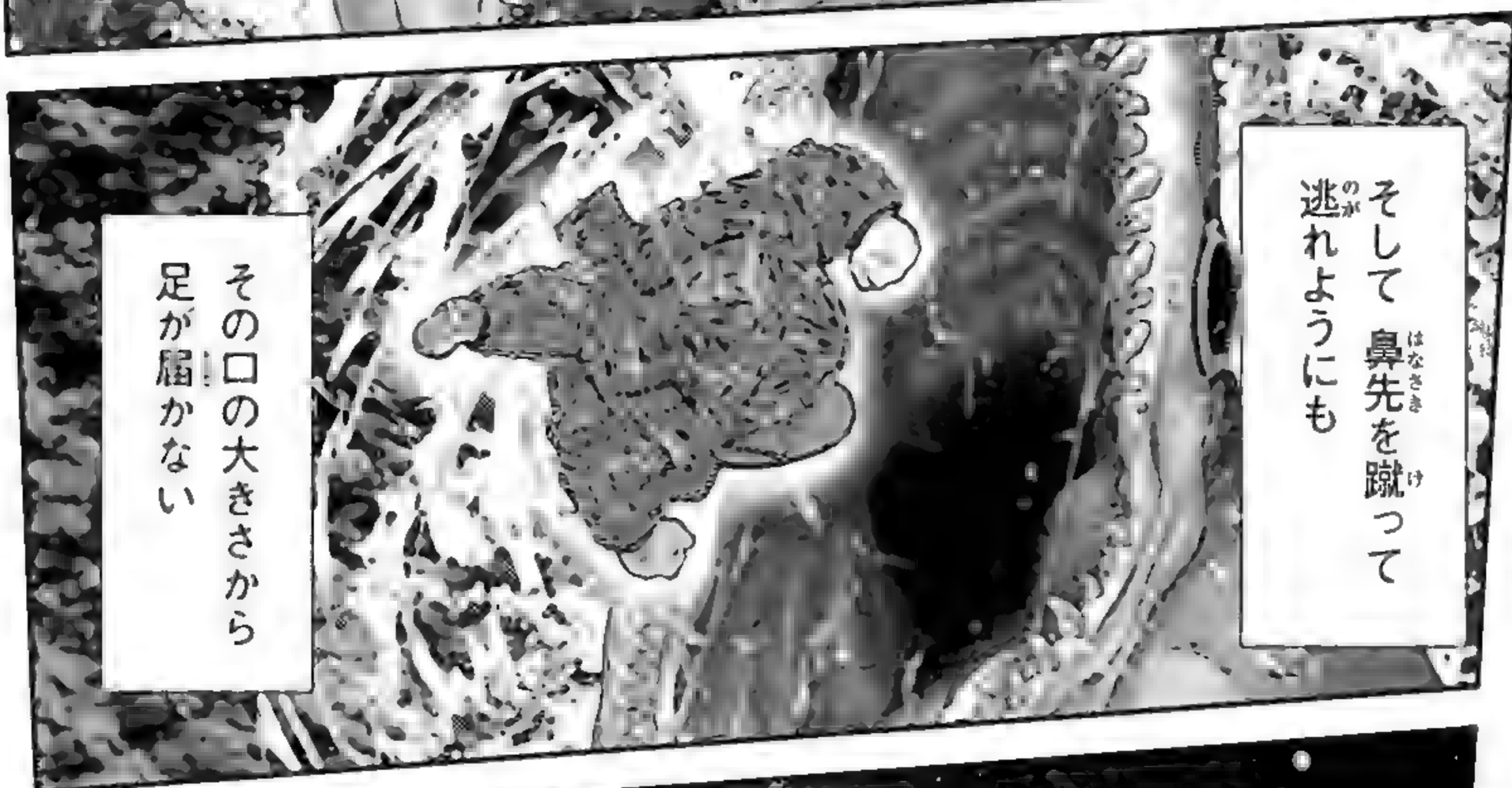




ワニのような口

その巨大さから
恐らく咬合力は
ワニを遥かに
超えるだろう

数人の咬合力で噛まれては
人間などひとたまりもない



そして鼻先を蹴って
逃れようにも

その口の大きさから
足が届かない



つまり



空中で小さく丸まることで
空気抵抗を減らし重力で加速
また広げることで減速

わずかな速度変化と
見た目の大きさ変化で
シーサーペントの
目測をわずかに誤らせ

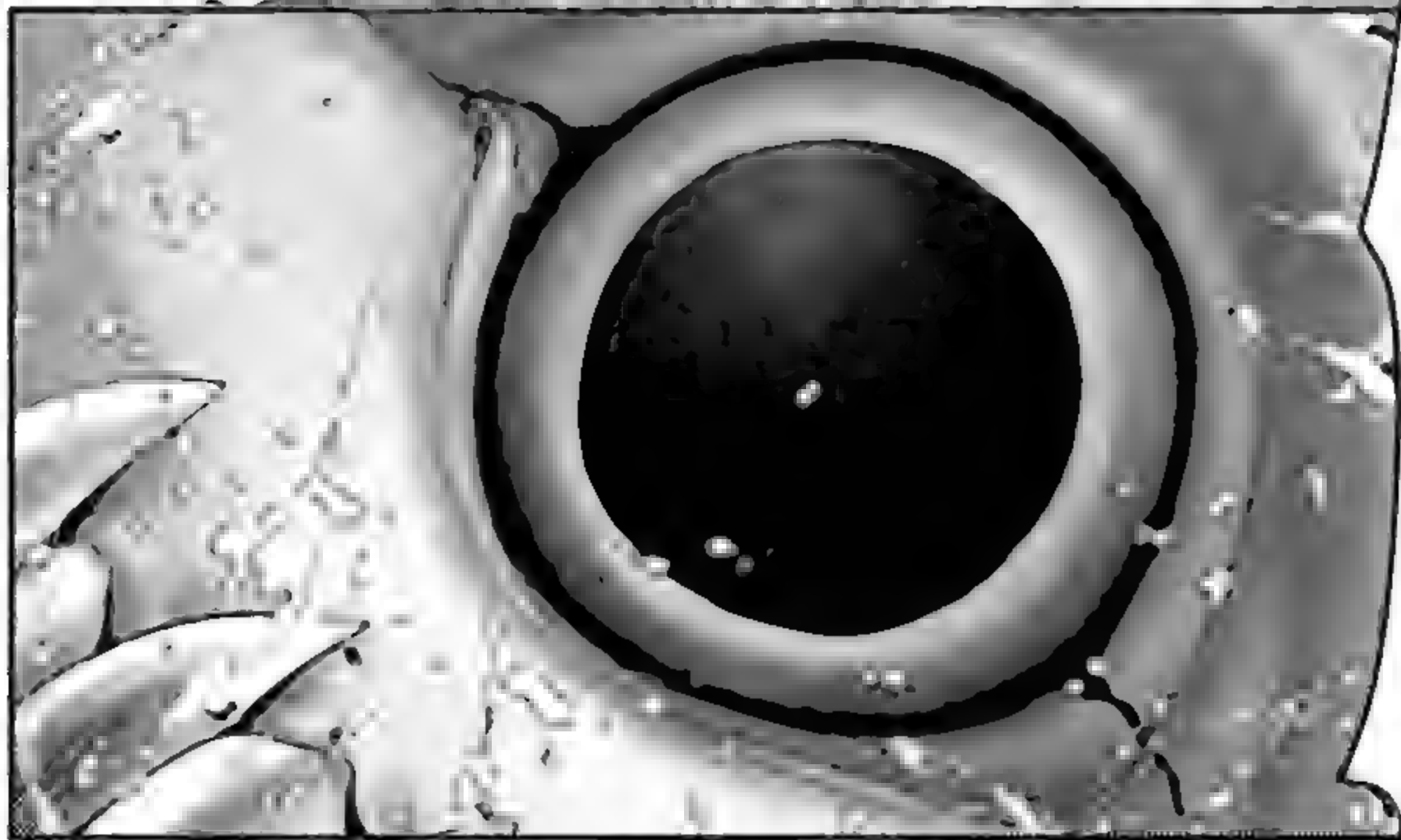
ギリギリ手が届いた牙を
支点に旋回

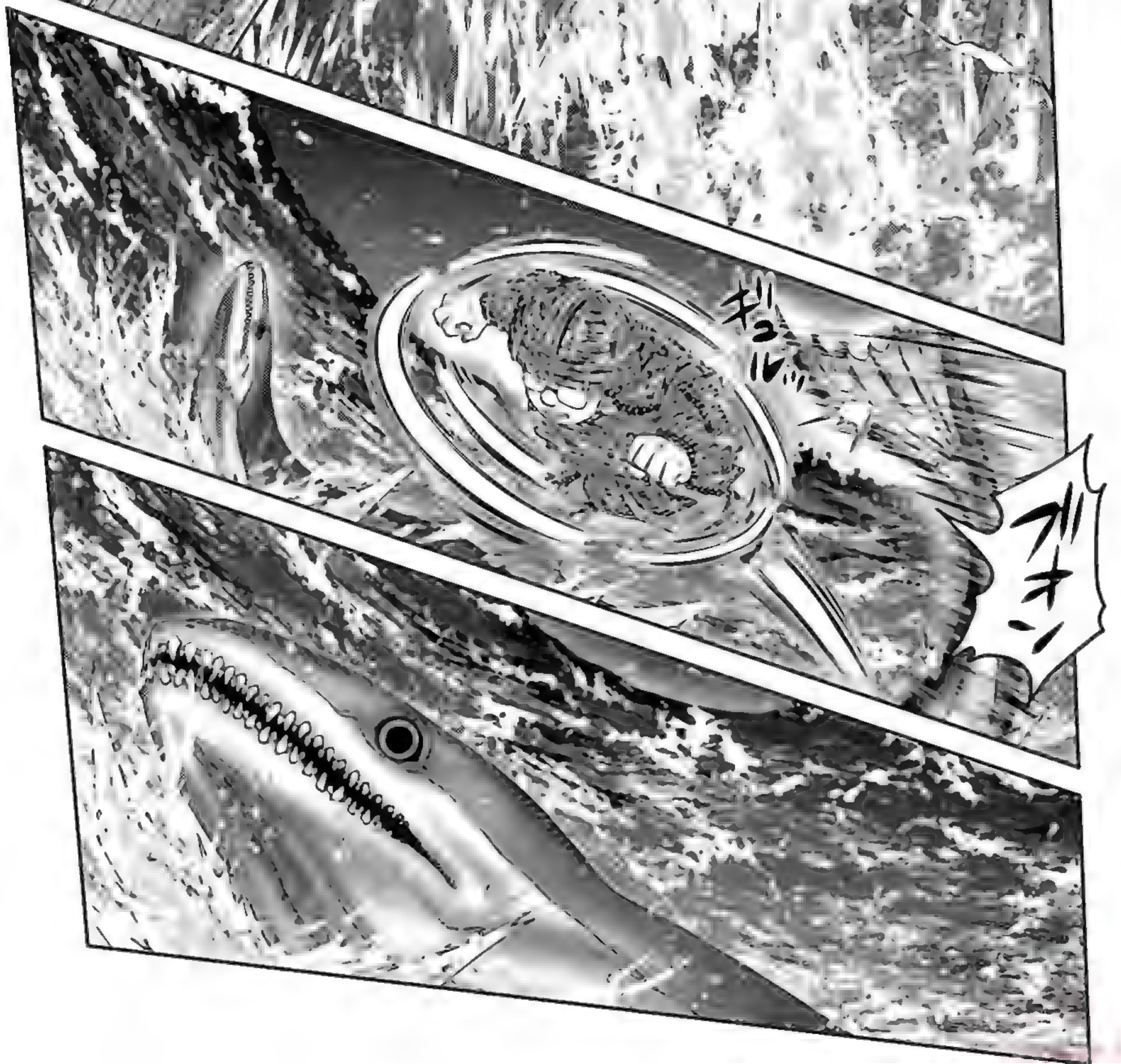
下顎の回旋が間に合わぬと
なれば

足で下顎を受け止め
上顎を手で除けながら
下顎の勢いでジャンプ

あとのことは考えてない

だらっしやああああああああああ

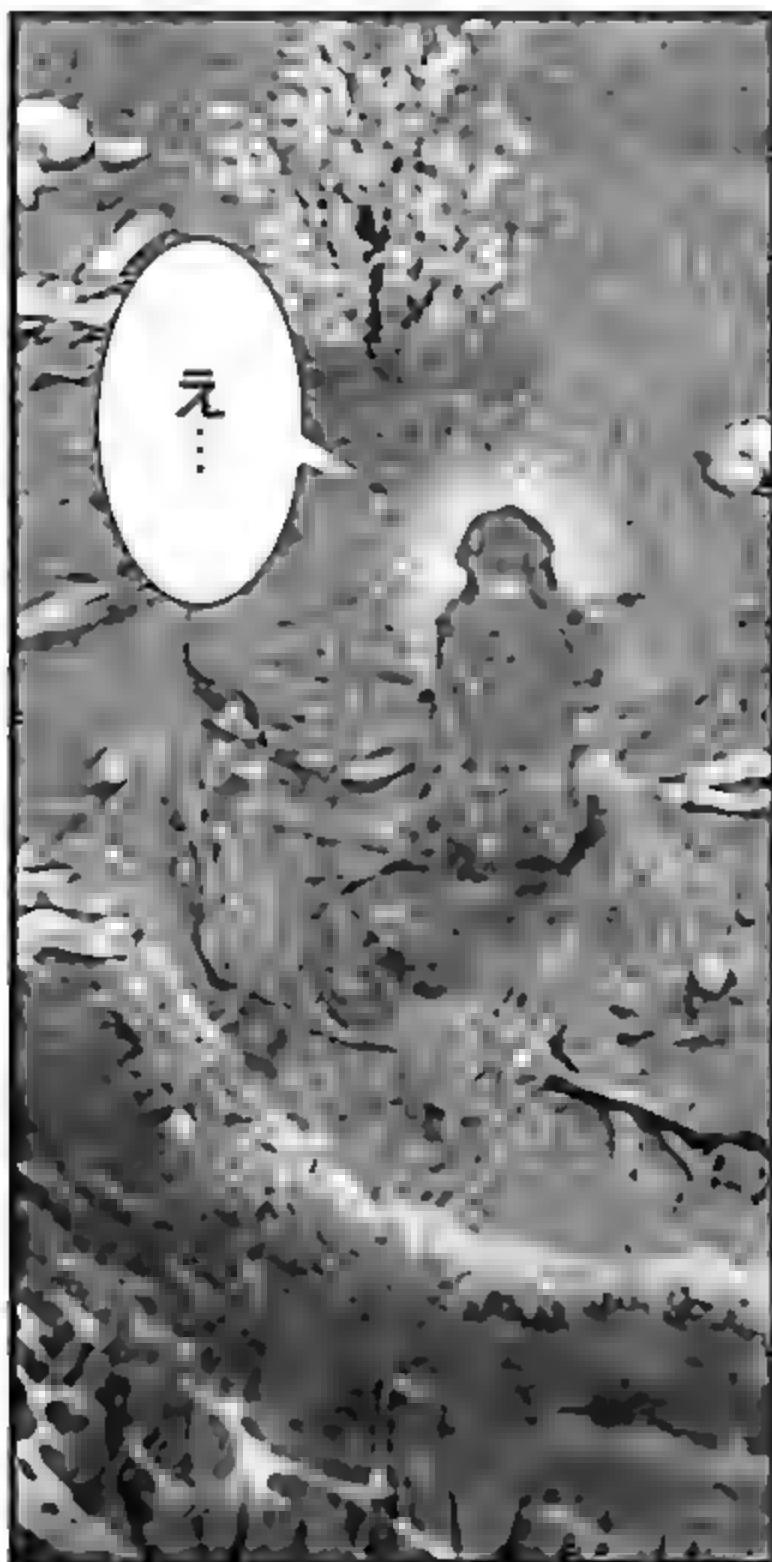








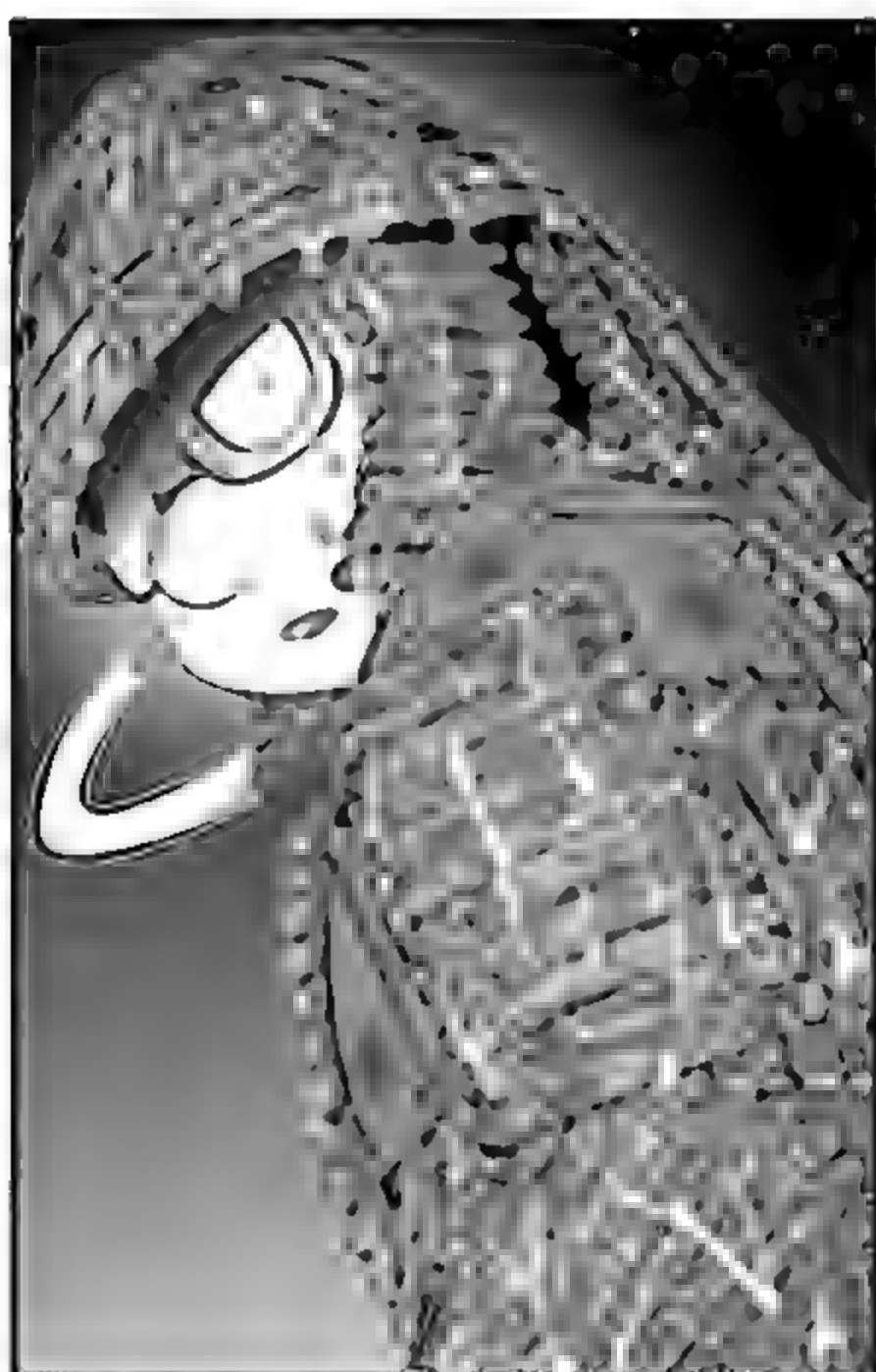
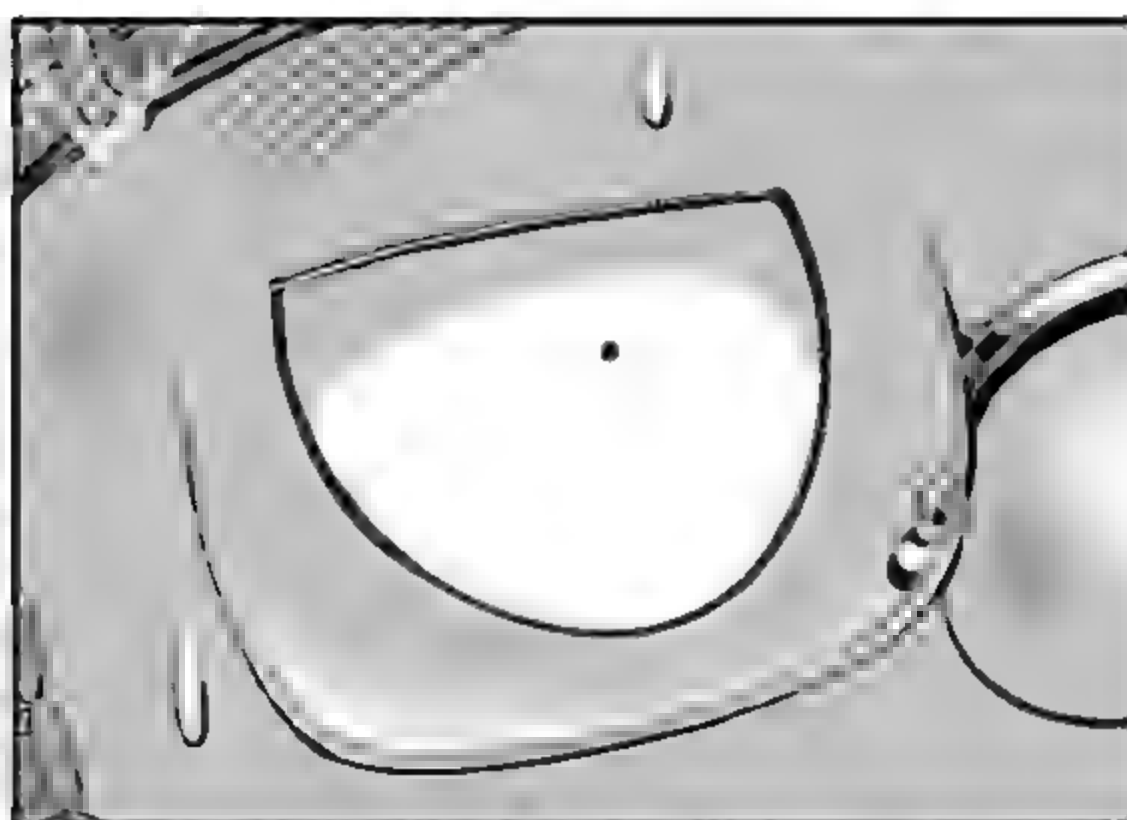
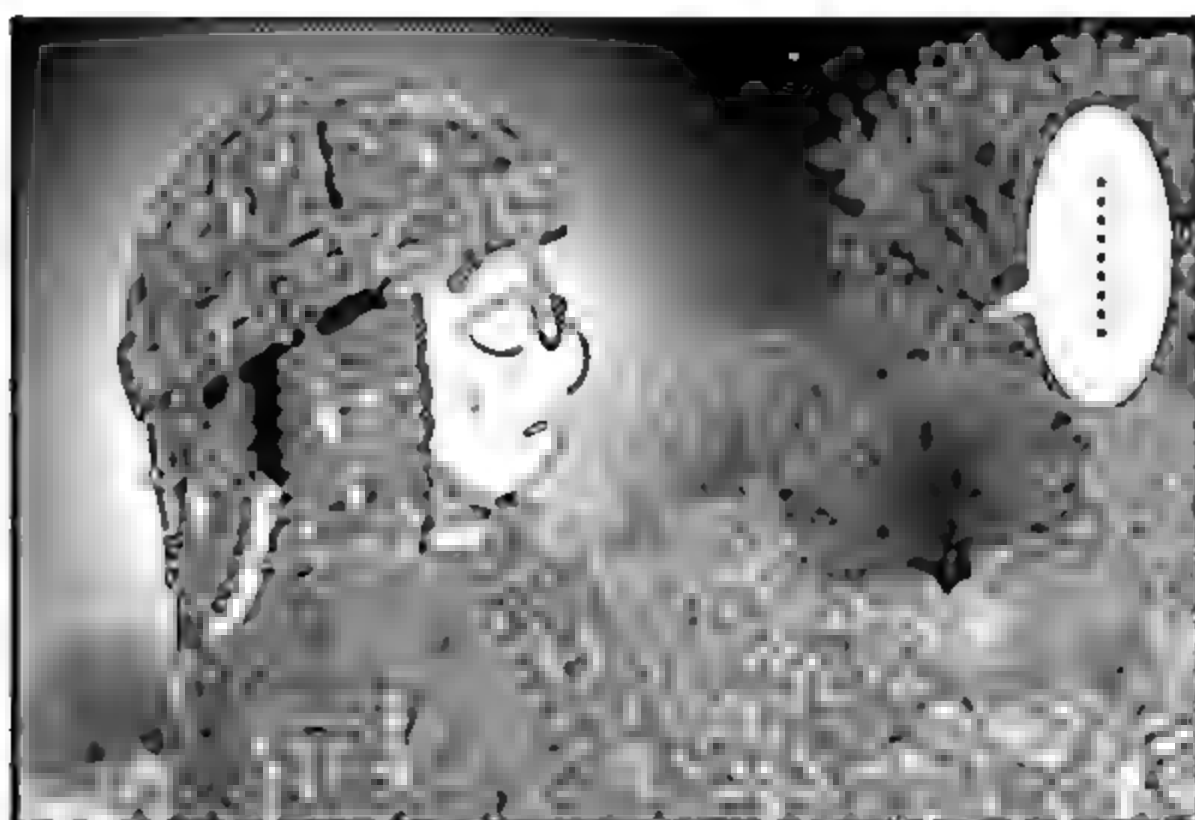


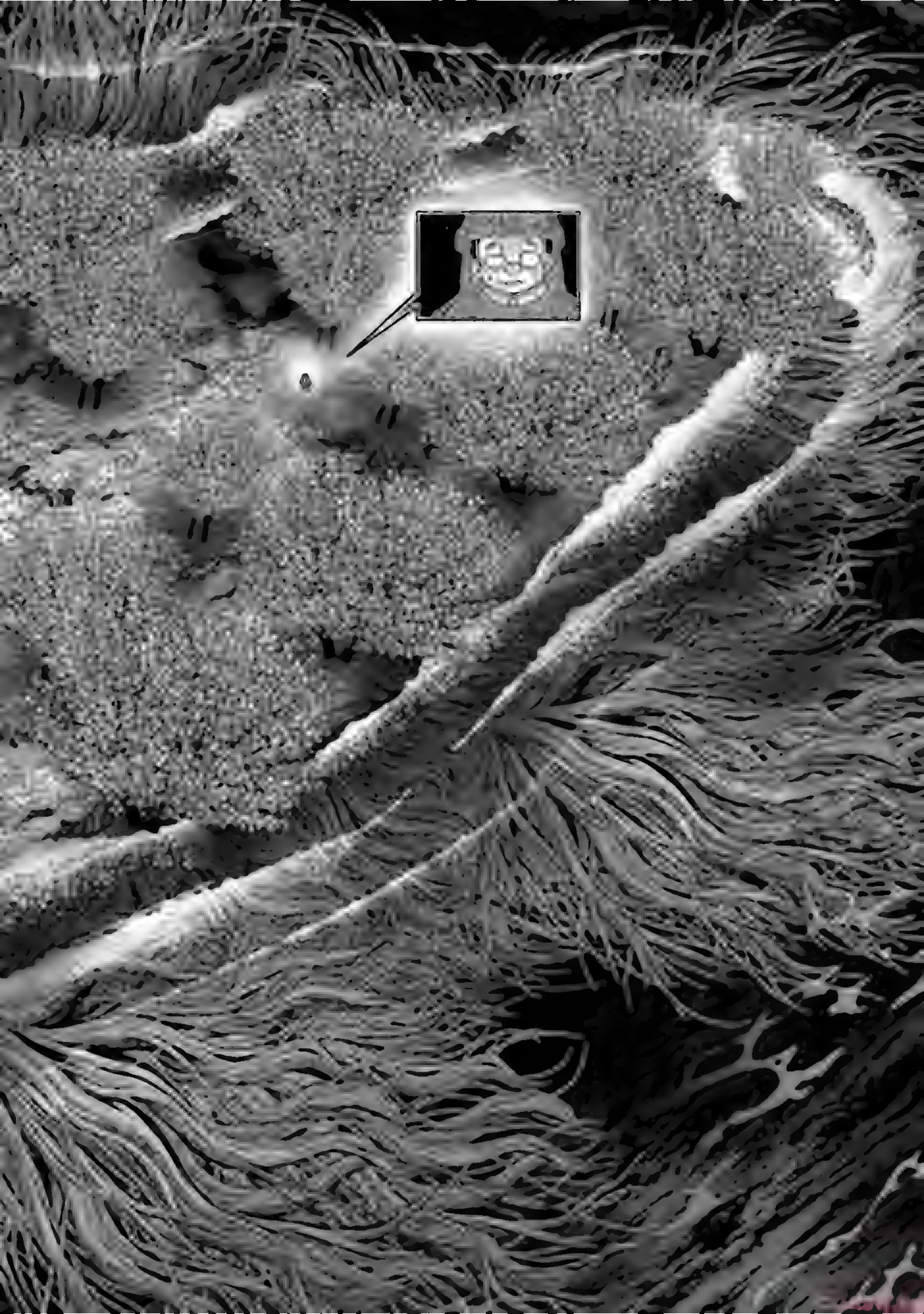




2回目











ゴッホ

うね

うね

うね
うね

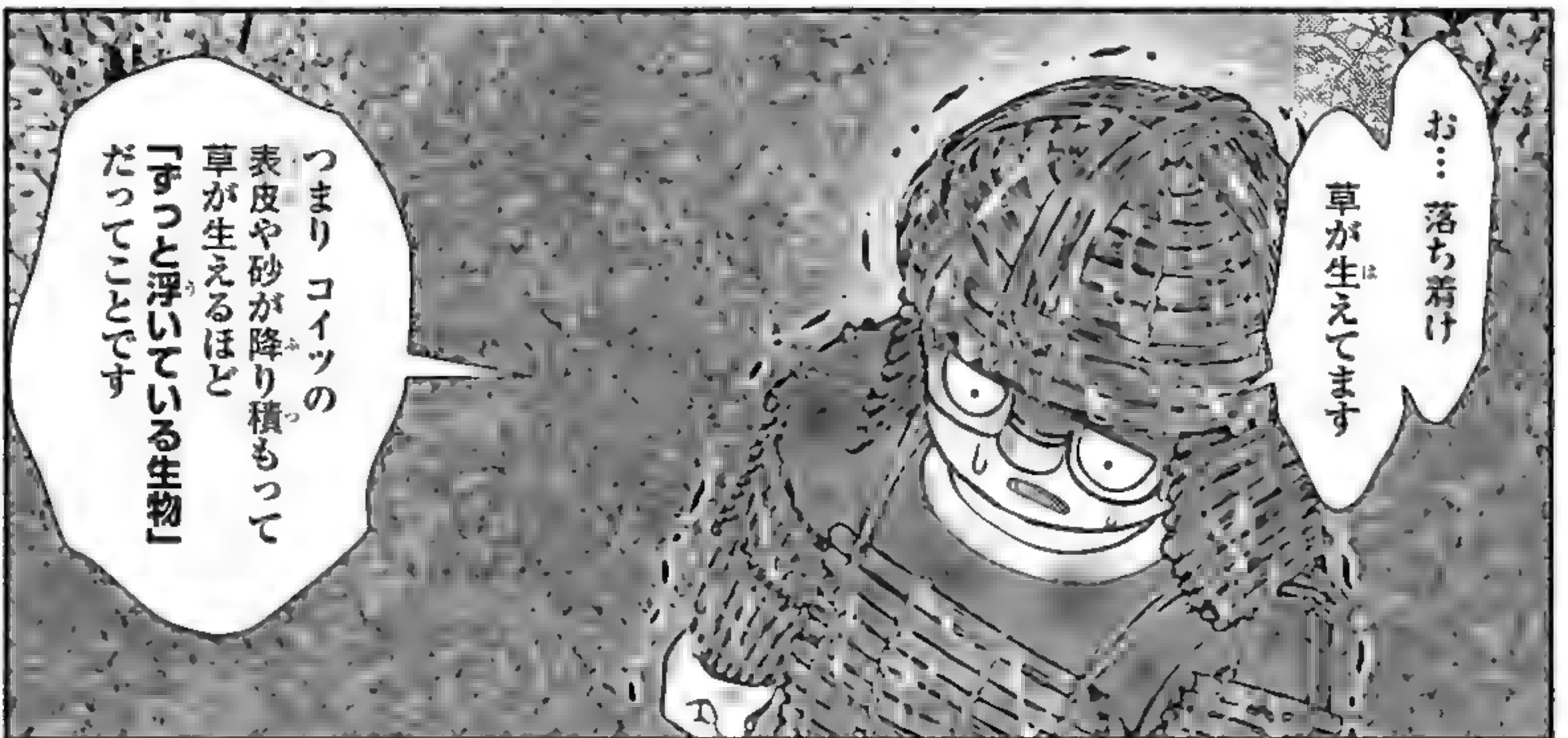


アスピドケロン...

...ア...

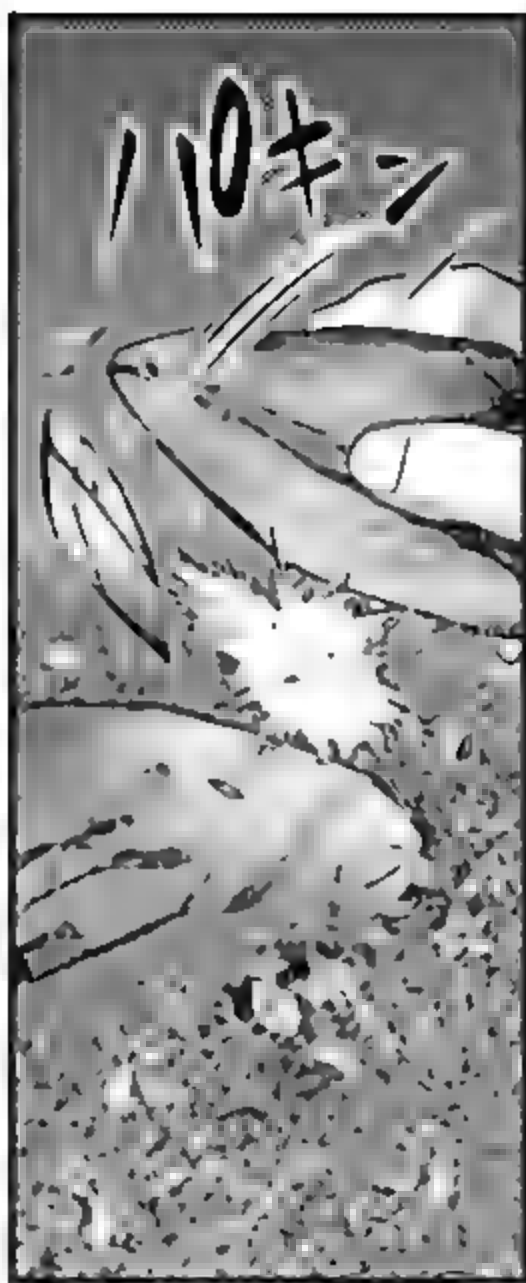
アスピドケロンとは
巨大な鯨とも亀とも
魚ともいわれる

巨大なモンスターである



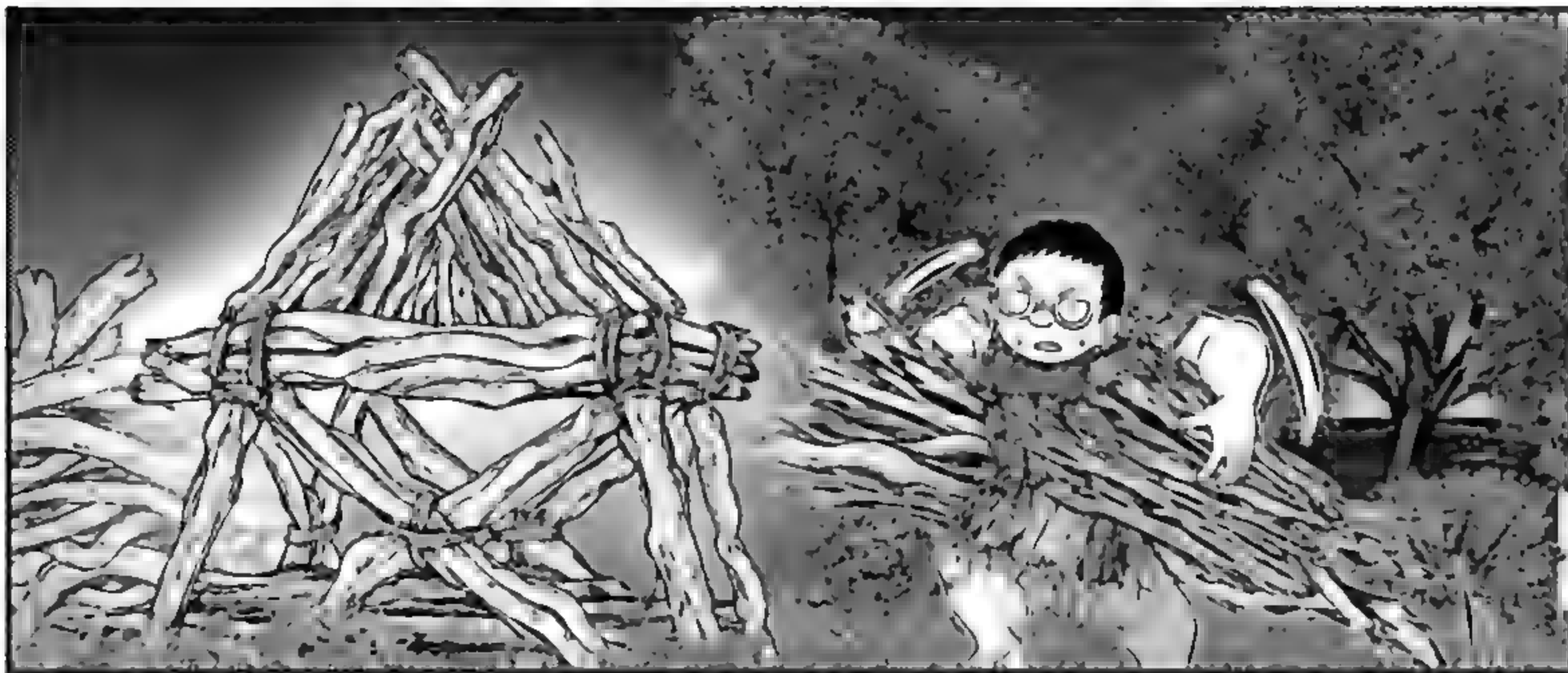


石の質が悪い…
軽くて脆くて
すぐに切れなくなる…



アスピドケロンの背中には
背の高い雑草の枯れ草や

どこから
飛ばされてきたのか
剥がれ落ちたような樹皮が
多数あった

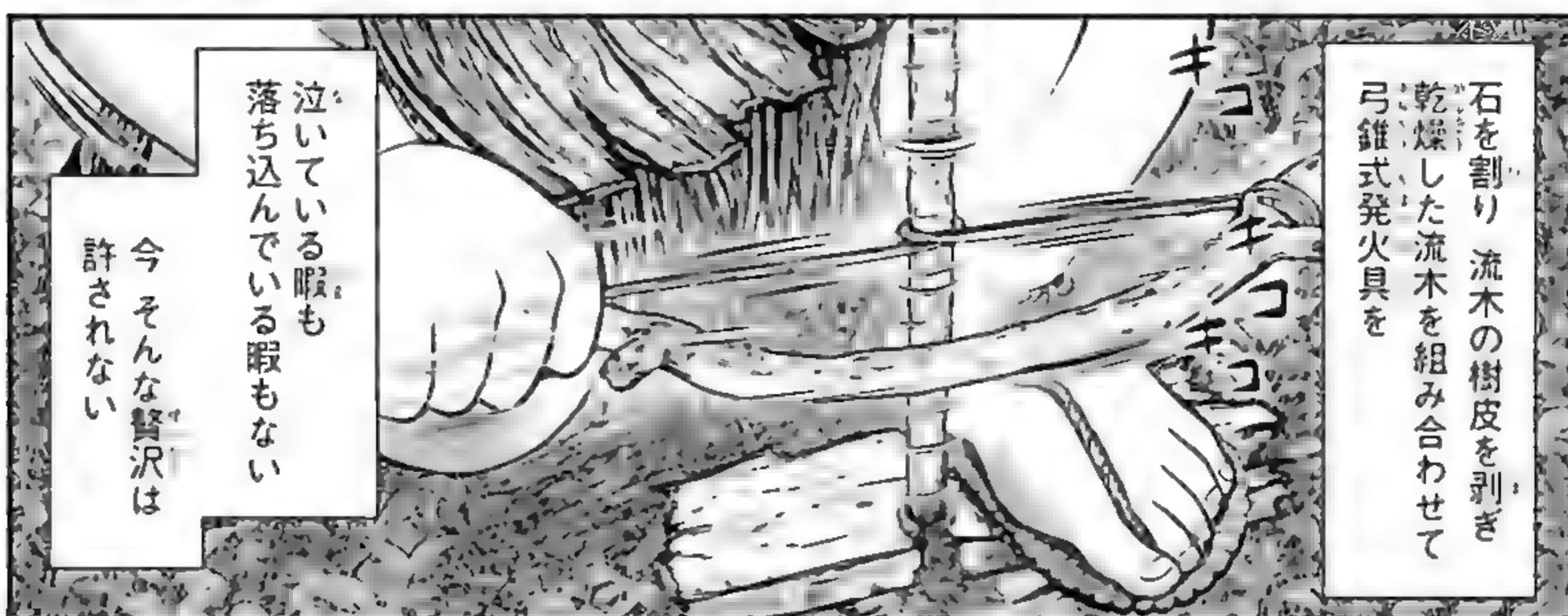



しかし状況は最悪である

生物の背中の上ということは
飲み水が存在しないということ

アスピドケロンの体内には
豊富な体液があるだろうが
もし危険を感じて
海に潜られたらそこで終わり


潜れる生き物かどうか
わからない以上
アスピドケロンを加害する
選択はありえない





これから始まるのは
ガチの限界サバイバル

武力も
戦闘技能も
関係ない



敵は
寒さと渴^{かわ}きと飢^うえ

一般人^{いっぽんじん}だと数日も生きていられない
地獄^{じごく}のような危険地帯^{ちたい}とはいえ

美しい森と綺麗^{きれい}な川と
おいしい殺人^{さつじん}モンスターに
彩^{いろど}られた：

そんな「^{ゆた}豊かな土地」で過ごす
スローライフではないのだ

着火してください…
頼むから…っ

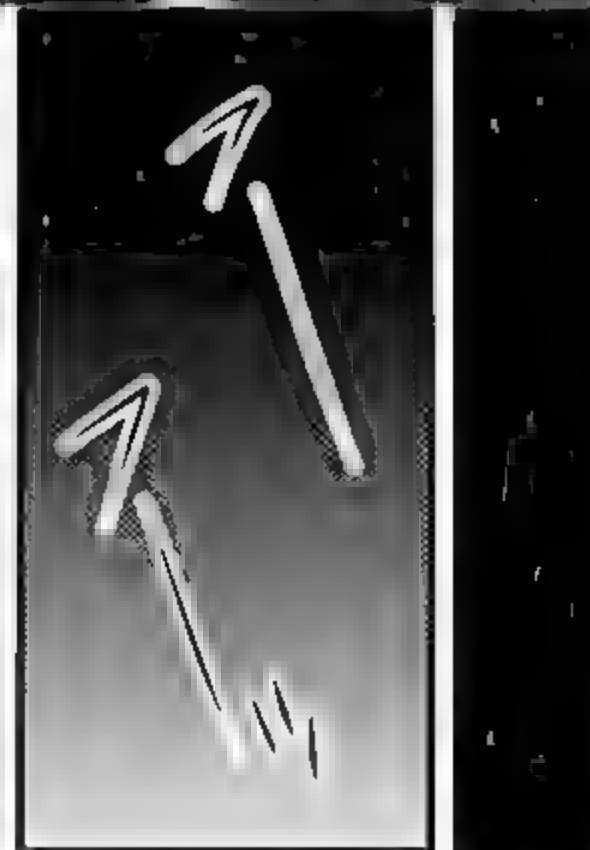
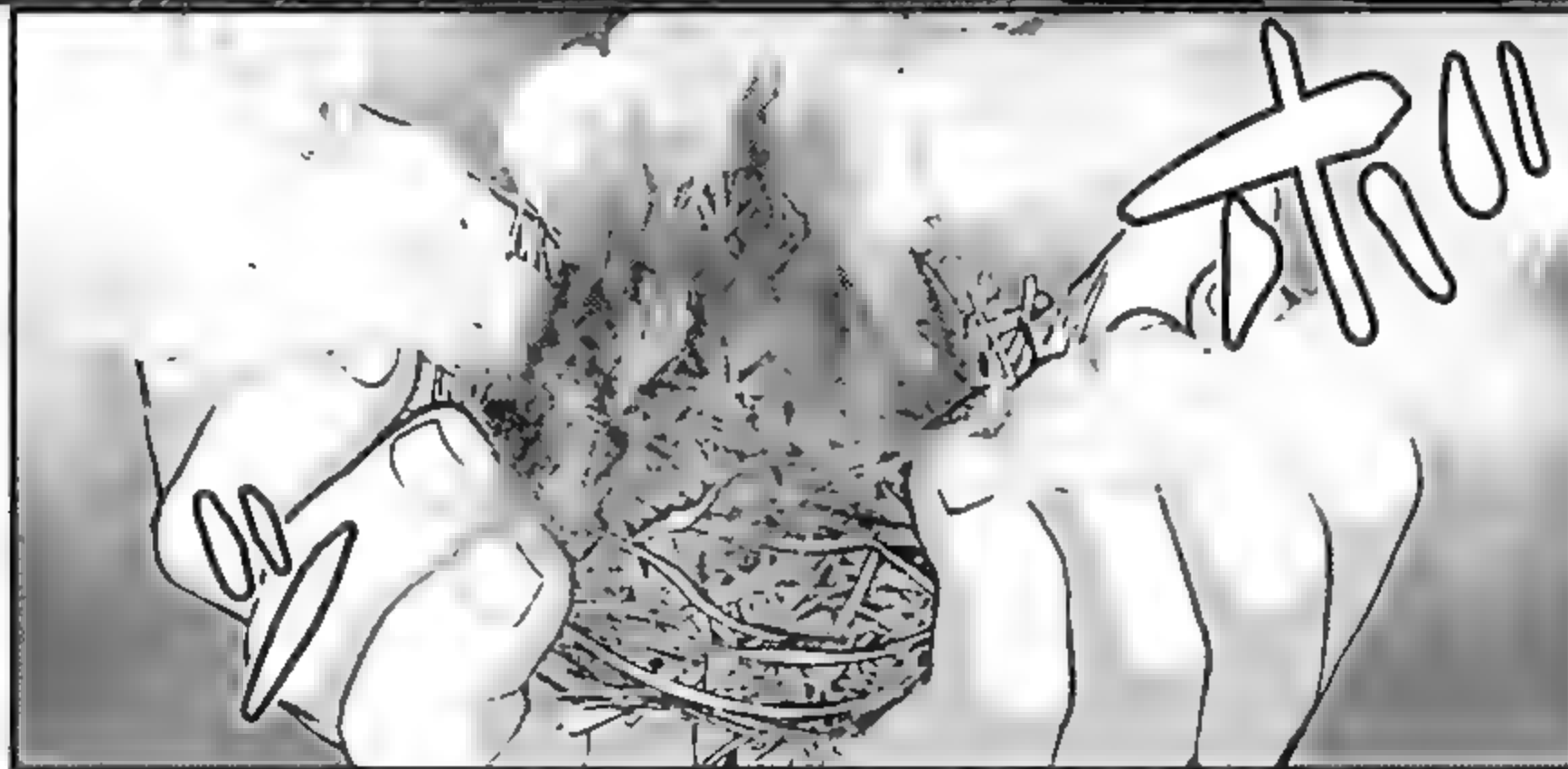




オリツエの形見の
この家は
大事に使わせて
もらうにやー

にやー...

ハルピユアにとって
死者の持ち物を活用するのは
ごく一般的な事であり
悪意はない



ついた…

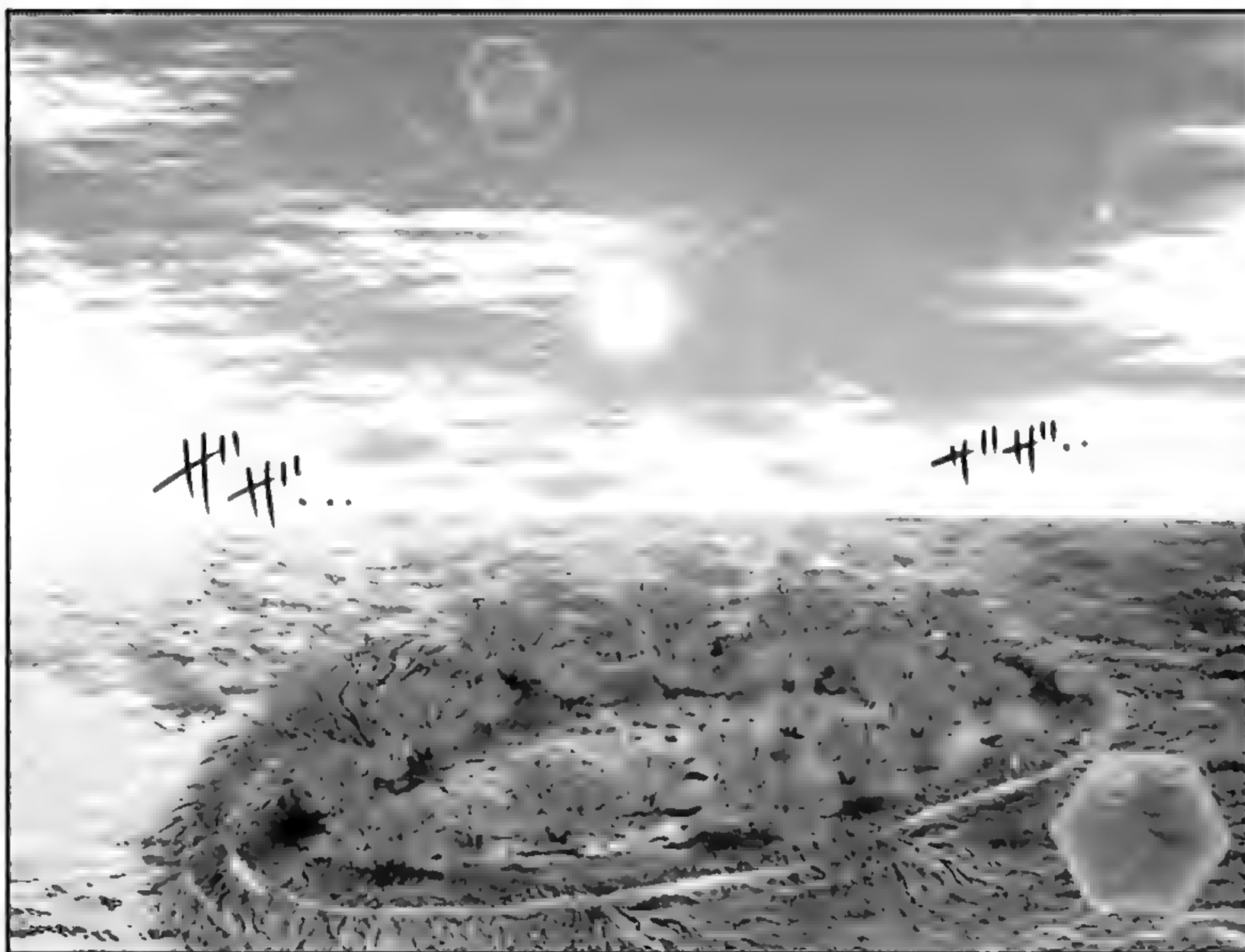
火だ…っ!!

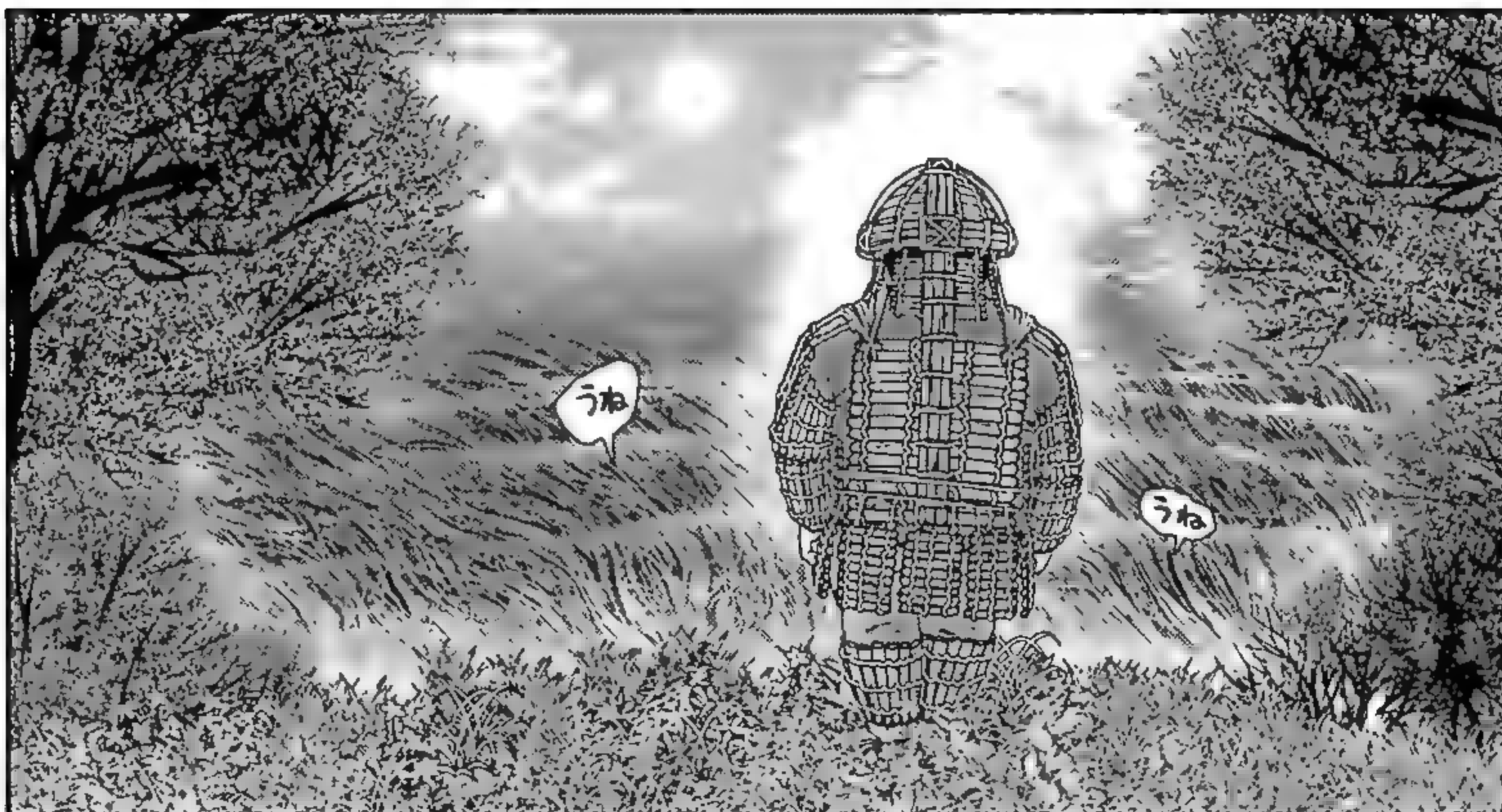
織津江

ガチサバイバル編^{へん}スタート

NEXT「刺身に抵抗ないのは強い」





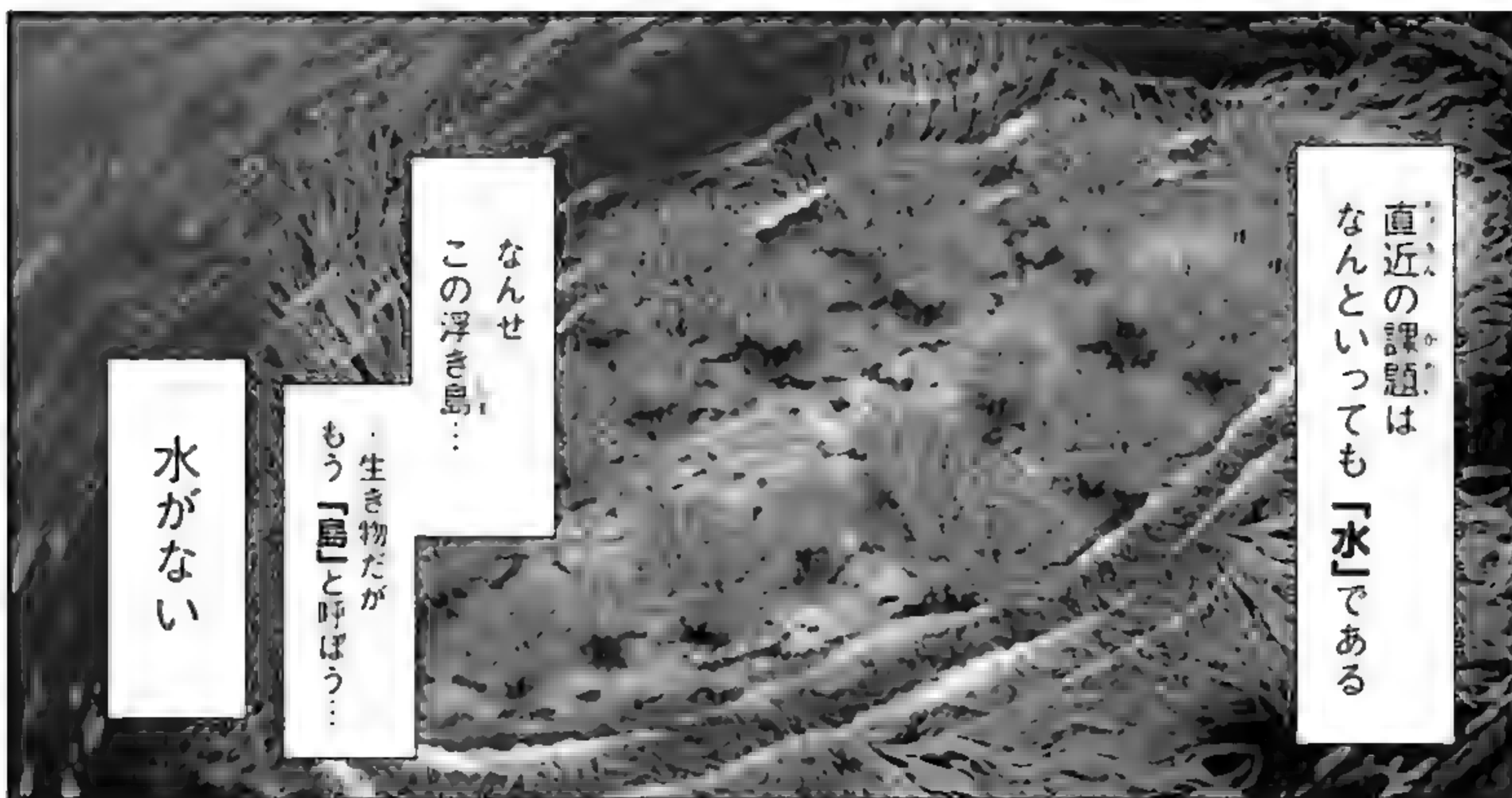




気になるけど
アスピドケロンの葉っぱと木は
限界がくるまでやめときましよう

水がとれるかもしれないけど
やつぱり潜られでもしたら
お終いですし

必要なら、たから
背中に別種の道具を
生い茂らさず、たけの
潜るための、たけの
可能性は、たけの

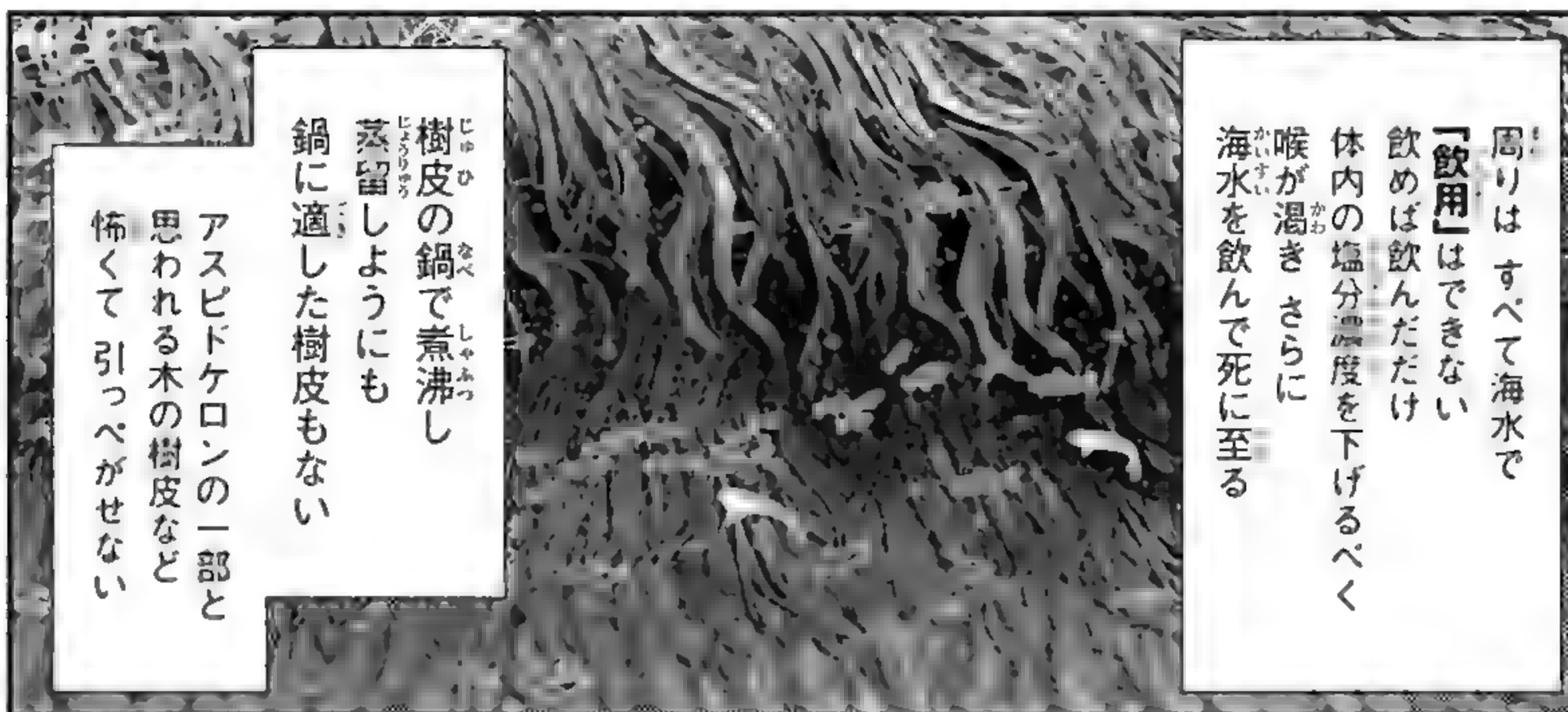


直近の課題は
なんといっても「水」である

なんせ
この浮き島...

生き物だが
もう「島」と呼ぼう...

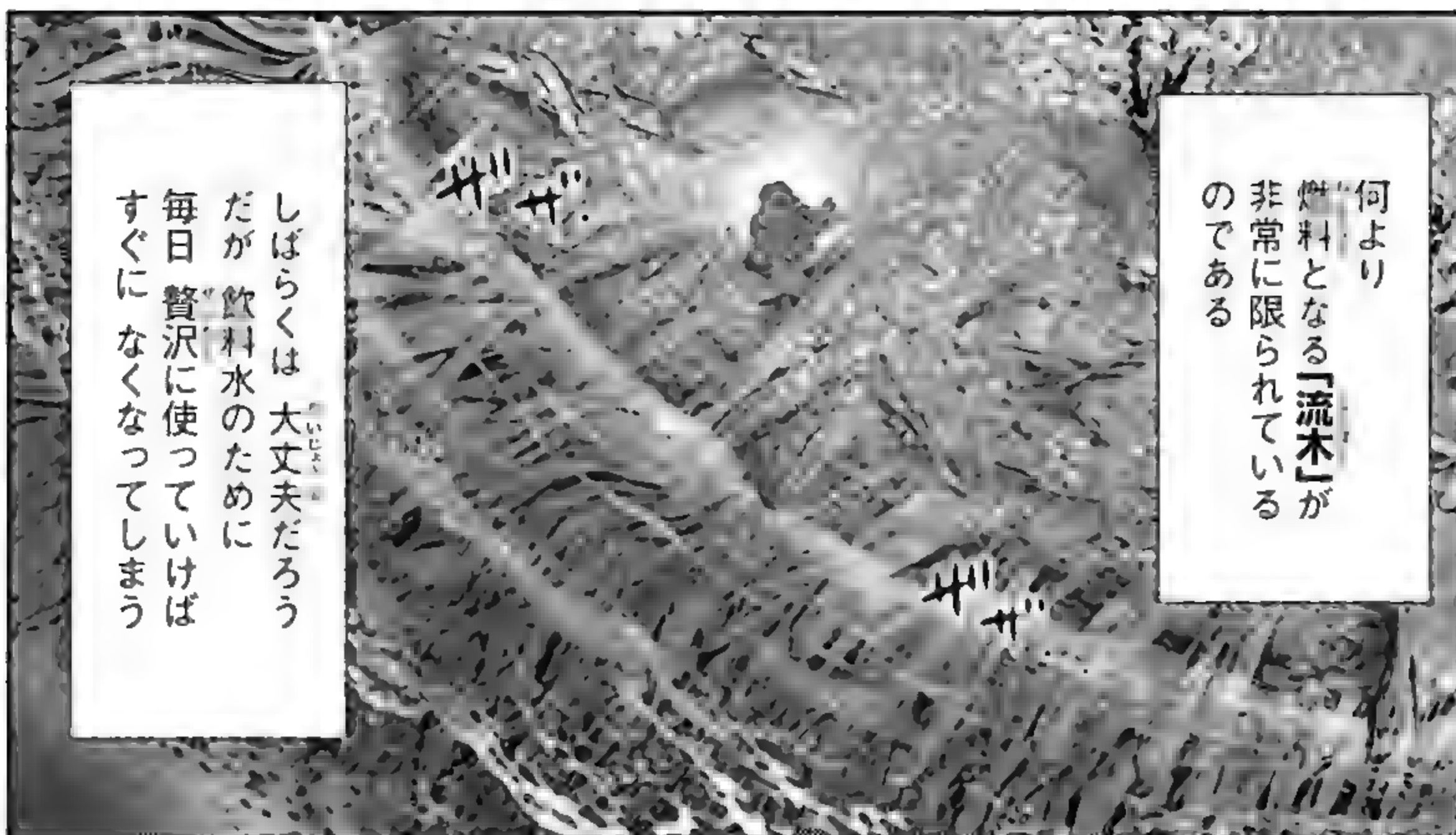
水がない



周りはすべて海水で
「飲用」はできない
飲めば飲んだだけ
体内の塩分濃度を下げるべく
喉が渇きさらに
海水を飲んで死に至る

樹皮の鍋で煮沸し
蒸留しようにも
鍋に適した樹皮もない

アスピドケロンの一部と
思われる木の樹皮など
怖くて引っぱがせない



何より
燃料となる「**流木**」が
非常に限られている
のである

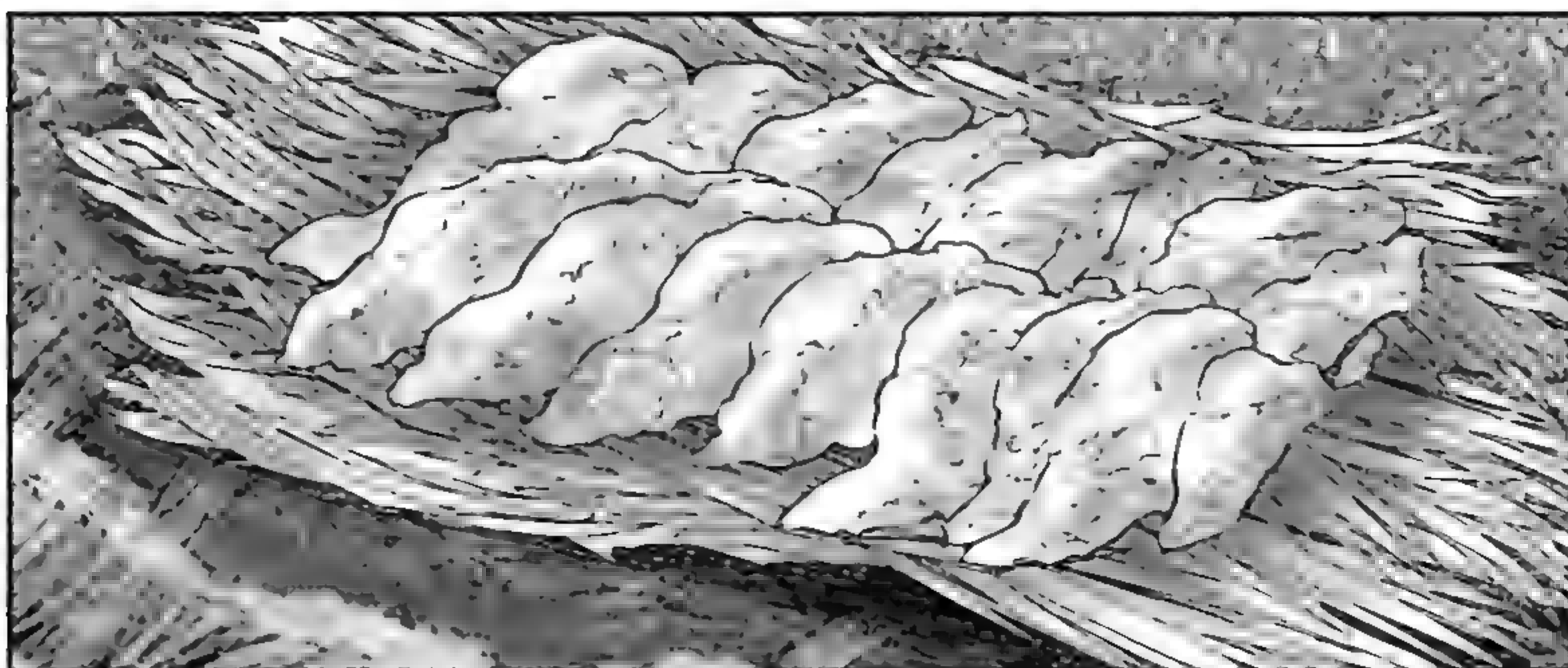
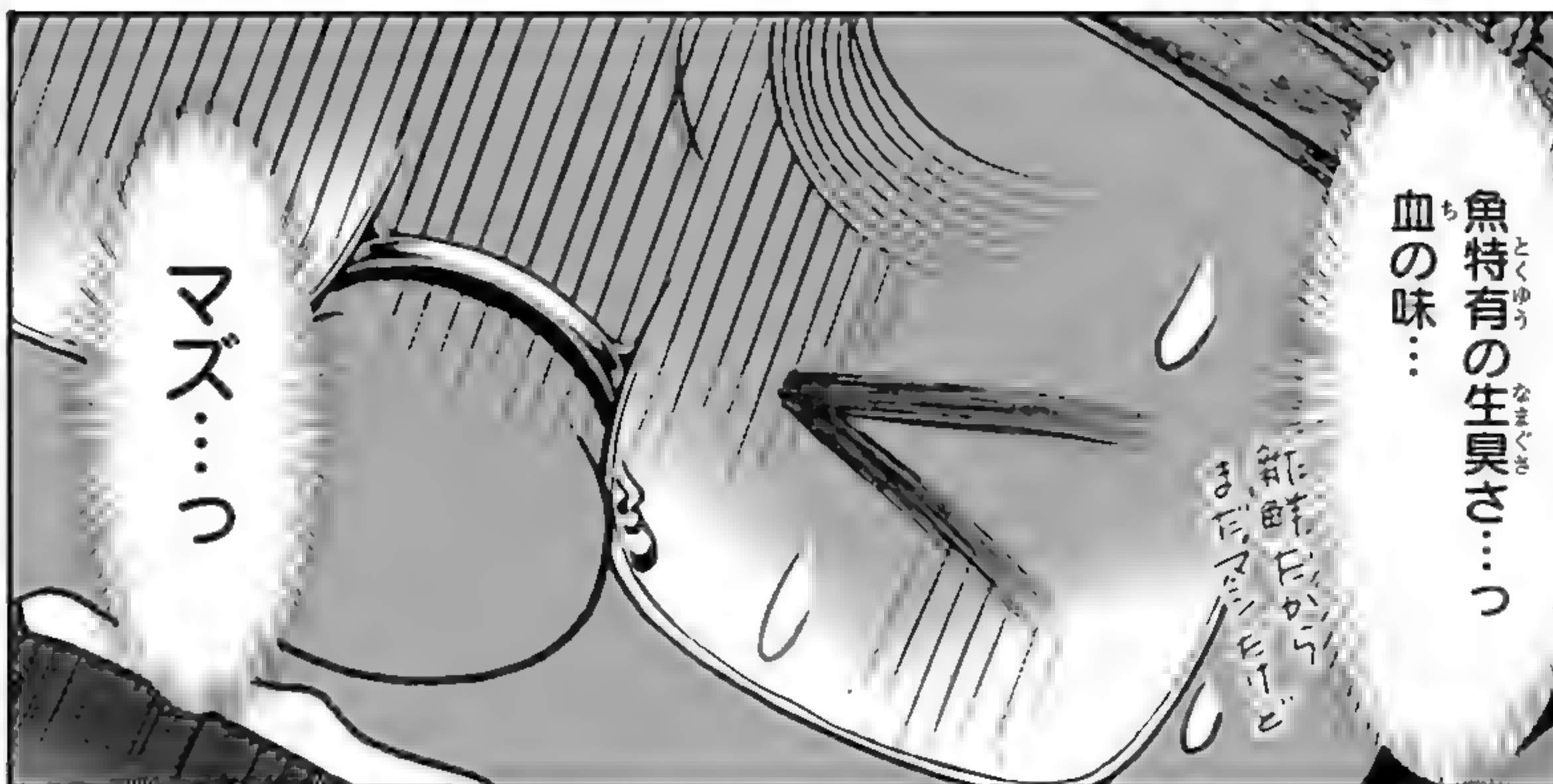
しばらくは いじやう 大丈夫だろう
だが飲料水のために
毎日 贅沢ぜいたくに使っていけば
すぐになくなってしまう

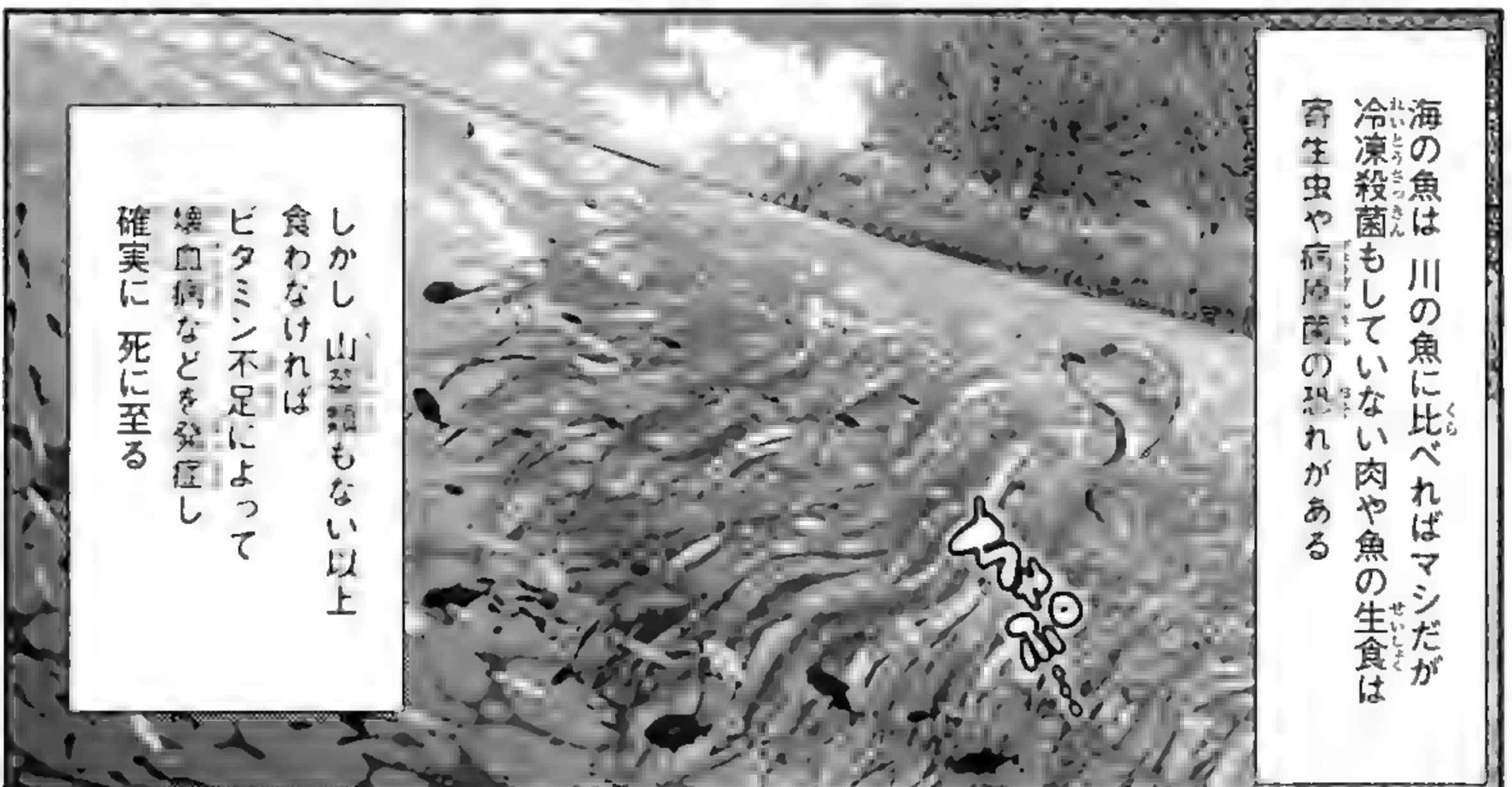
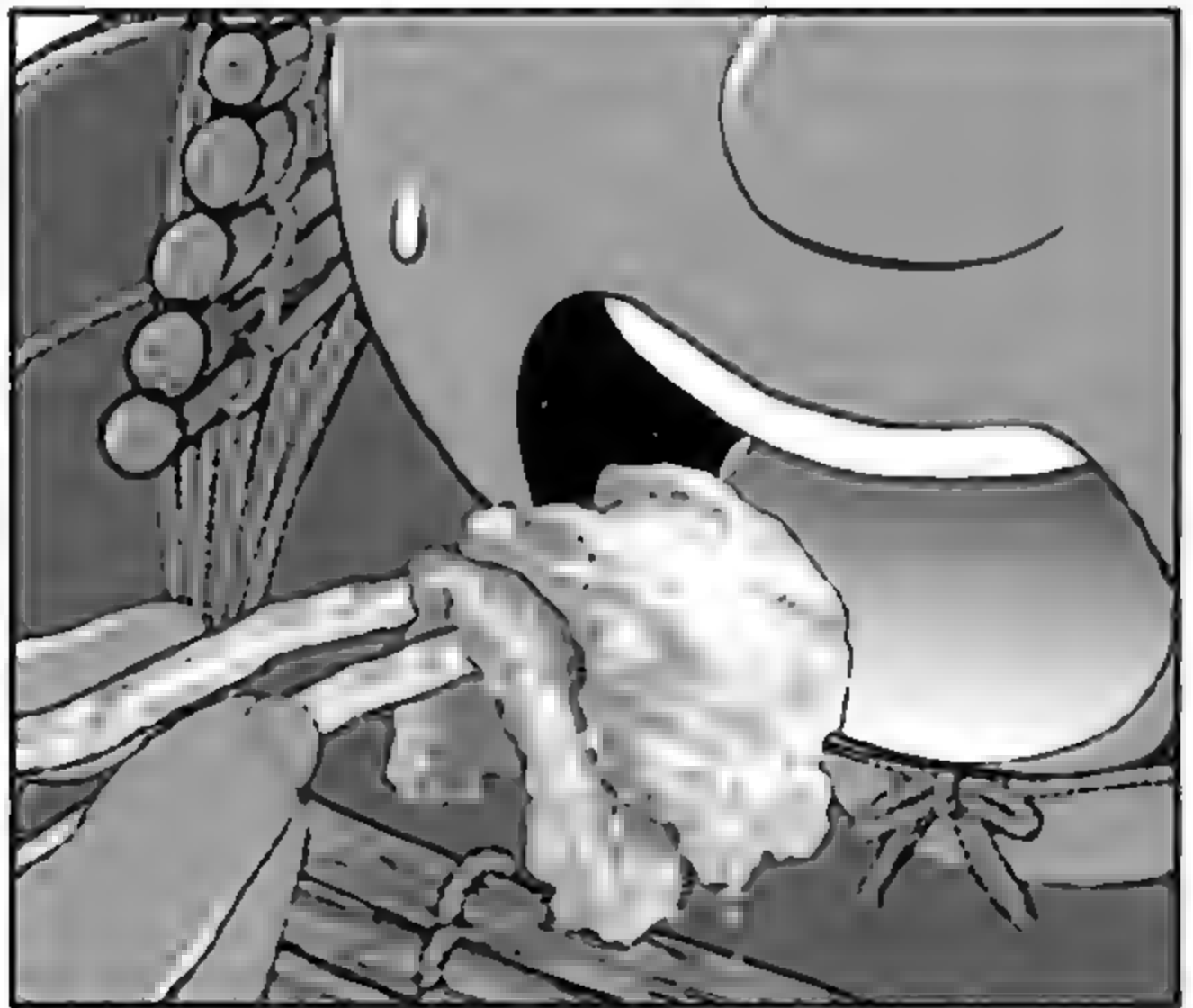


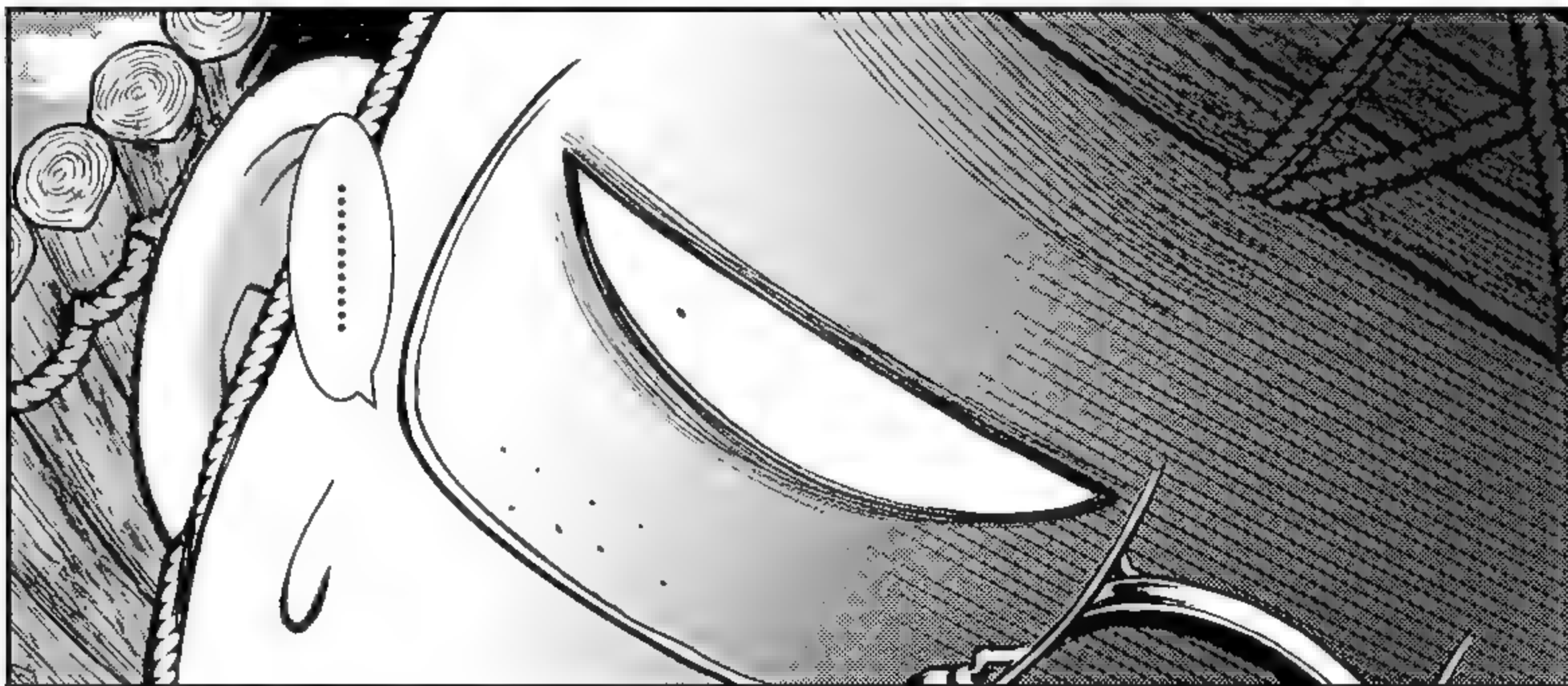
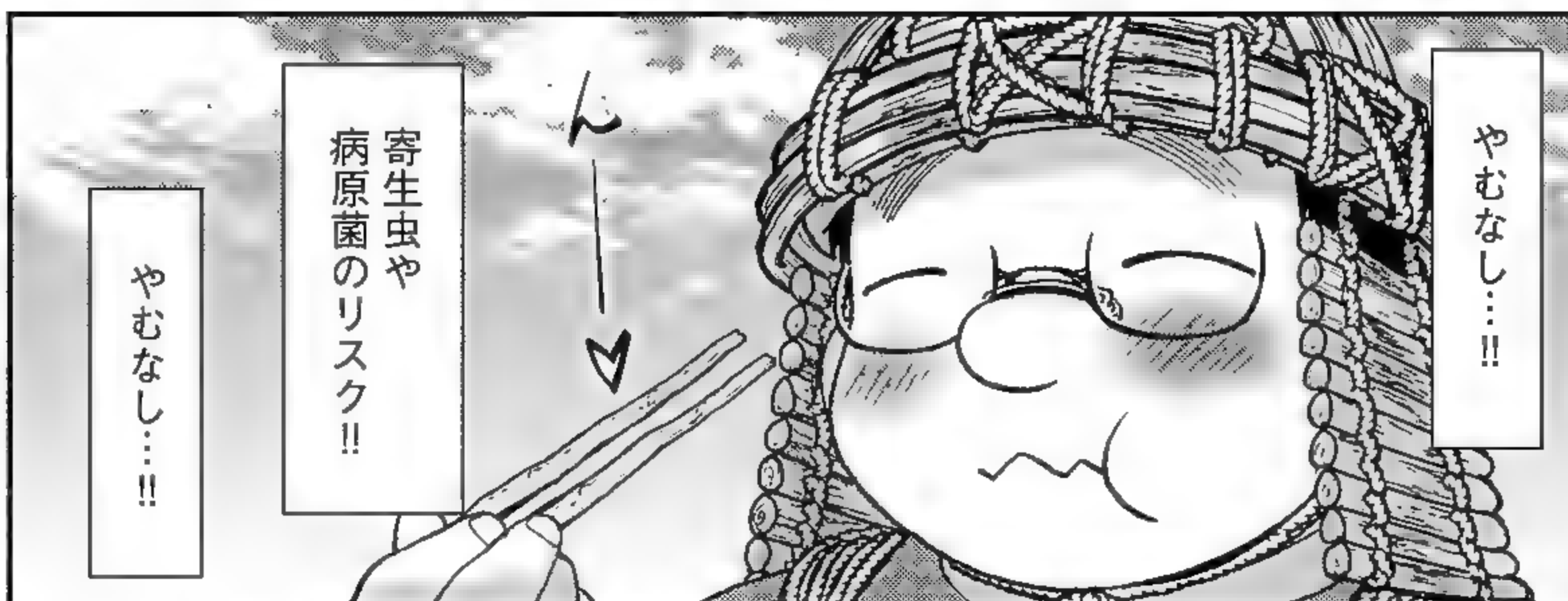
手に入る可能性可能性がある
「**水**」は

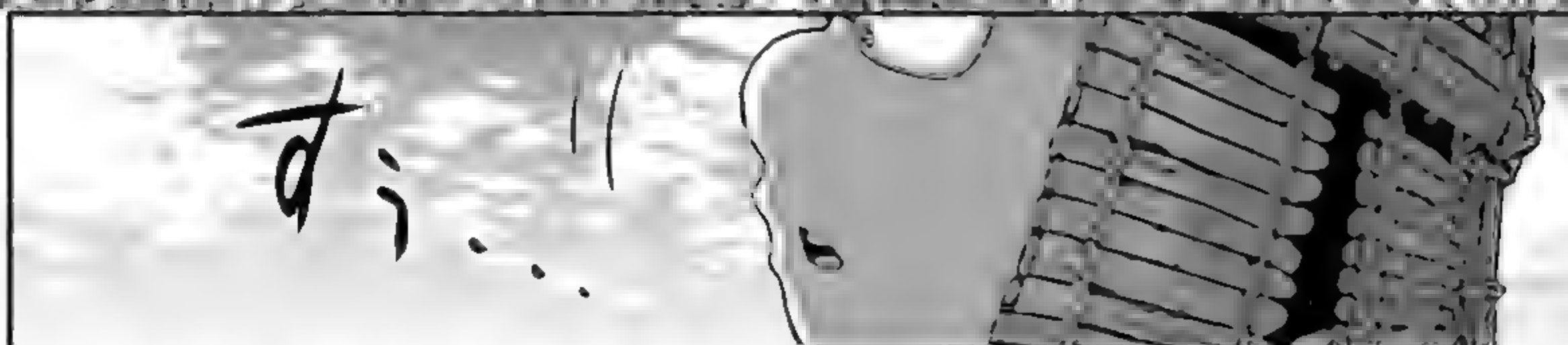
「**雨水**」と…

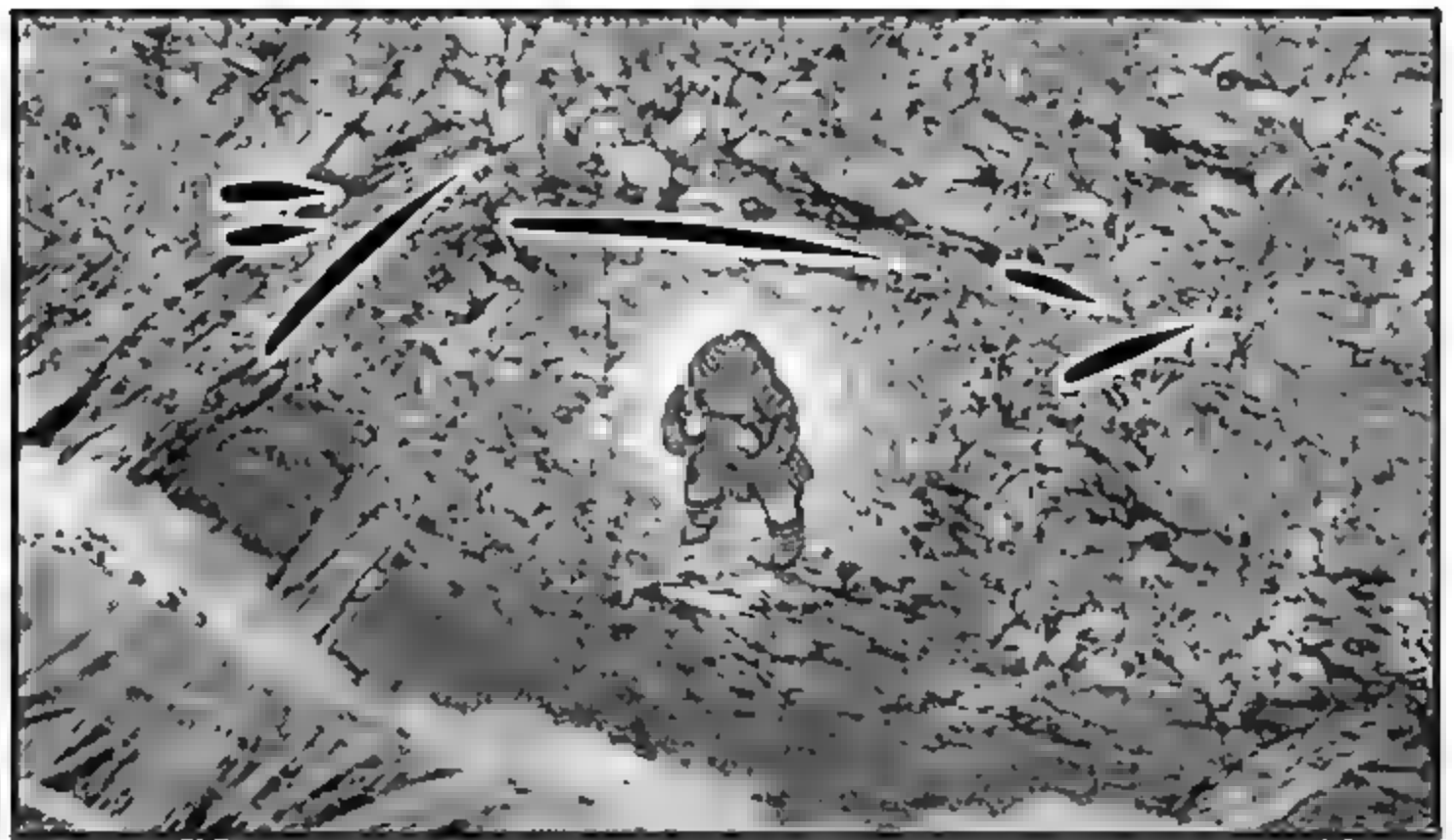


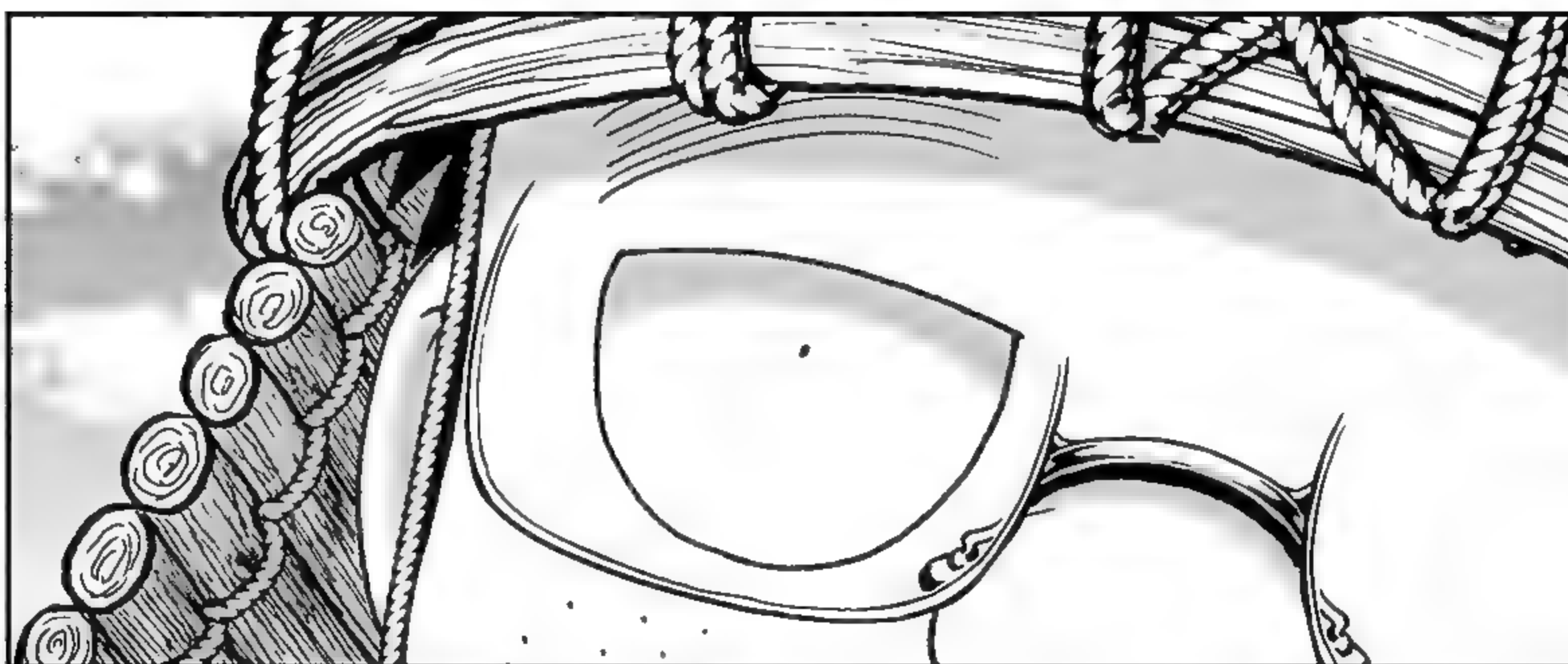










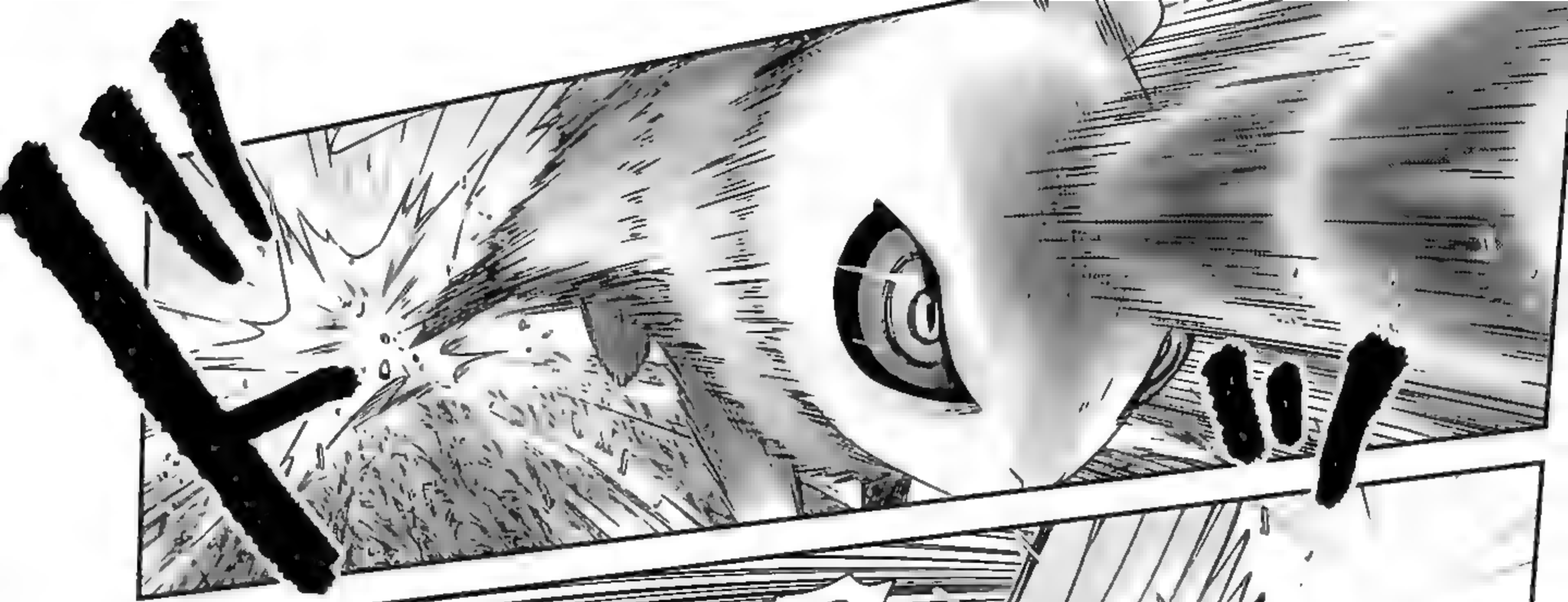


あんな害鳥^{がいちょう}達でも

いないとなると
寂^{さび}しいもんですねえ...

!!!





ハルピユアの翼は
敵の攻撃を逸らす分には
かなり防御力が高い

よっし!!
にや!!





踏^ふんでいる
だけではない

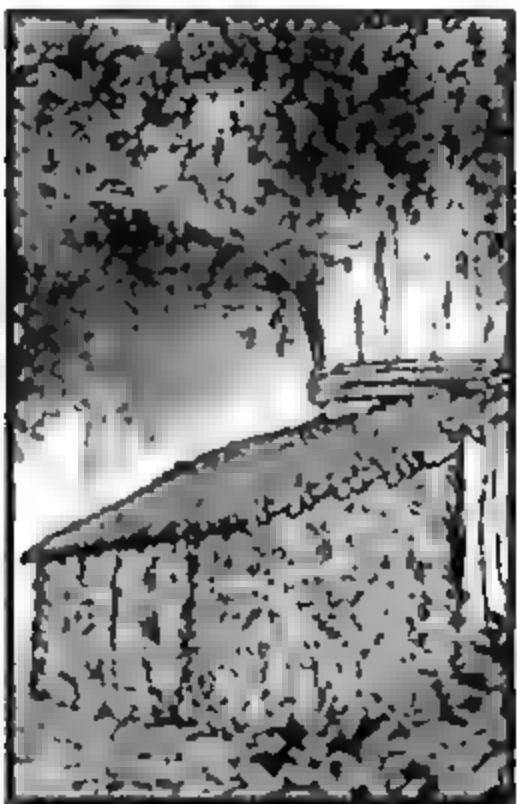
角^つをつかんで
踏^ふみ固^かめた
地面^じと頭部^{かぶ}の
間^{すま}に隙^{ひま}間^まを作り

「固^かい地面^じで
何^{なん}度^ども殴^う打^だ」し
脳^{のう}を揺^ゆらして
いるのだ



人間でも激痛に
悶えるしかなくなる一撃を
数十発叩き込まれ

ようやく
このアルミラージュという
小さな化け物は意識を失った

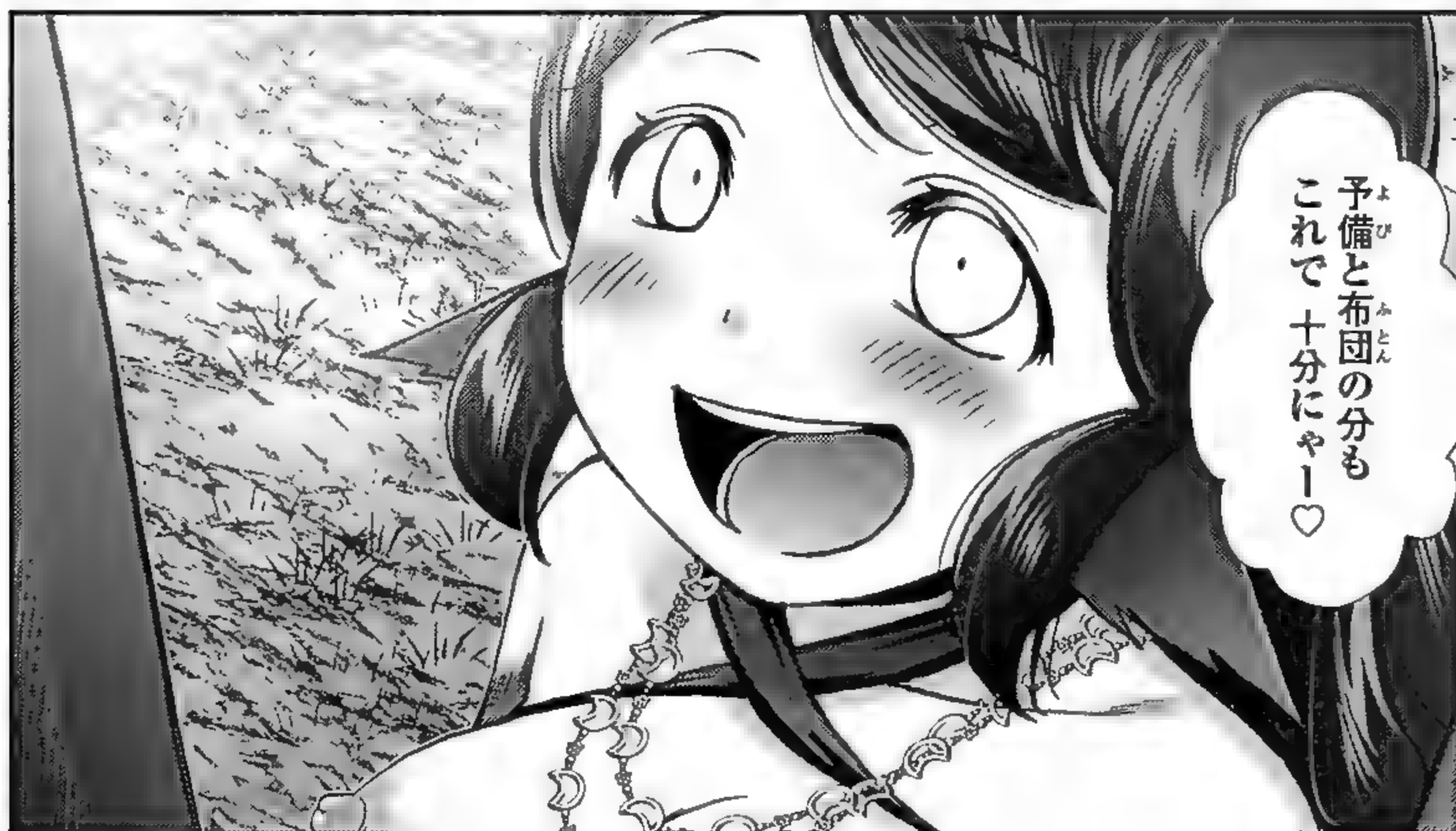




「煙鞣し」
けむりなめ

煙の成分で鞣す
原始的な鞣し方

煙で燻したあと
叩いたり揉んだりして
革を柔らかく保つ
焚き火の側に置いた皮が
柔らかくなっていたことから
発見されたといわれる



予備と布団の分も
これで十分にやー♡













めちやめちや
あつたけいにゃー♡

あんまり服に頼ると
体温保つのが下手になるから
ホントは冬になるまであんまり
着ないほうがいいけどにゃ

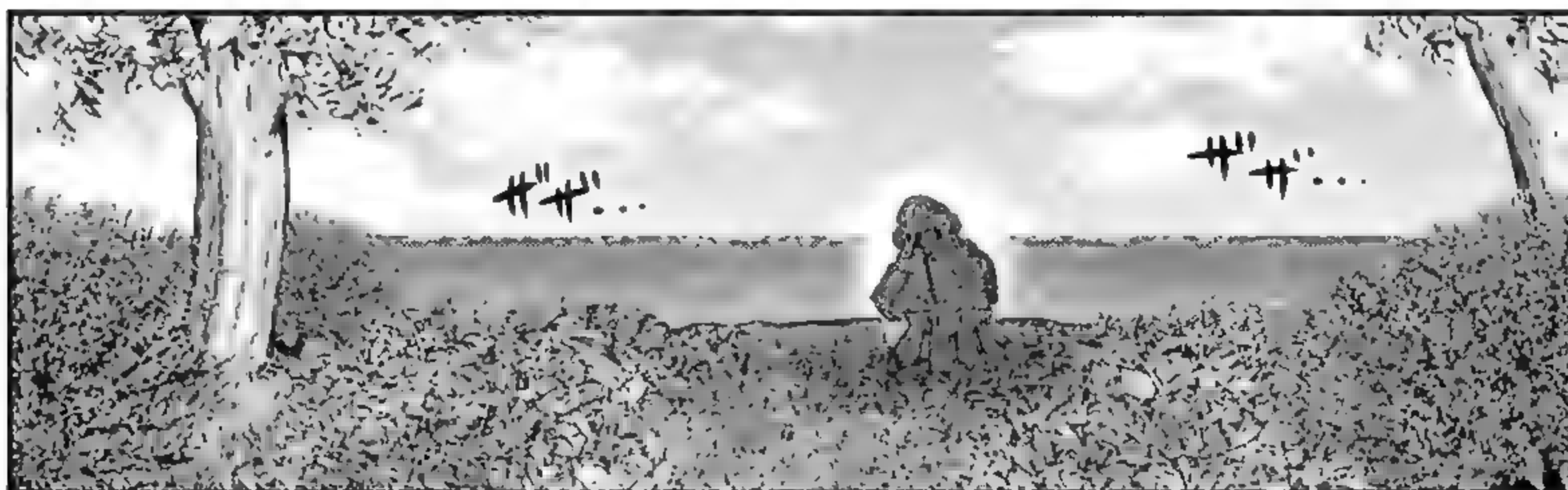
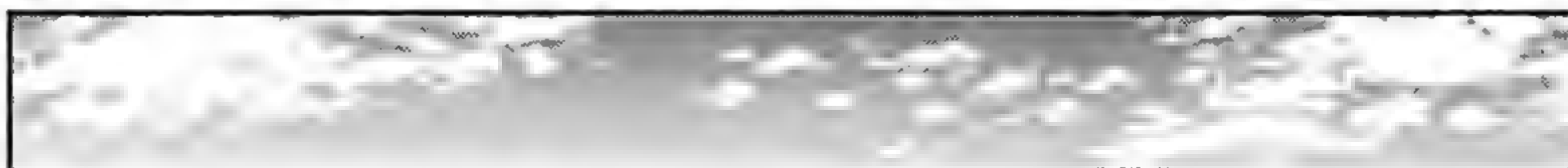
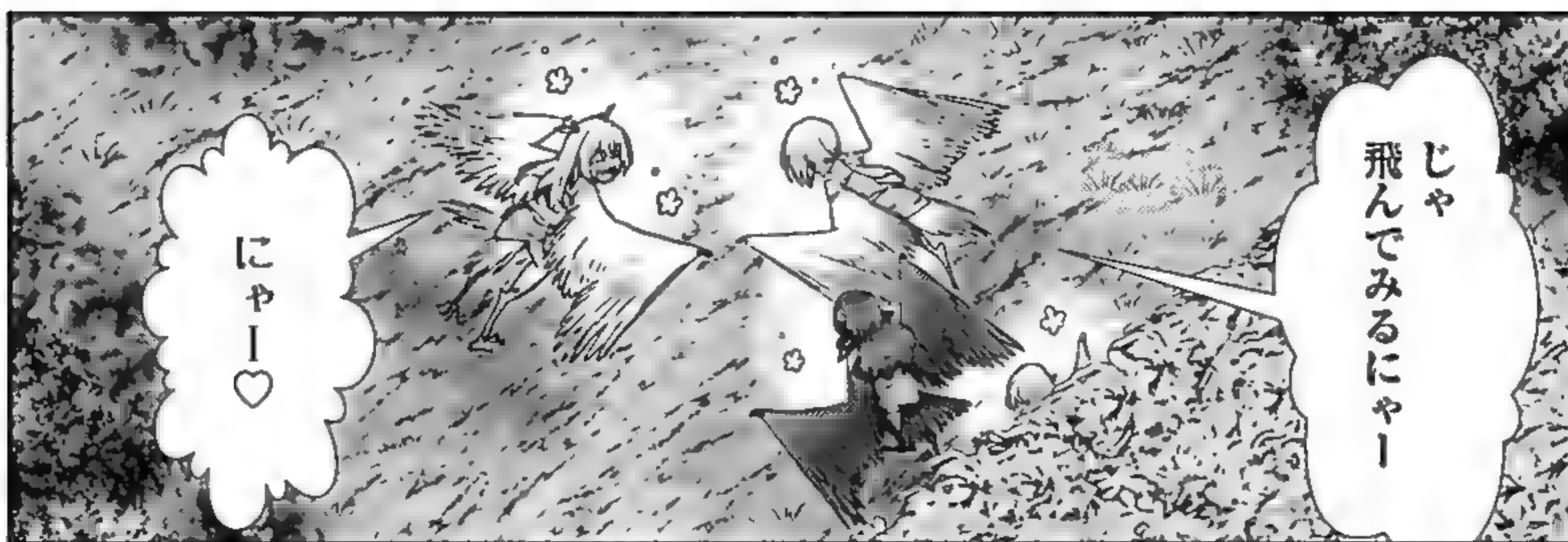


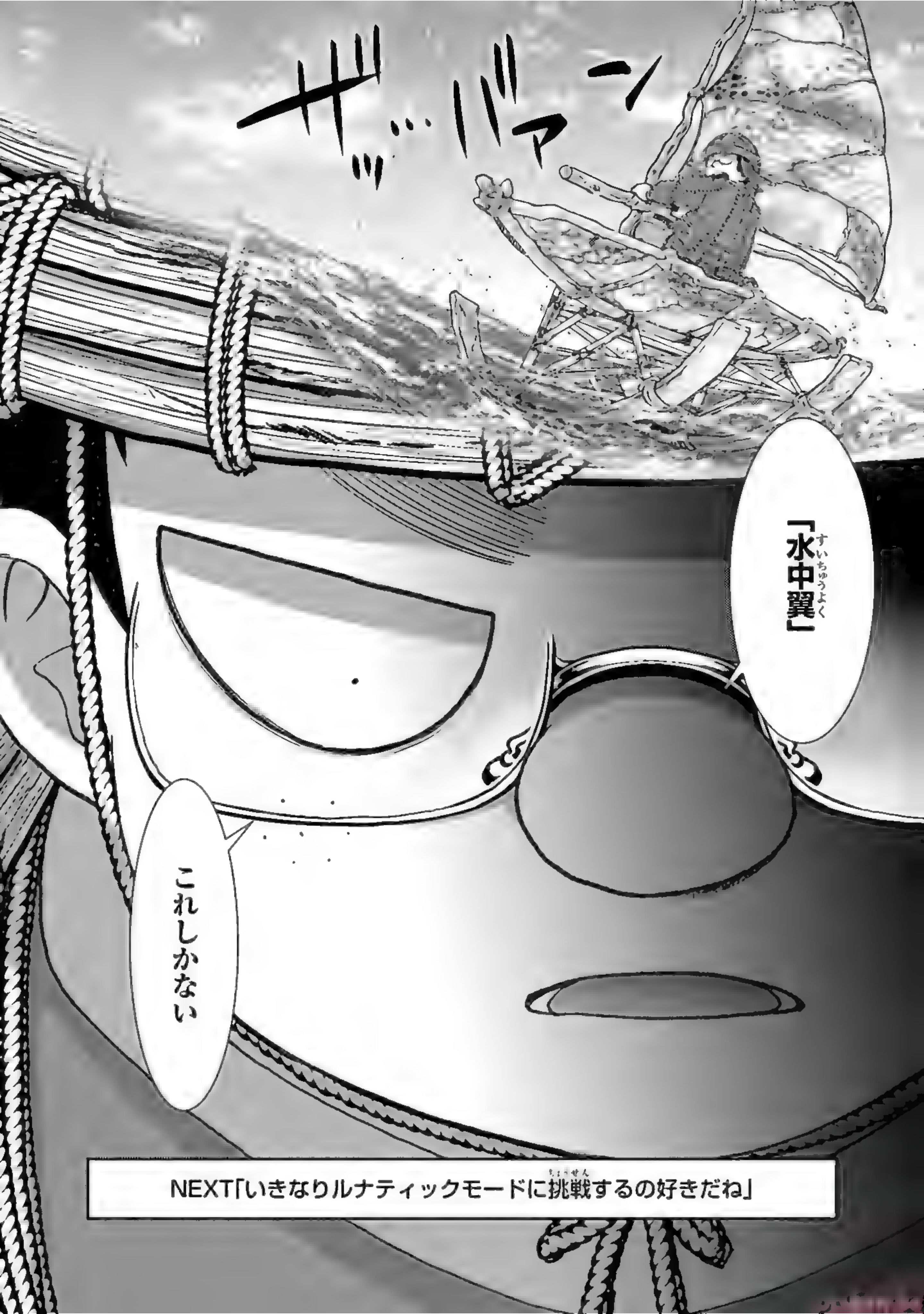
日常的に飛行する
ハルピユイアの体温調節機能は
高度に発達しており

全裸で 高空を飛ぶことも
氷点下で寝ることもでき
急激な温度変化に非常に強い

その代わり 体温を保つべく
大量のエネルギーを消費するため
ハルピユイアは体格の割に
大食らい気味である

冬場の全裸飛行は
可能だが
基本的にしない





すいちゅうよく
「水中翼」

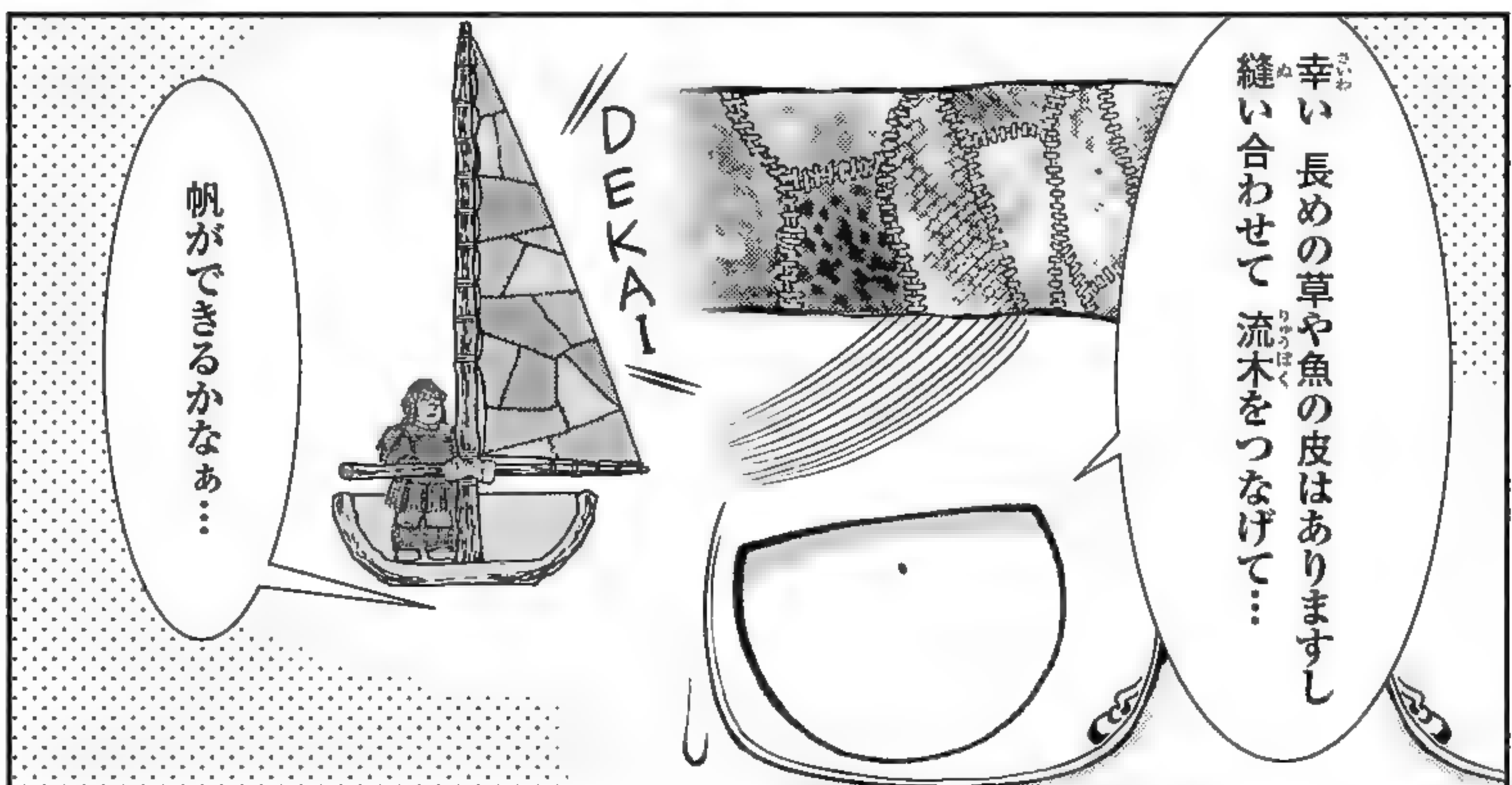
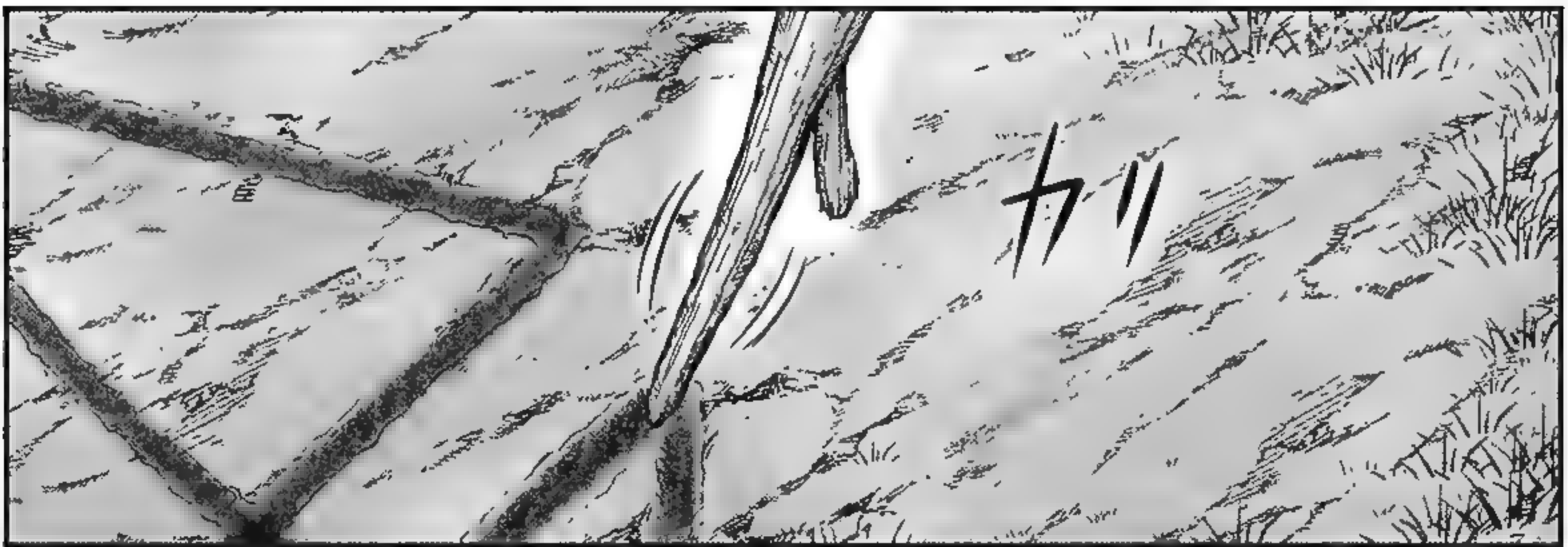
これしかない

NEXT「いきなりルナティックモードに挑戦するの好きだね」
ちゅうせん

織津江大志^の
異世界ク^{むす}リ娘
サバイバル日誌



第39話「いきなりルナティックモードに挑戦するの好きだね」



「水中翼船」!!!

水中の翼で揚力を発生させ
船体を水面から離すことで
水の抵抗を最低限にする船です!!

最大の特徴はその速度!!
風の力だけで時速100km近く
人力でも時速30kmほどという
猛スピード!!

逆にたくさん荷物を運ぶのは
あまり得意じゃありません

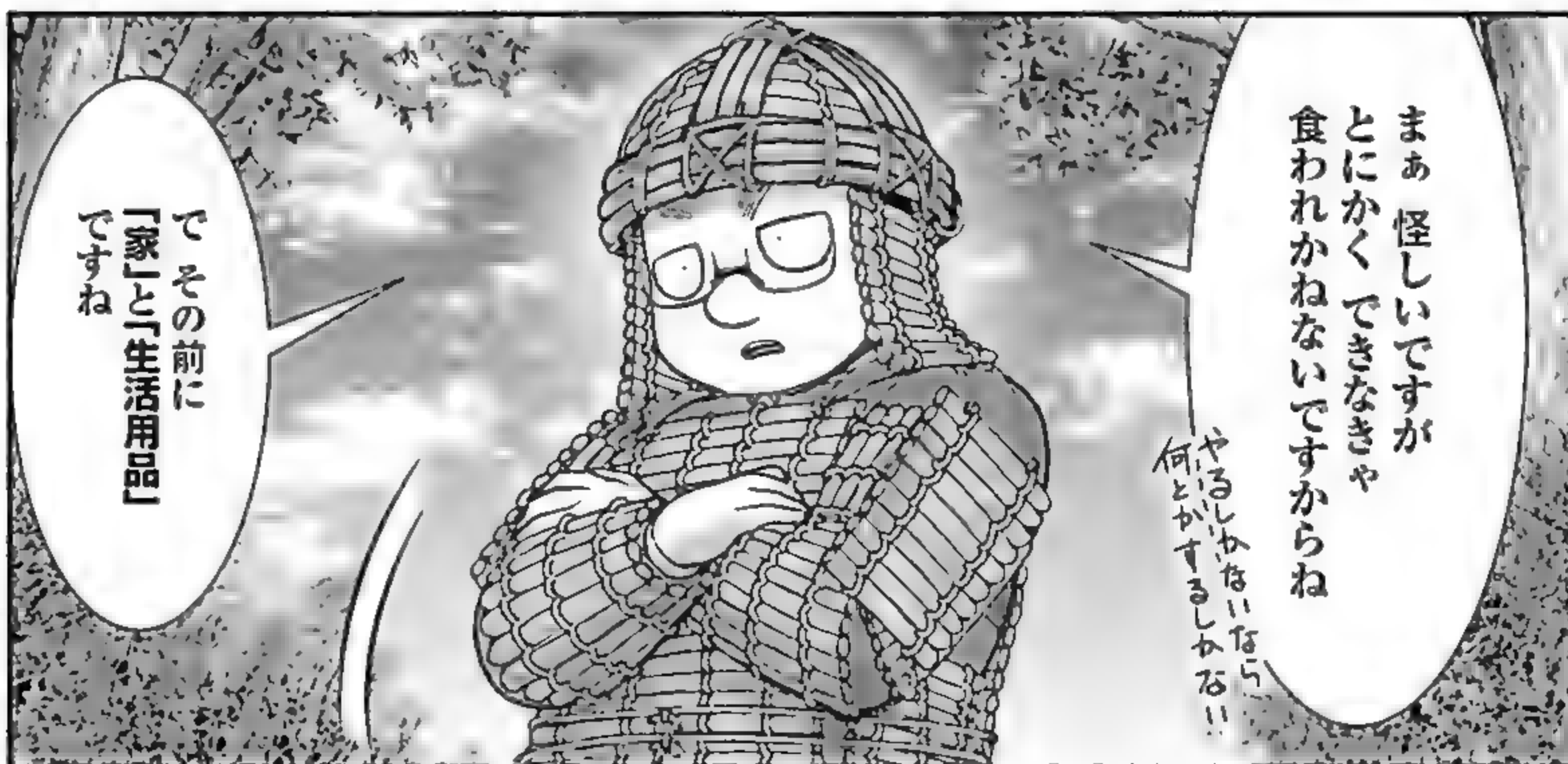
ただし!!



そんな高度なバランスが
求められるようなものを作って
調整するのはプロの仕事!!

素人の織津江君に
ロクに実験もできない環境で
流木や葉っぱを材料に作れるのか!?

正直怪しいぞ!!



まあ怪しいですが
とにかくできなきや
食われかねないですからね

やるしかないなら
何とかするしかない!!

でその前に
「家」と「生活用品」
ですね





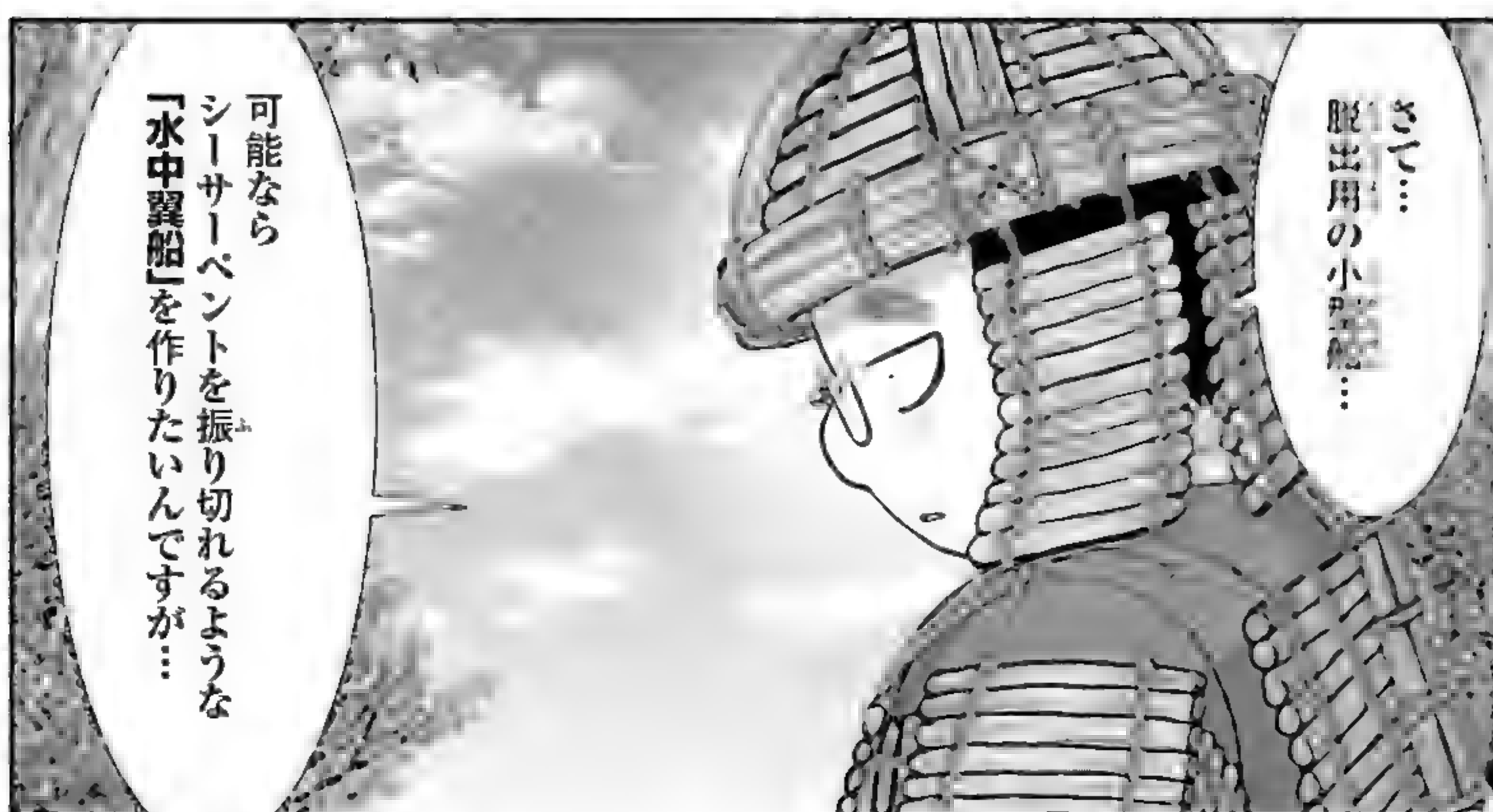
流木と草の家

魚の皮の鍋

流木の焚き火台

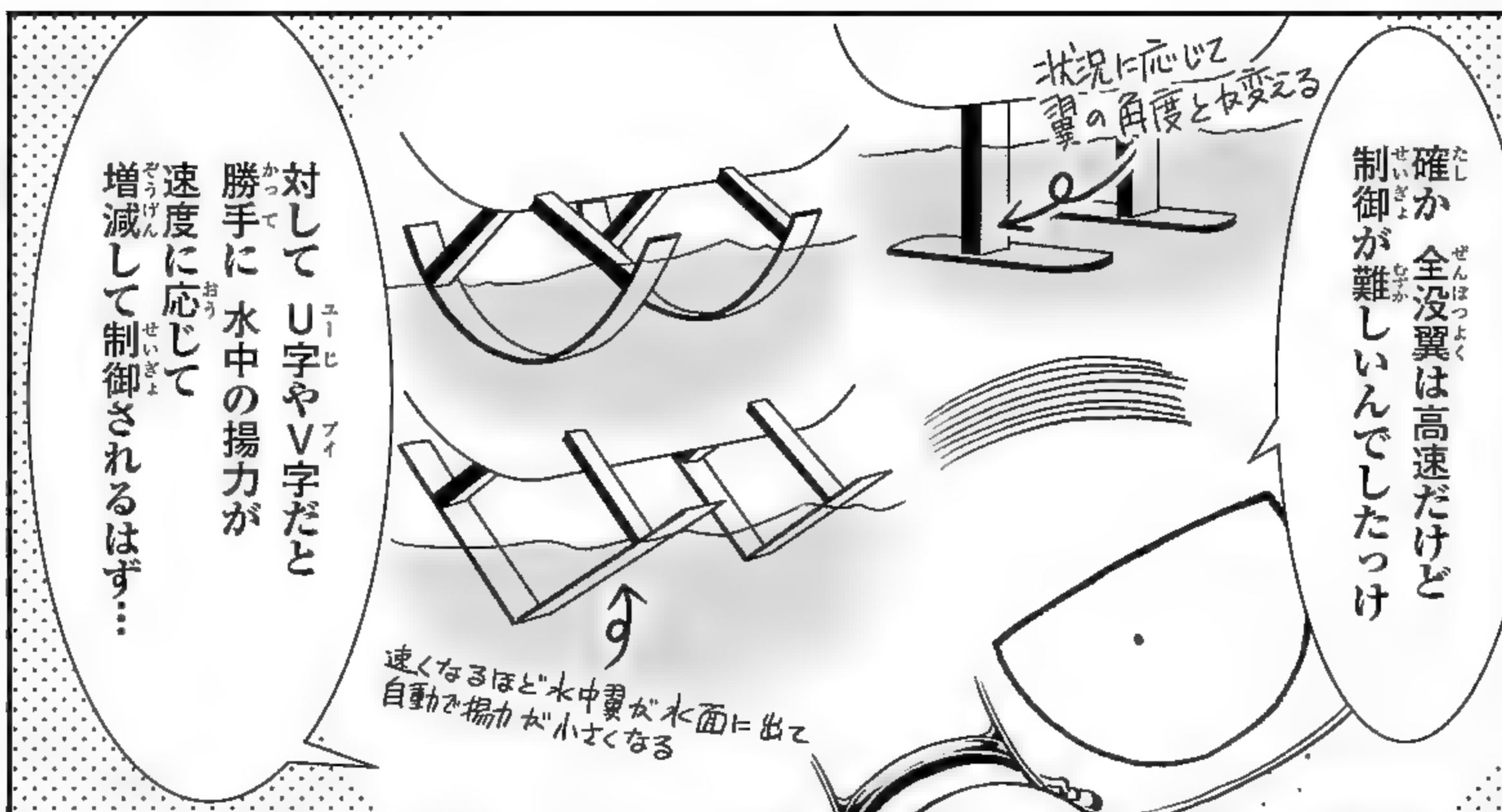
流木と樹皮と
石の釣り竿

まあ かなりうじて
すぐ死ぬ環境は改善しましたか



さて…
脱出用の小艇…

可能なら
シーサーベントを振り切れるような
「水中翼船」を作りたいんですが…



確か全没翼は高速だけでも制御が難しいんでしたっけ

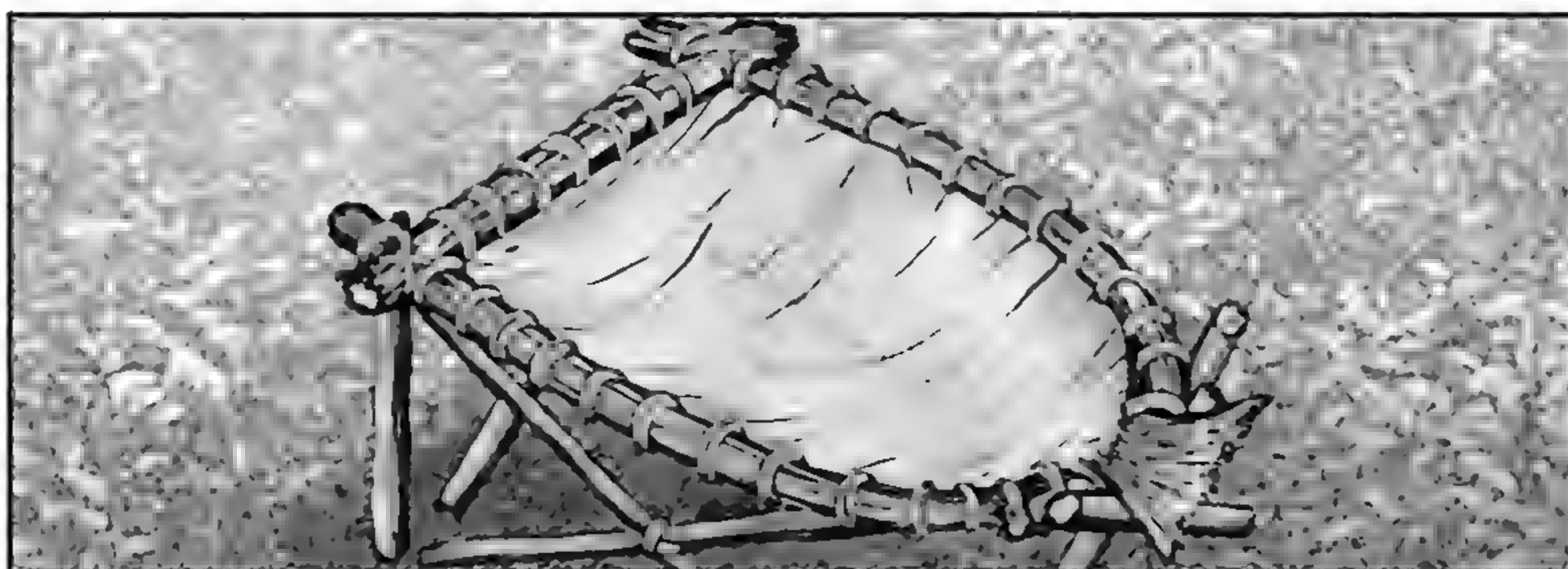
対してU字やV字だと勝手に水中の揚力が速度に応じて増減して制御されるはず…



U字かV字ですね
全没翼を制御する機構は
まともに実験もできない以上
無理です

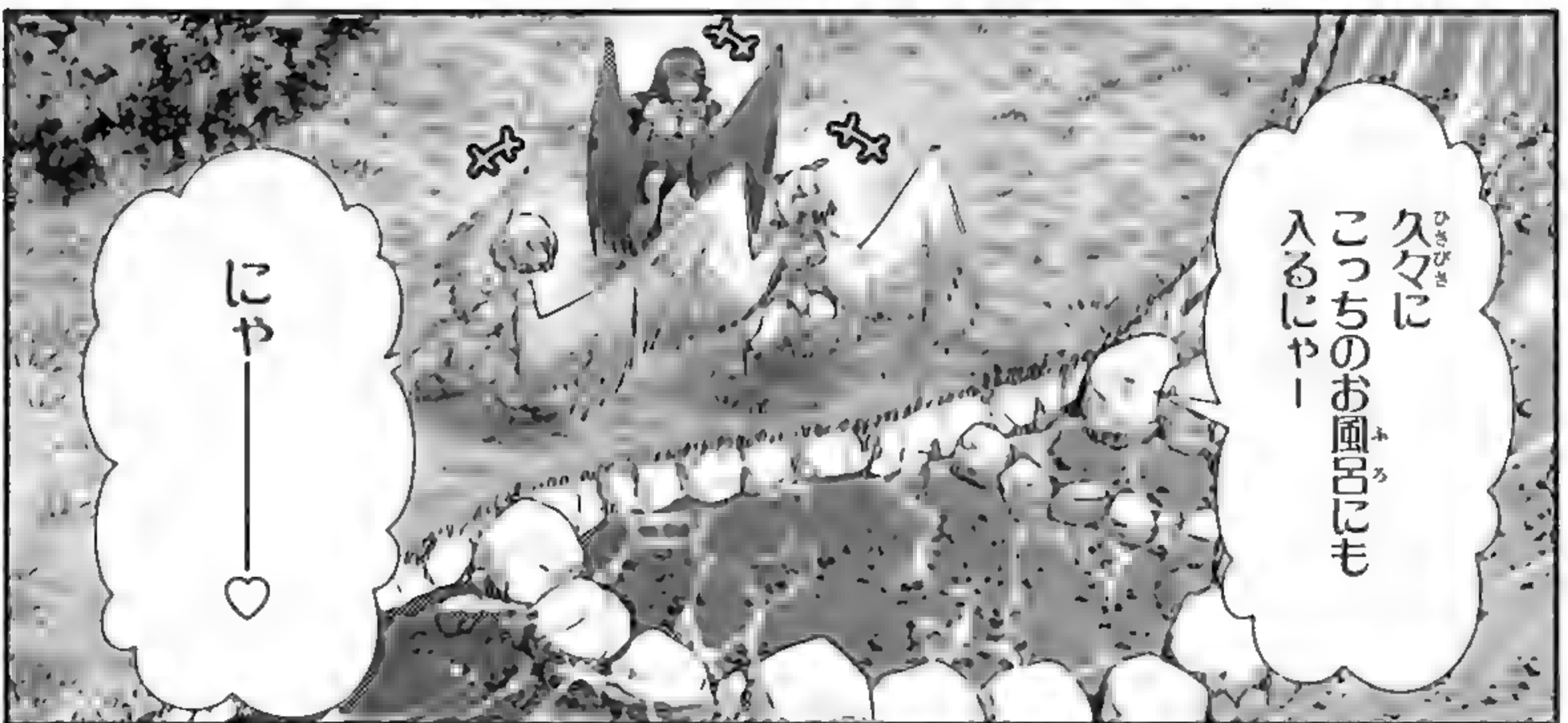
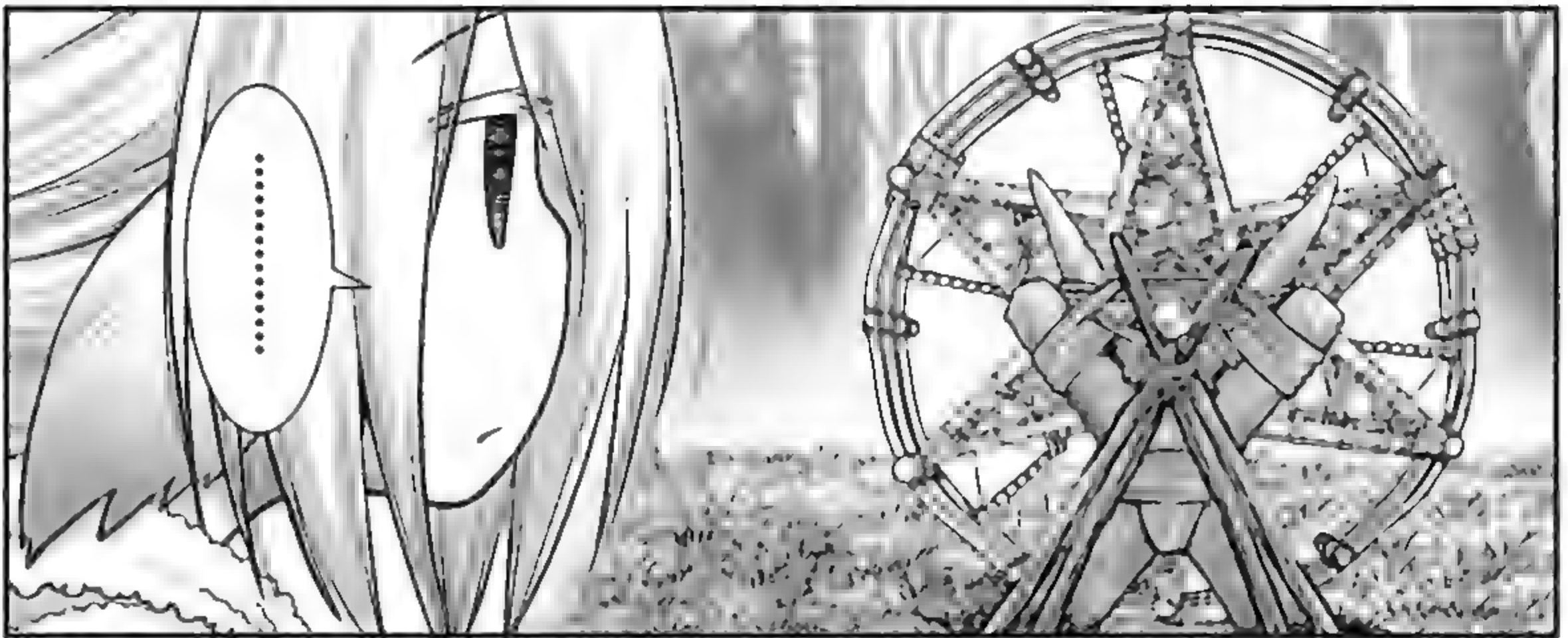
万一風が風いだりした時のために
最低限の浮力はほしい…
僕と船体と帆を支えればいいし
離水しやすさも考えて
湯舟ほどの体積があれば十分でしょう

しかし…







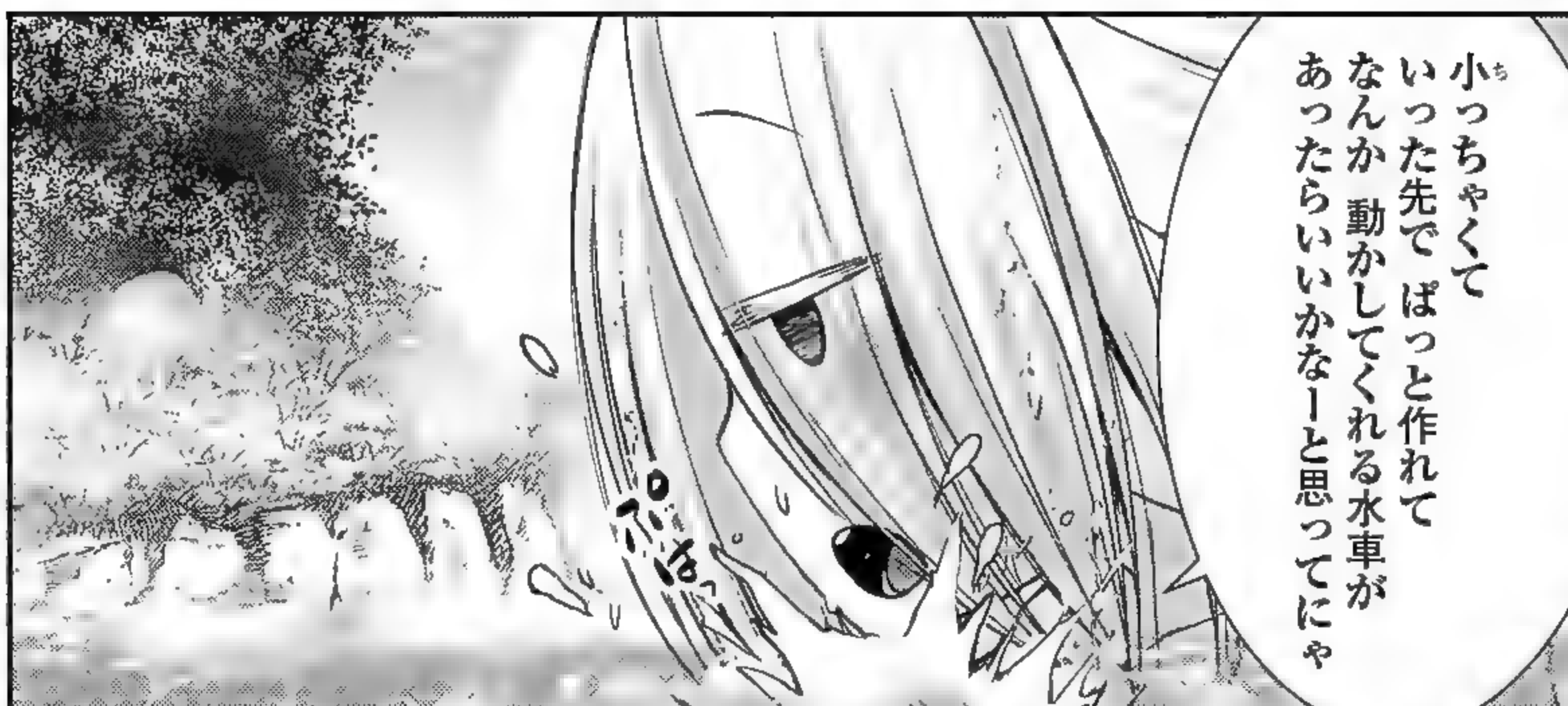


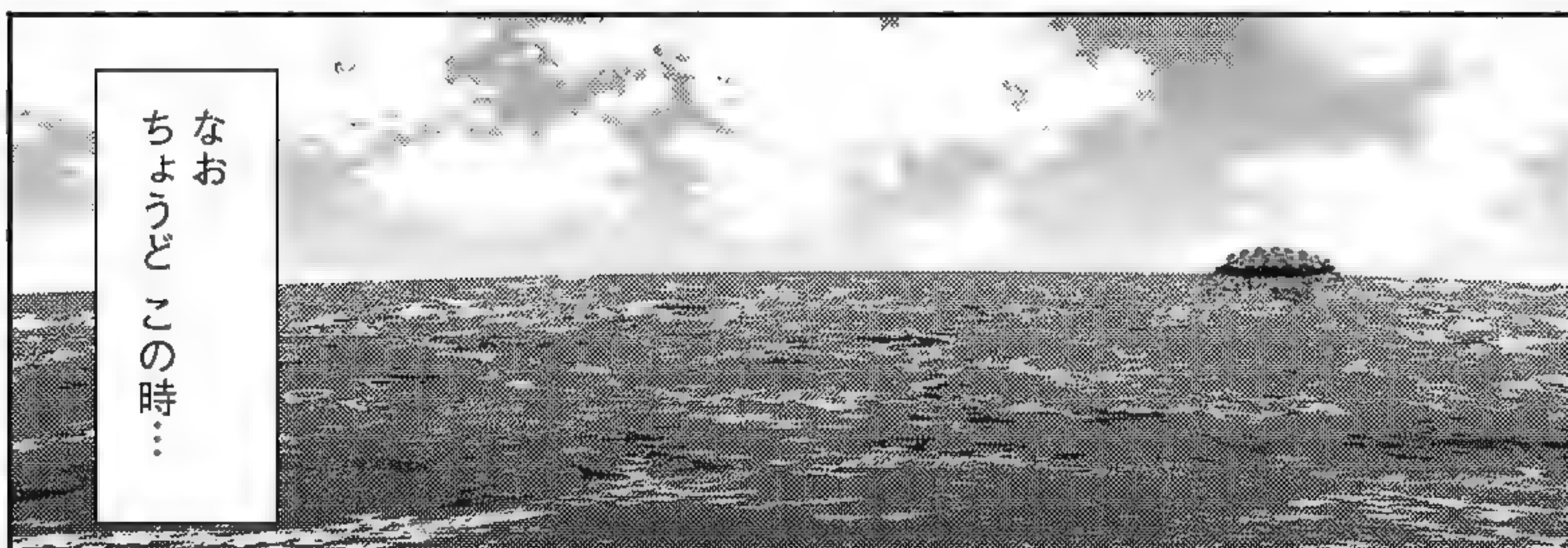








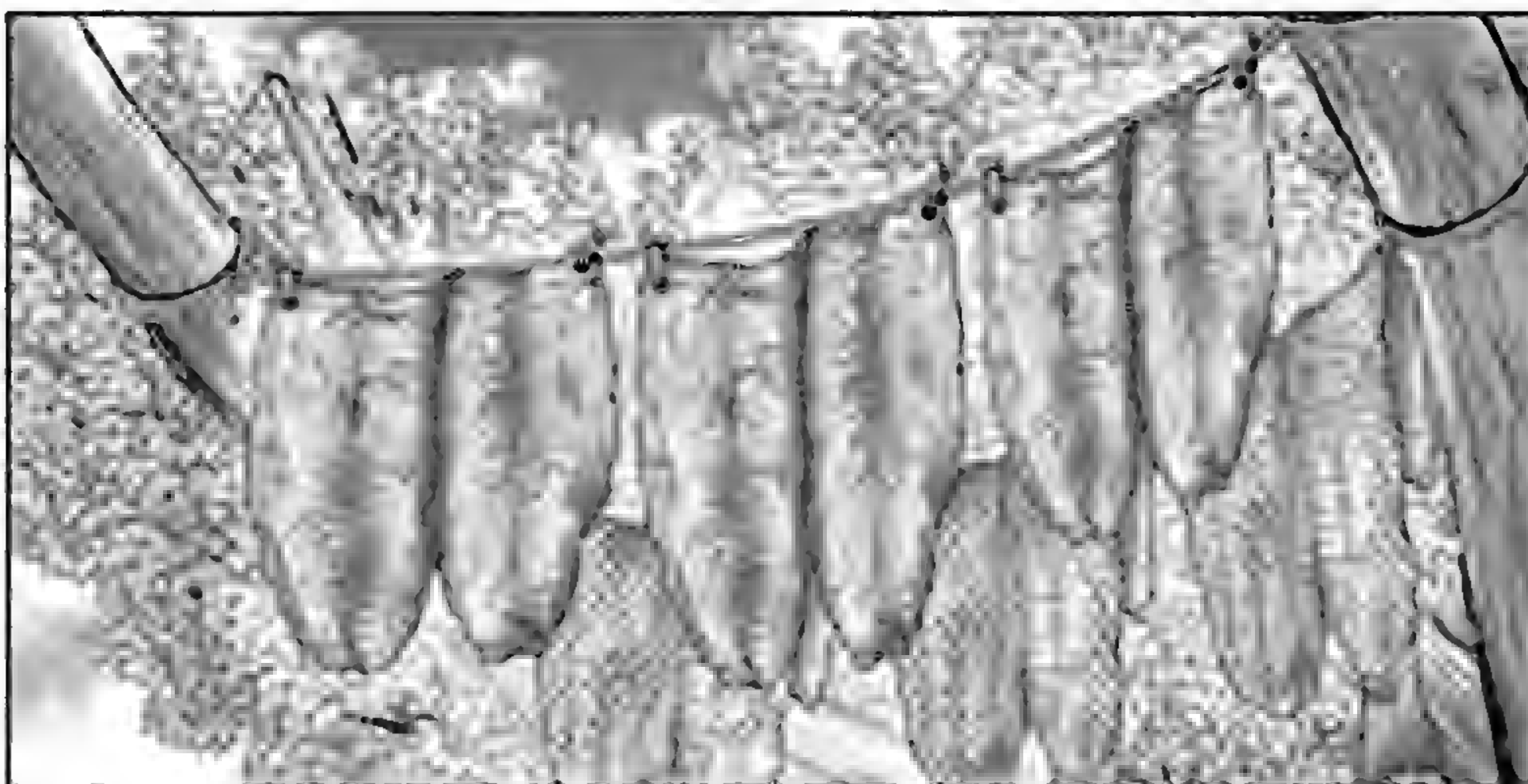


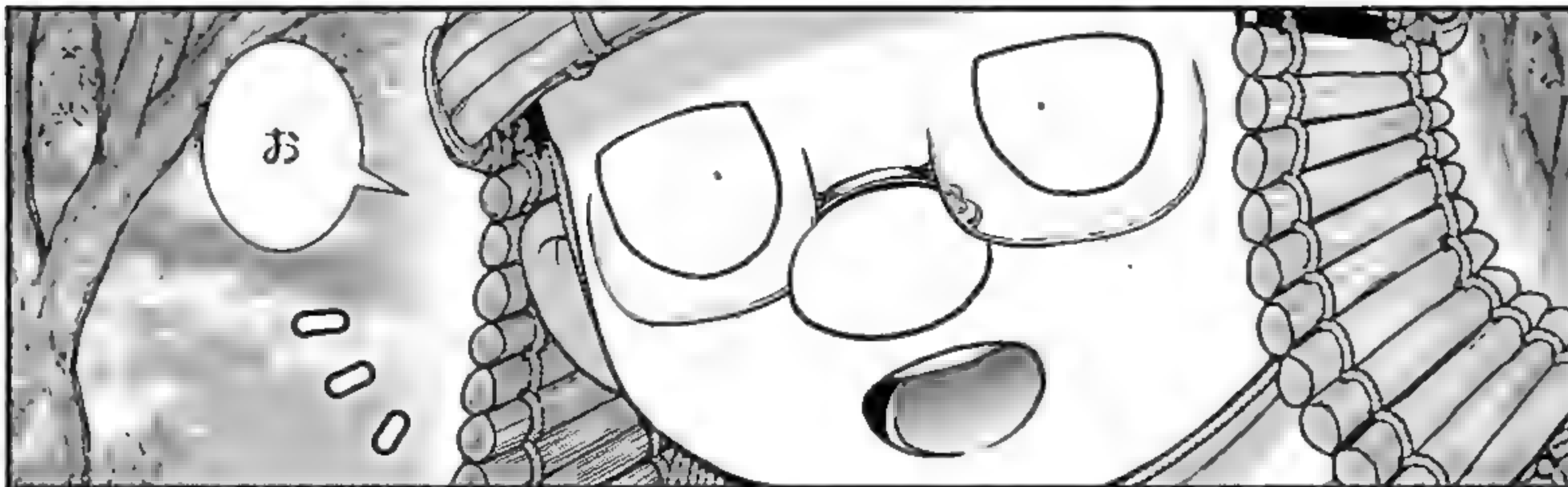
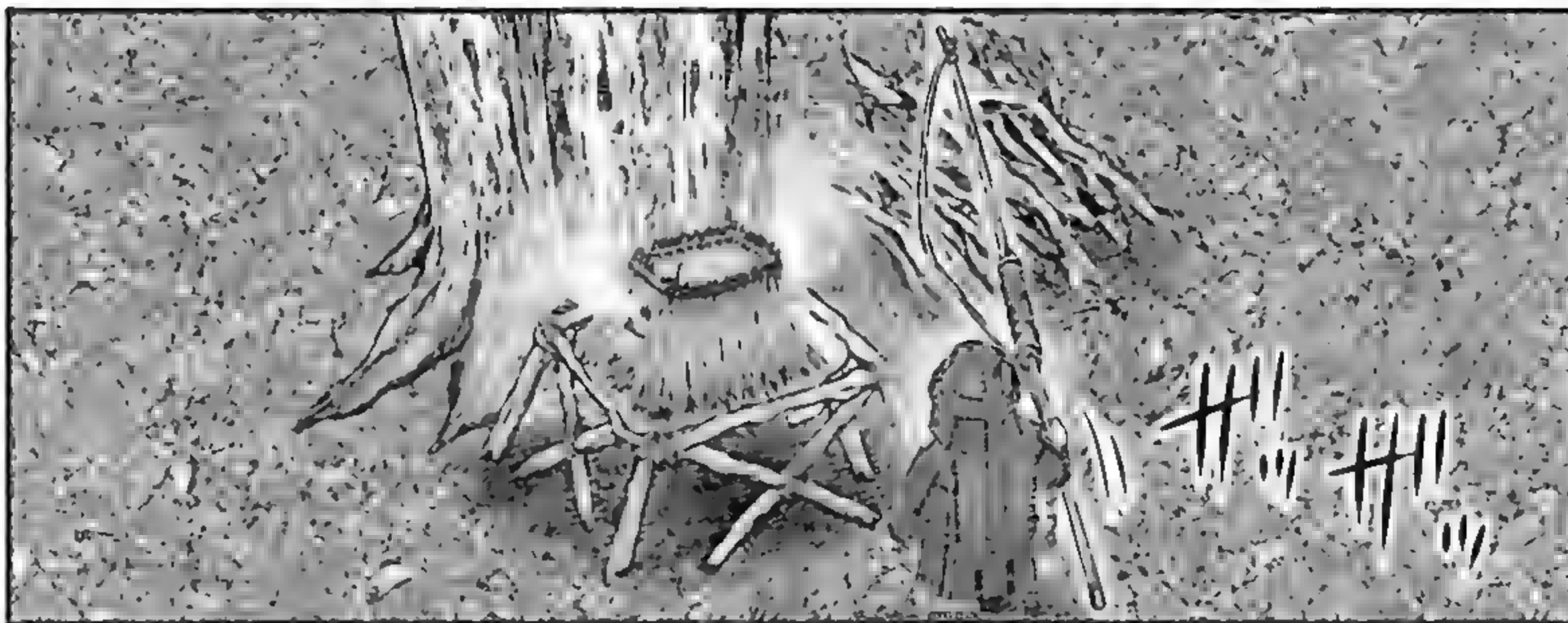
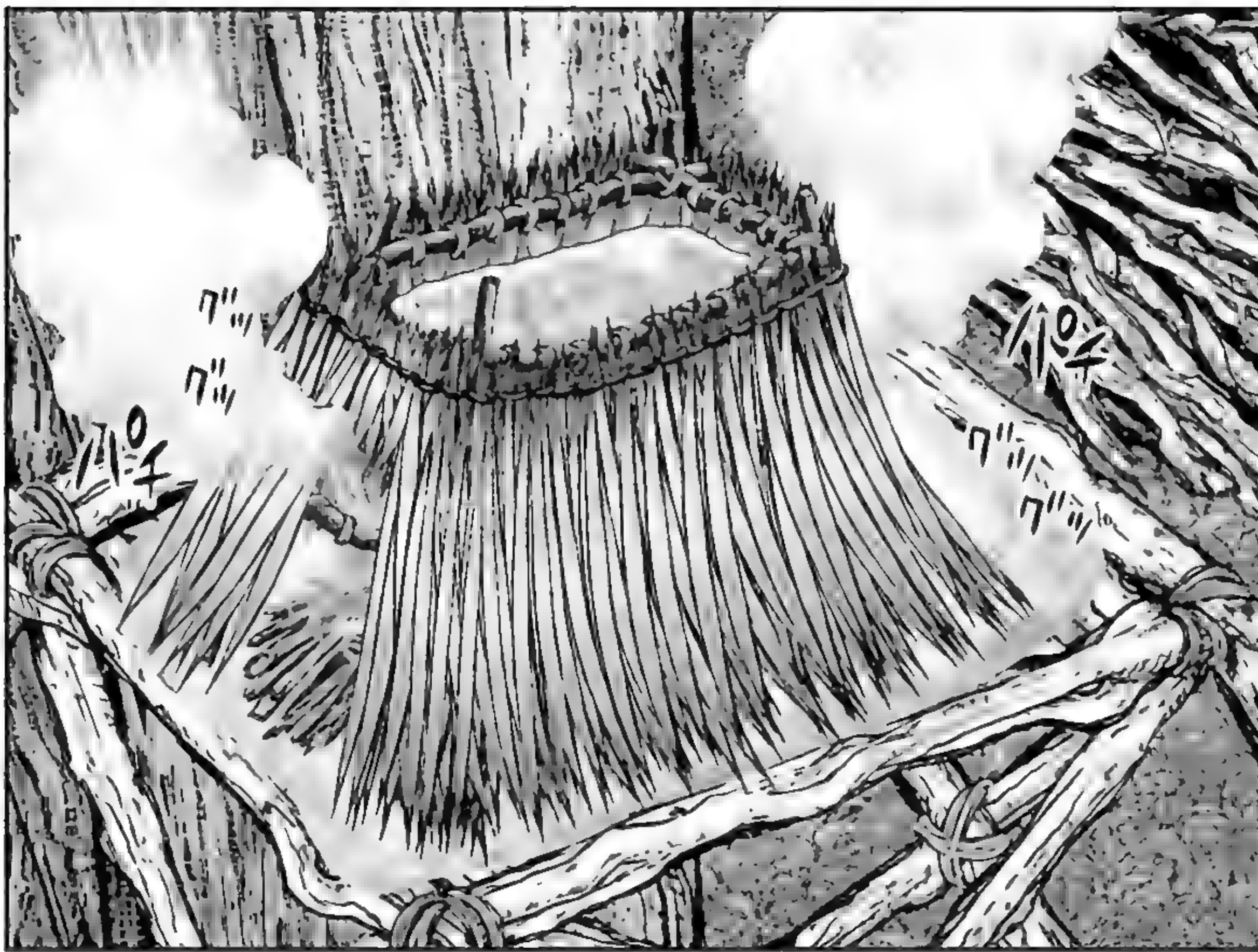


水車の工作などに夢中にならず
ちよつと高く飛んでいれば
水平線のアスピドケロンが目にとまり



興味を持って近づけば
織津江が発見できたであろうことは
いつでも仕方ない話である

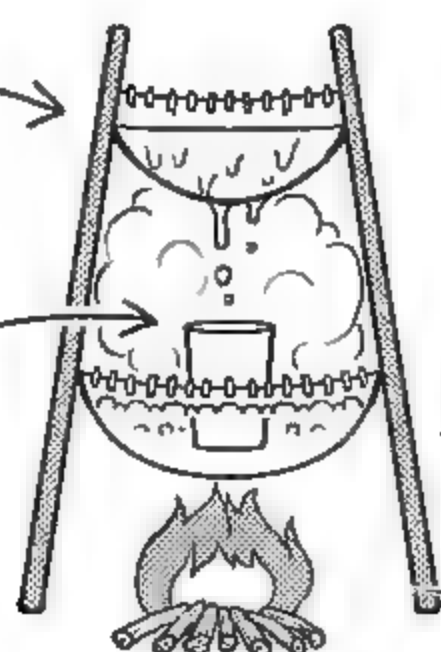






② 冷たい海水が入った
上の魚皮鍋が
蒸気を冷やして水滴を落とす

③ 水滴は
下の鍋に置かれた器に
真水として溜まる



① 下の魚皮鍋が
海水を沸騰させ
蒸気を出す

「海水蒸留器」!!

かいすいじょうりゅうき

魚の皮を2枚と
流木を削った器うつわを使って
海水を蒸留しているよ!!

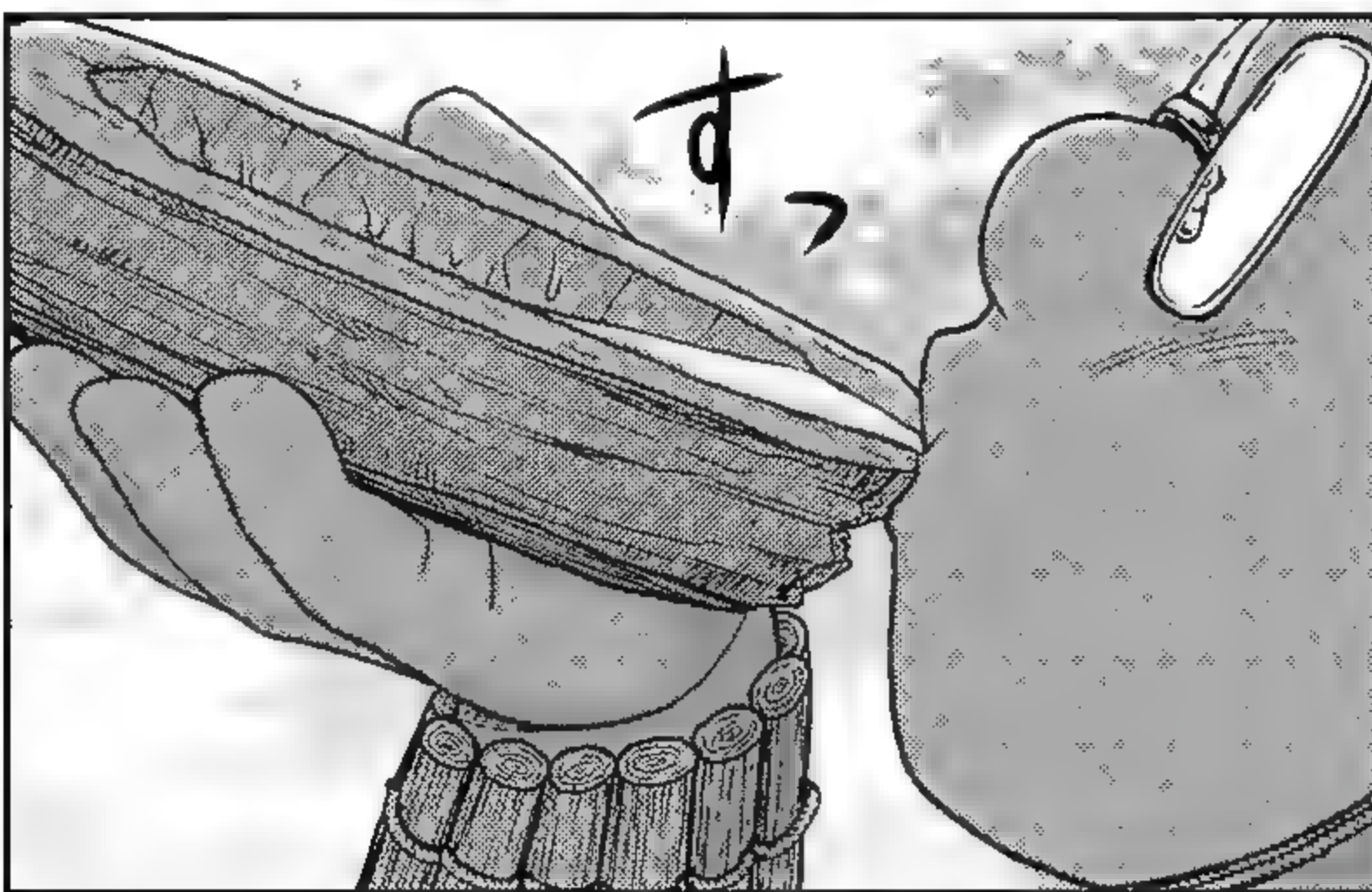
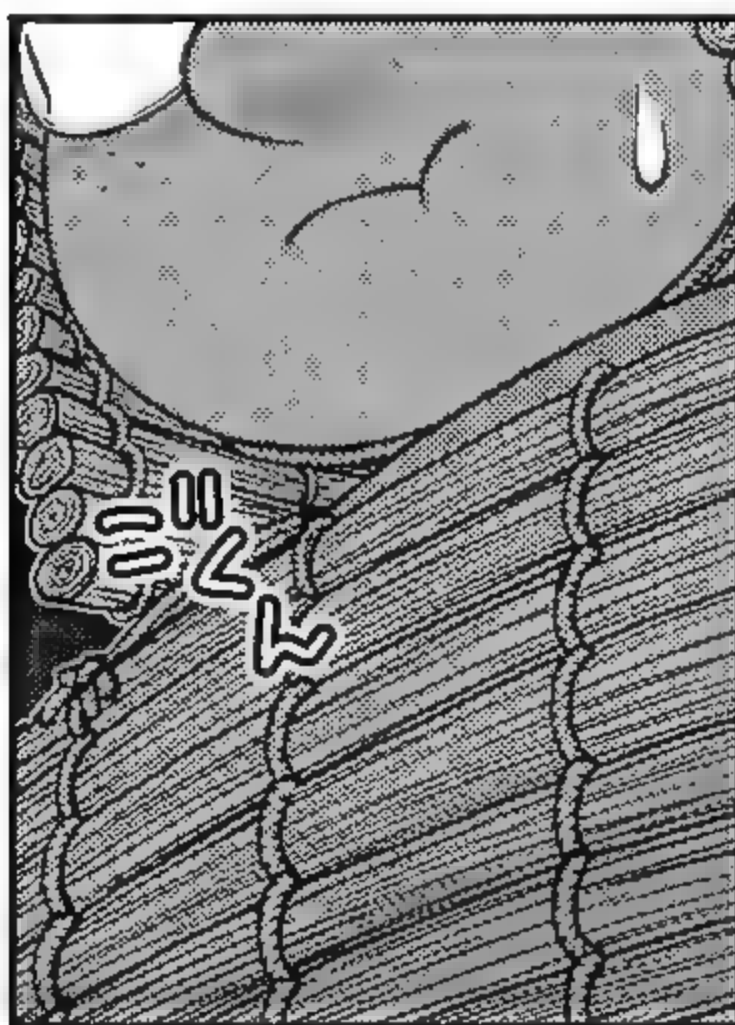
周囲は草で覆って
海風で蒸気や炎が
散らされないように!!
最低限の薪で
ちゃんと蒸留できるように
工夫してるよ!!

魚の皮は
ちゃんと海水が入ってる限り
燃えることはないよ!!



焚き火台は
灰と土を海水で練ったものを
たっぷり盛りつけて
燃えにくいようにしてあるよ!!

水もほしいのは
もちろんだけど
魚の血を結構飲んでるから
どっちかというと「塩」をとる
ためにやってるよ!!





!?

クラッ

グラッ

ゴゴ



…魚の生臭さと
煙の臭いが結構する…

まあ
仕方ないですね…



ゴゴ

ゴゴ

唐突ながら…

人体にはニキビダニや
細菌など無数の生物が
共生したり寄生したり
しているし
我々はそれを知っているが…

あなたはそんな生物達を
気遣ったことが
一度でもあるだろうか



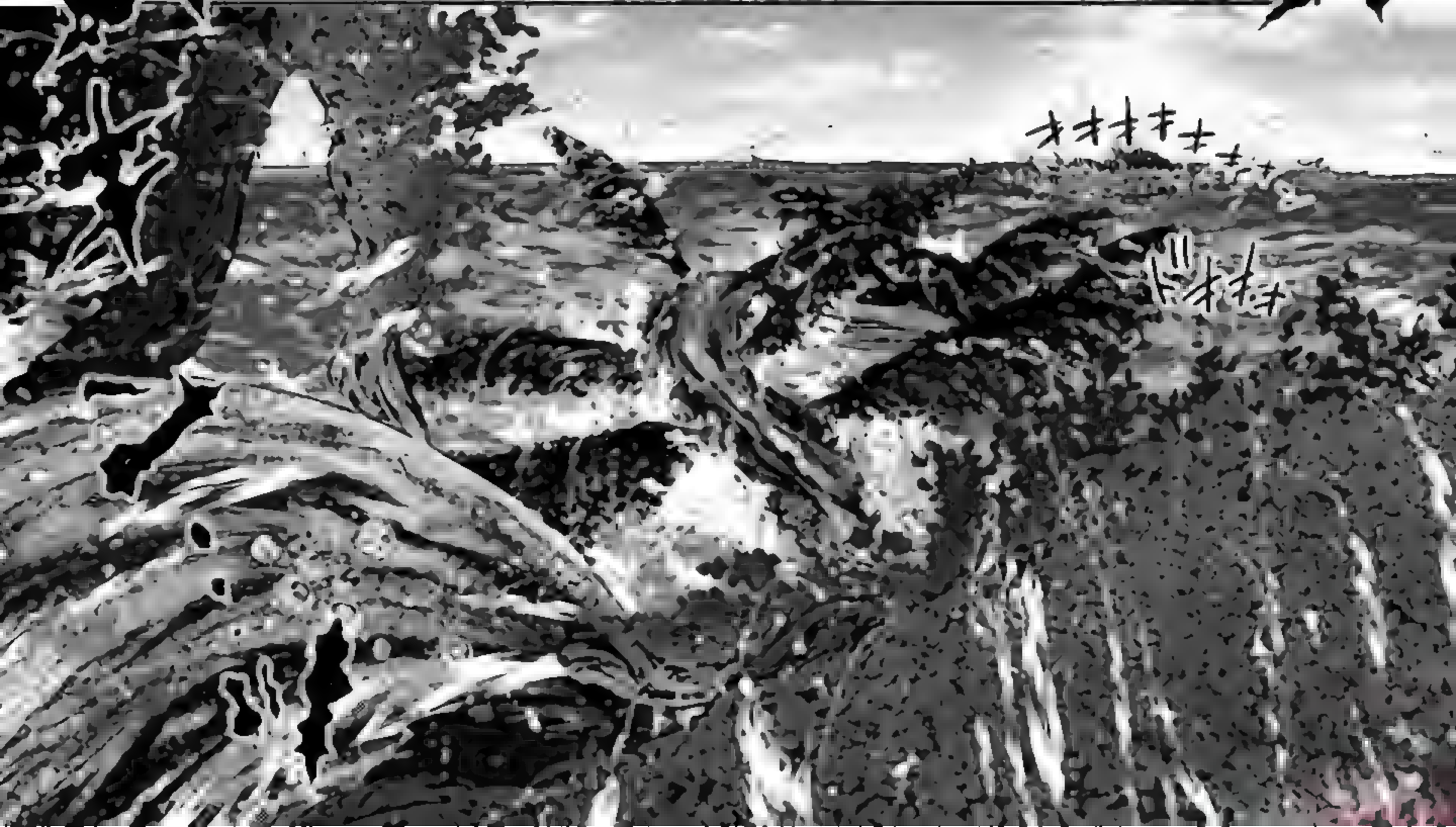
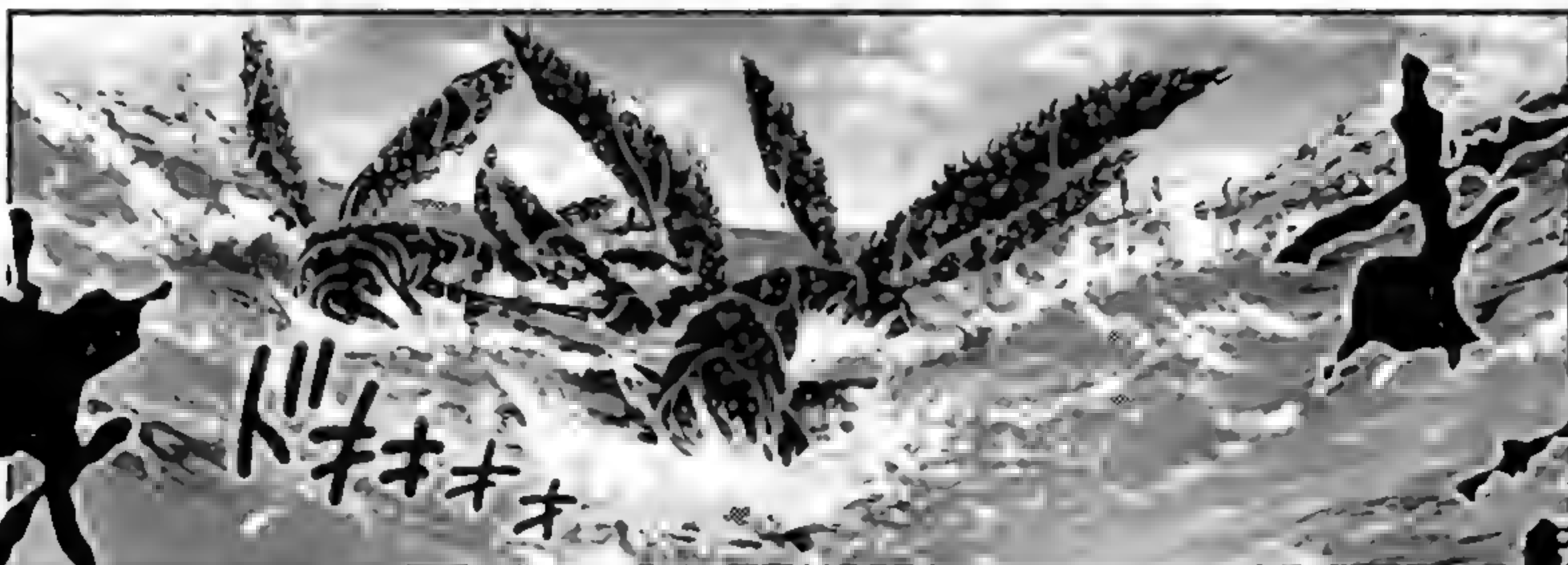
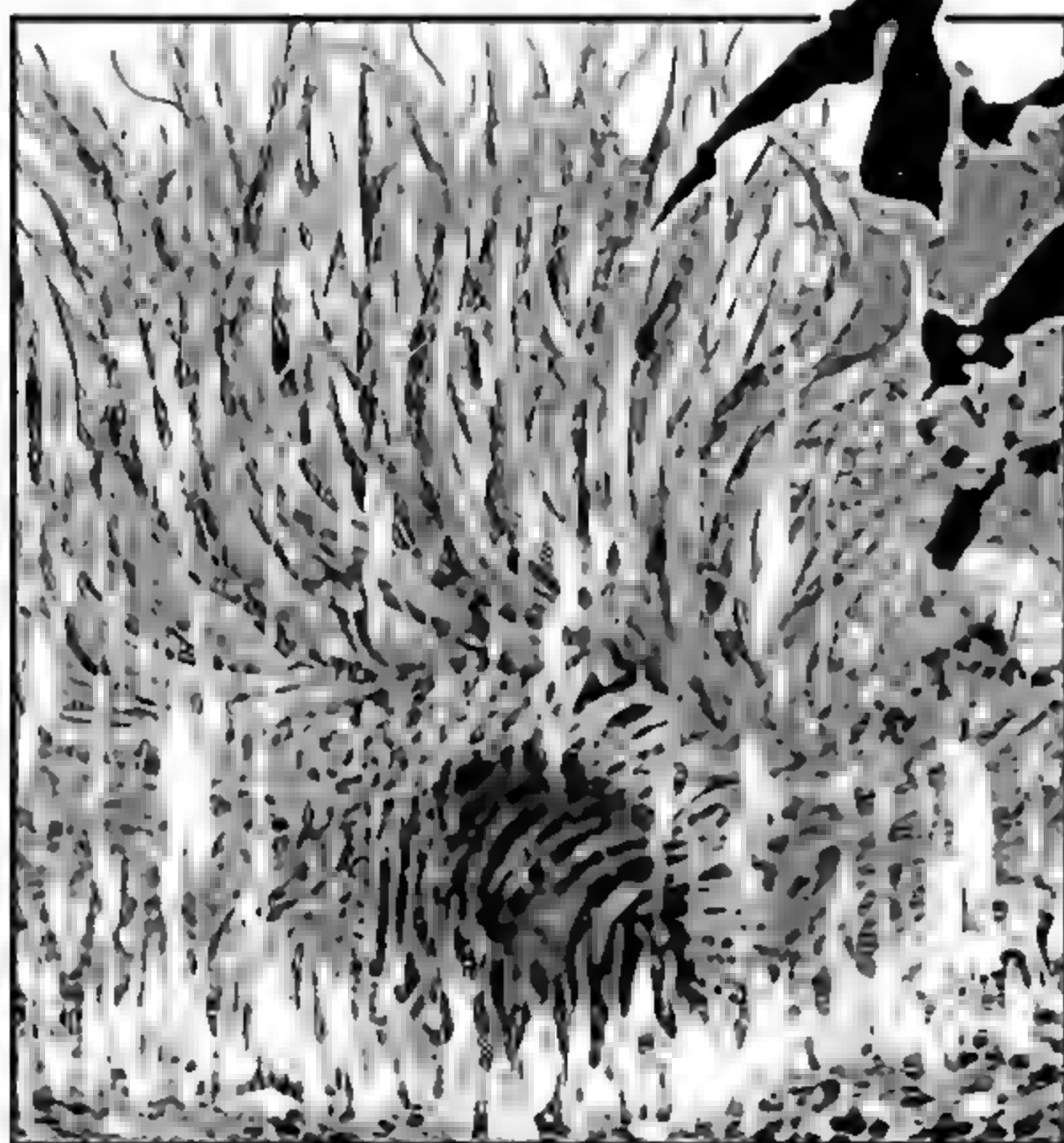
ゴゴ

ゴゴ

特に

自分に危機が
迫っている時に…

ゴゴ







怪獣大決戦は

かいじゅうだいけっせん

やめてもらえませんか!?

NEXT「怪獣大決戦(ガチ)」

織津江大志^の
異世界ク^{むす}リ娘
サバイバル日誌





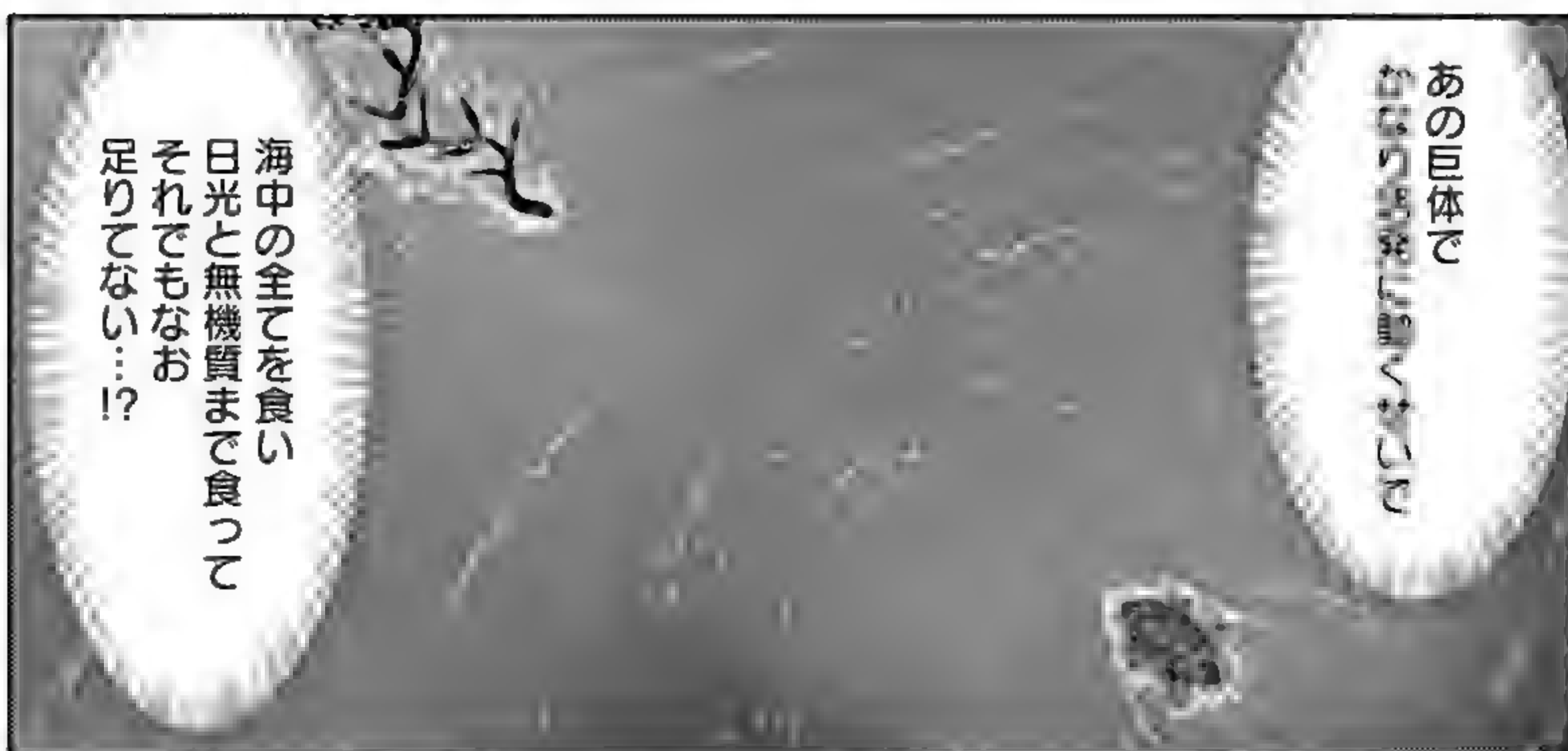
なんですかあれ…
リヴァイアサンですか？
ウロボロスですか？

スズズズ

ドドドド

完全にアスピドケロンの
近縁種ですね…





あの巨体で
おなけいさなうさなうさ

海中の全てを食い
日光と無機質まで食って
それでもなお
足りてない…!?



アスピトケロンを
捕食する「同種」…

…ますい…っ!!!

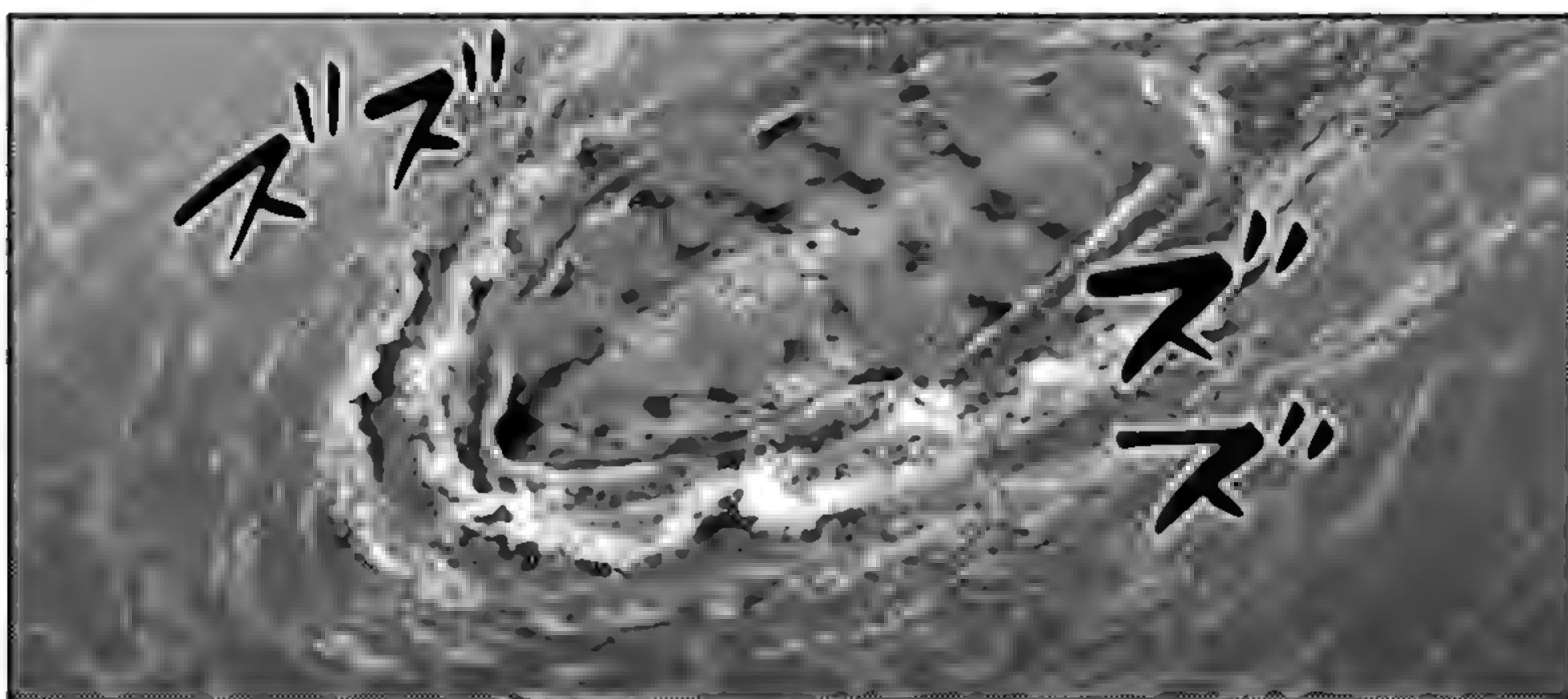


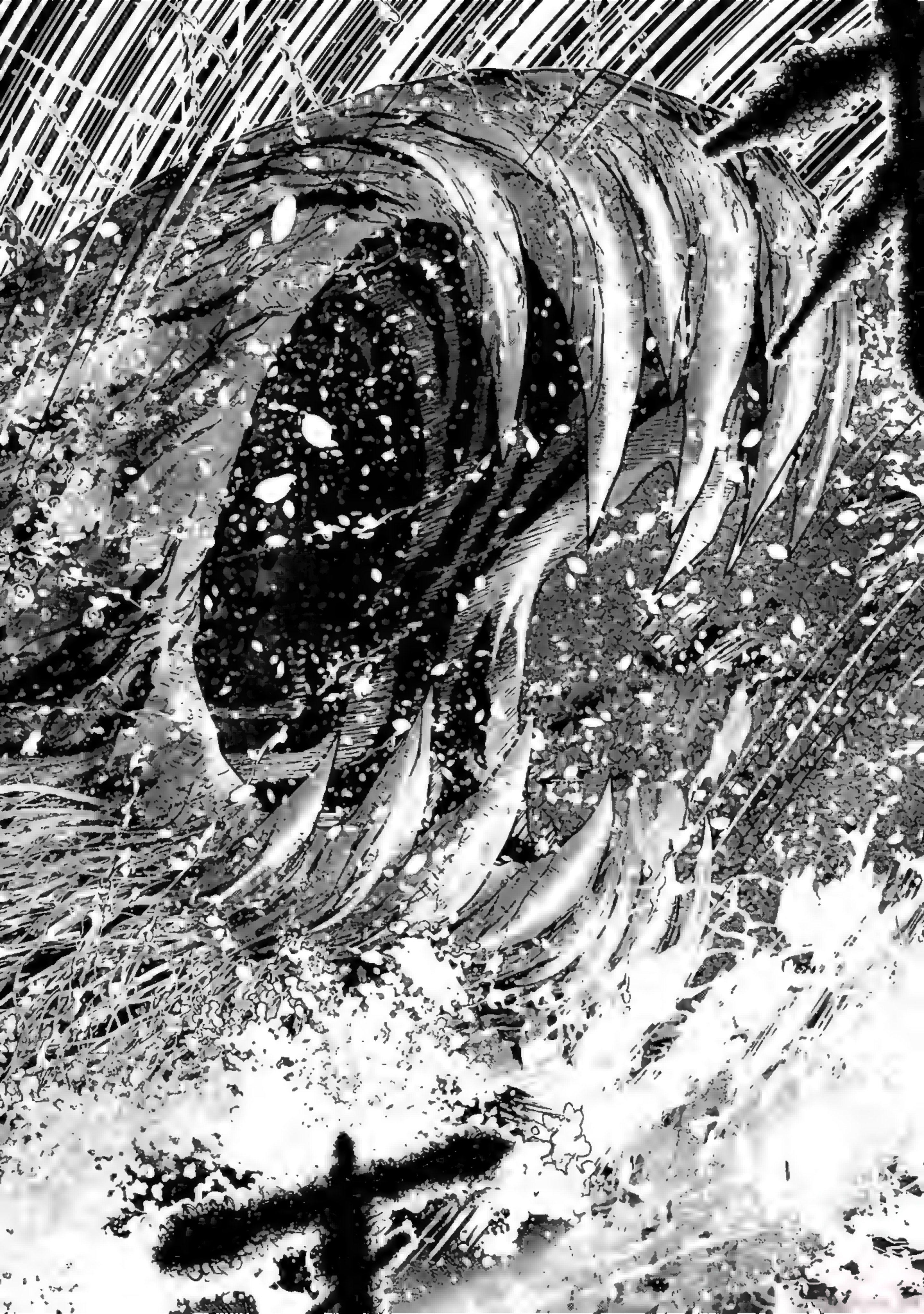
みづくりと…しかし着実に
巨大な怪獣に面する
巨大な怪獣…

偶然だろうが
空は急激に曇り

迫る終焉の時を
不吉に彩った

ズズズズズズ



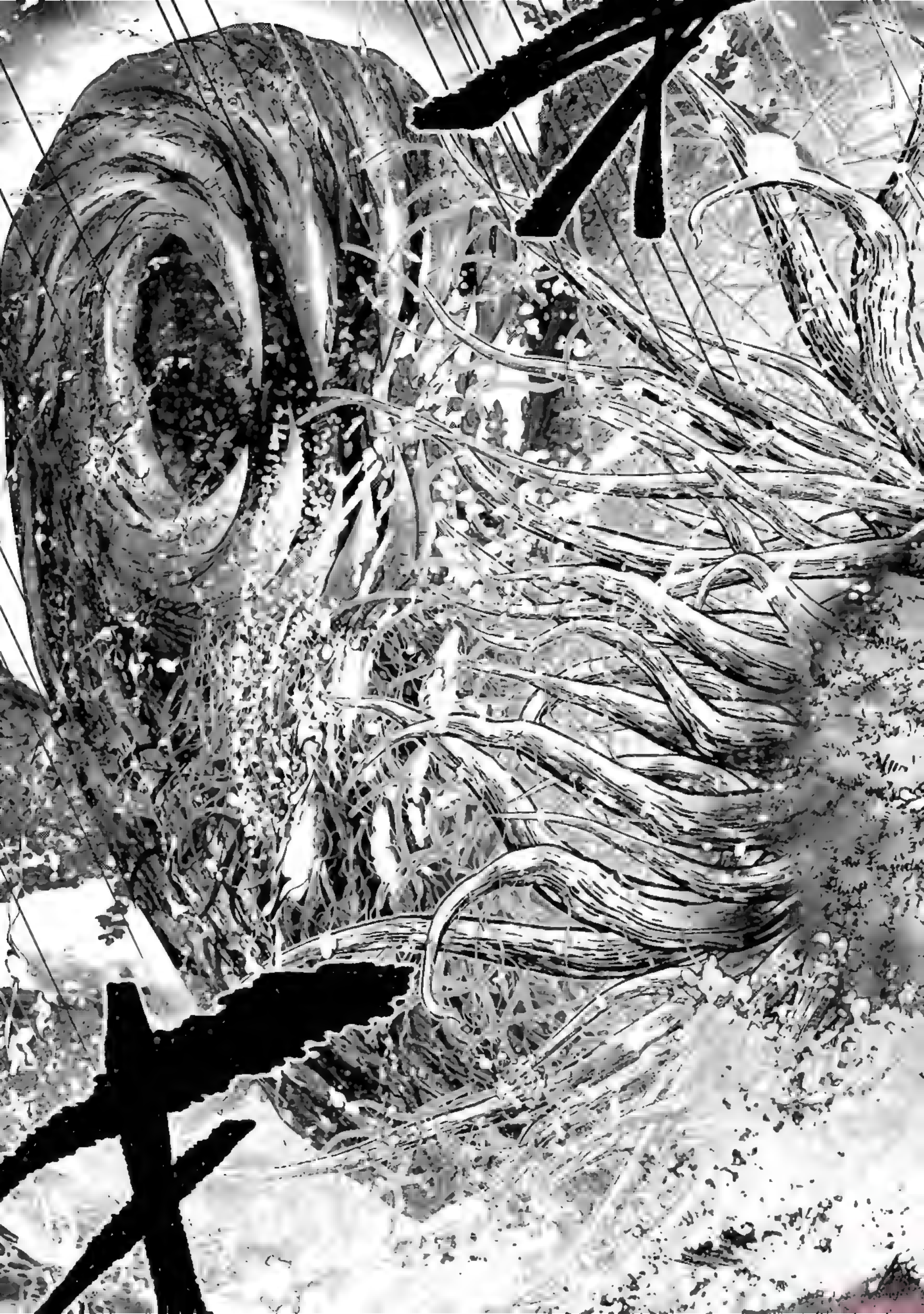












どっちも

食う気満々だあああ

ああああああ!!





ヒレが...!!!

ドドチナナ
頑張れ!!
アスピドケロン!!

向こうには
住めないです!!
僕!!

ドドチナナ

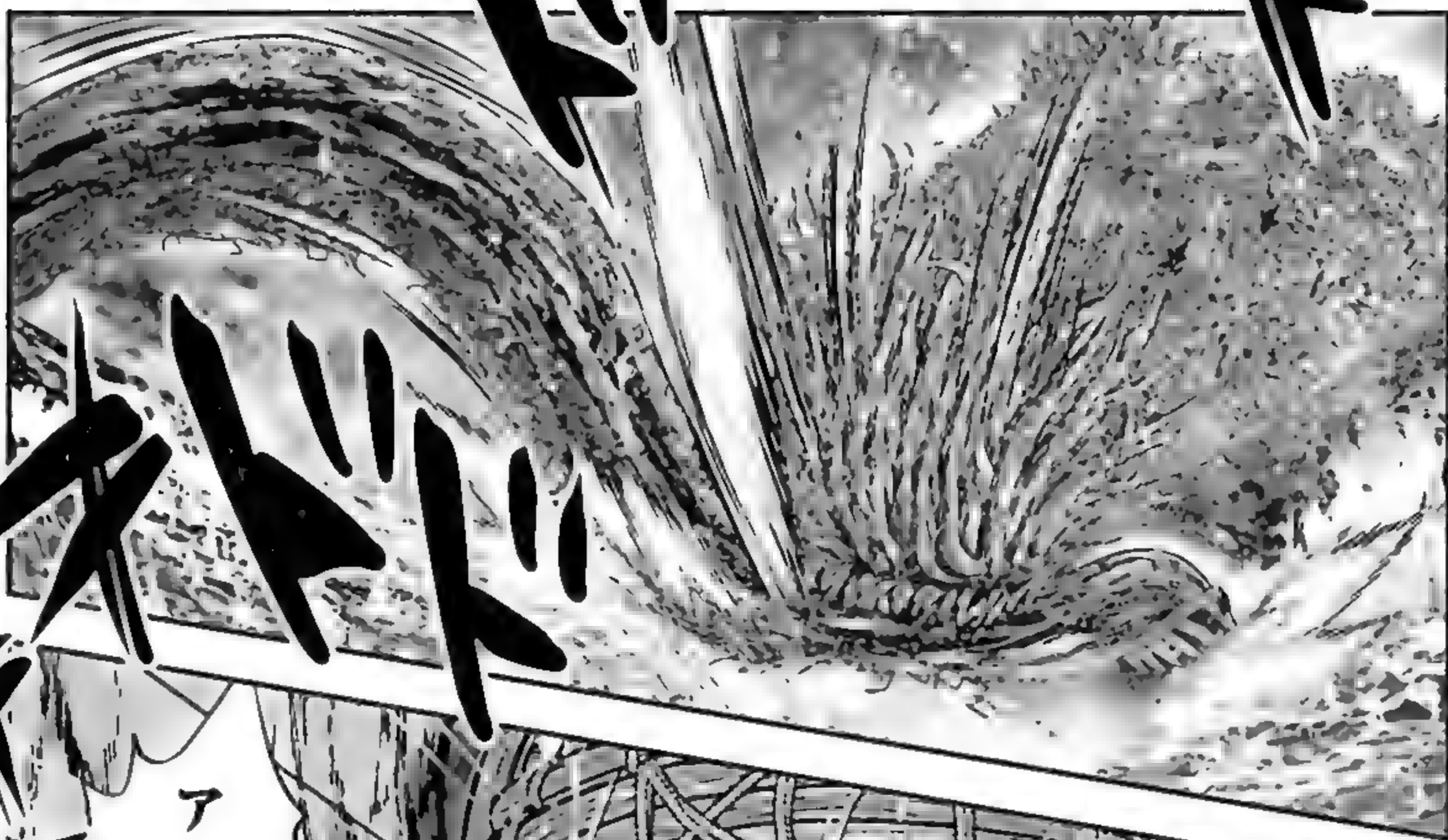


おおお

おおお







アスピドケロン!!

いいぞ!!
頑張れ!!








你
我
心

心



よしやあああ!!

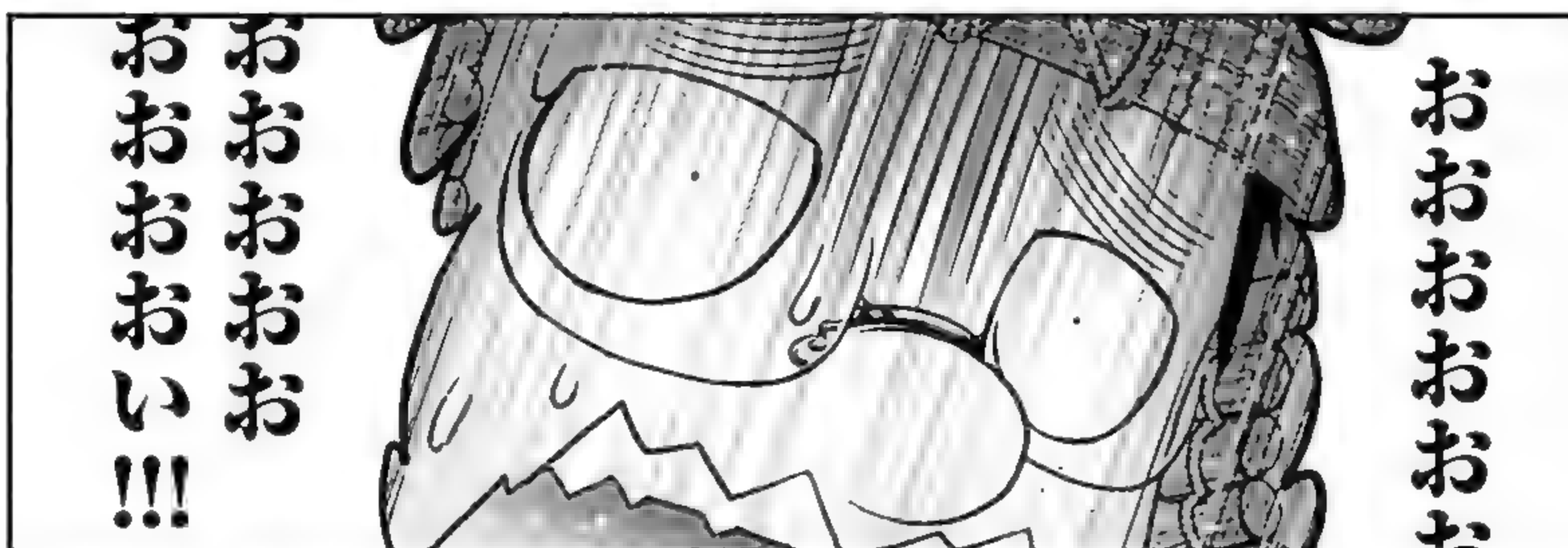


すごいぞアスピドケロン!!
強いぞアスピドケロン!!

そのまま食っちゃま...











やべえ

これ死ぬ？

NEXT「過酷な環境は3時間で死ぬって言ったよね」



第41話「過酷な環境は3時間で死ぬって言ったよね」

季節・冬
時刻・夜が近づいている
全身・海水でびしょ濡れ

風・割と強風
天候・かなり強い雨

施設類・跡形もない
周囲の素材・すべてびしょ濡れ
状態・クソ寒い


結論



こうする!!!

可成に速く速く

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



ほうわ
飽和水蒸気バリアアアアアア!!!

狭い空間に体を収め!!
風をシャットアウト!!

周囲の湿度を
限りなく100%に近くして!!
屋内と体の水の蒸発を抑える!!



濡れたままで
乾かせないなら……っ

逆に湿度を高め水が
蒸発しないようにして

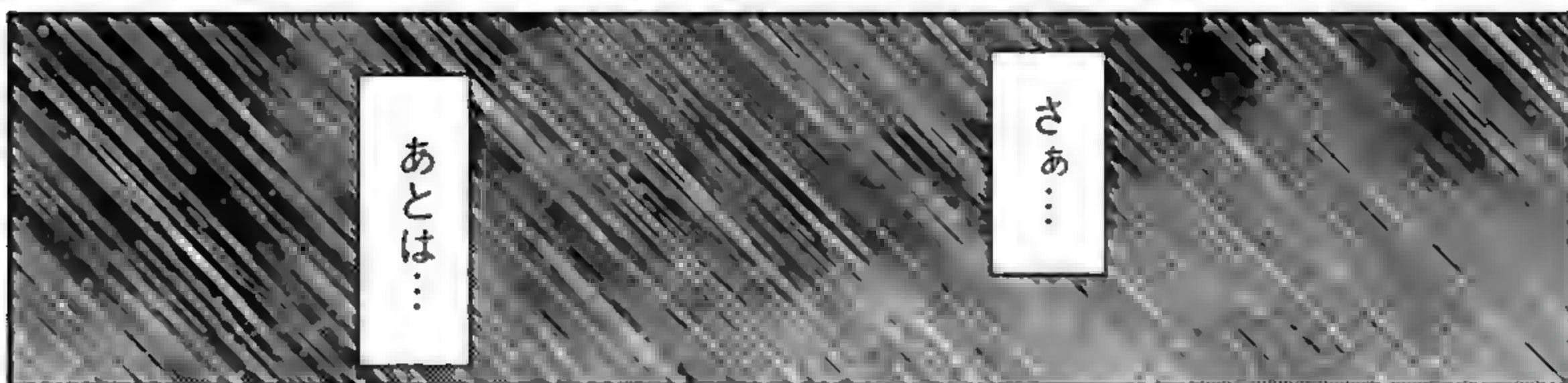
気化熱で体温が
奪われることを防ぐ!!!



そのためにも
「防風」!!

とにかく身の回りの空気を
動かさないことが肝要!!
新聞紙一枚でも
巻きつけて寝れば
びっくりするほどあったかいのは
それが理由!!

極度に狭く
ほぼ風が入らない
シエルター内部は
自分の体温と
飽和した水蒸気で
やがてムワツとした
ミストサウナ状態に!!



さあ……

あとは……

明日
晴れてください…!!

お願いします!!
神様仏様…!!

あと持ってください…!!
僕の体力…!!

祈って!!

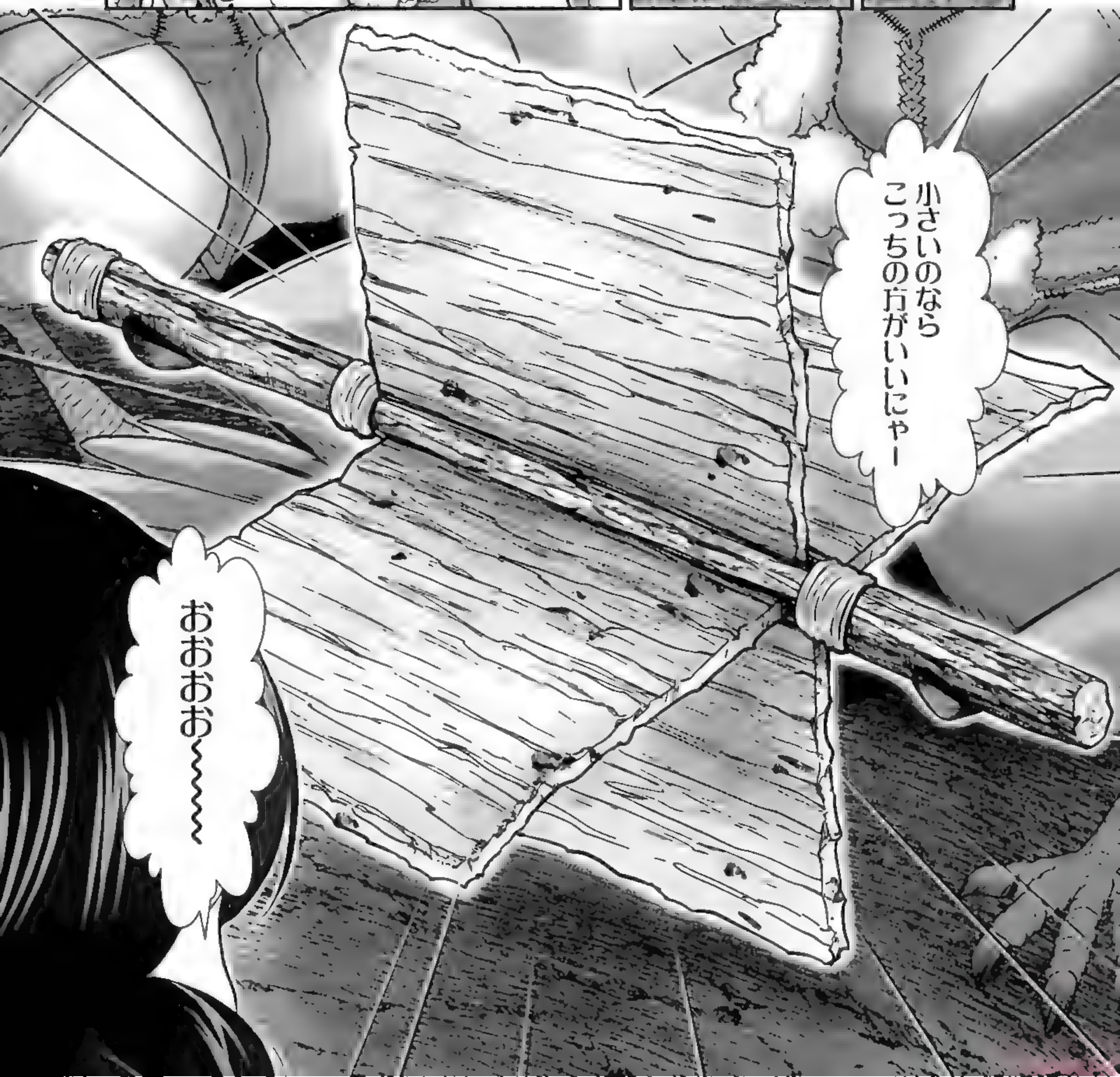
寝る!!!

ホリホリ

もしや
もしや

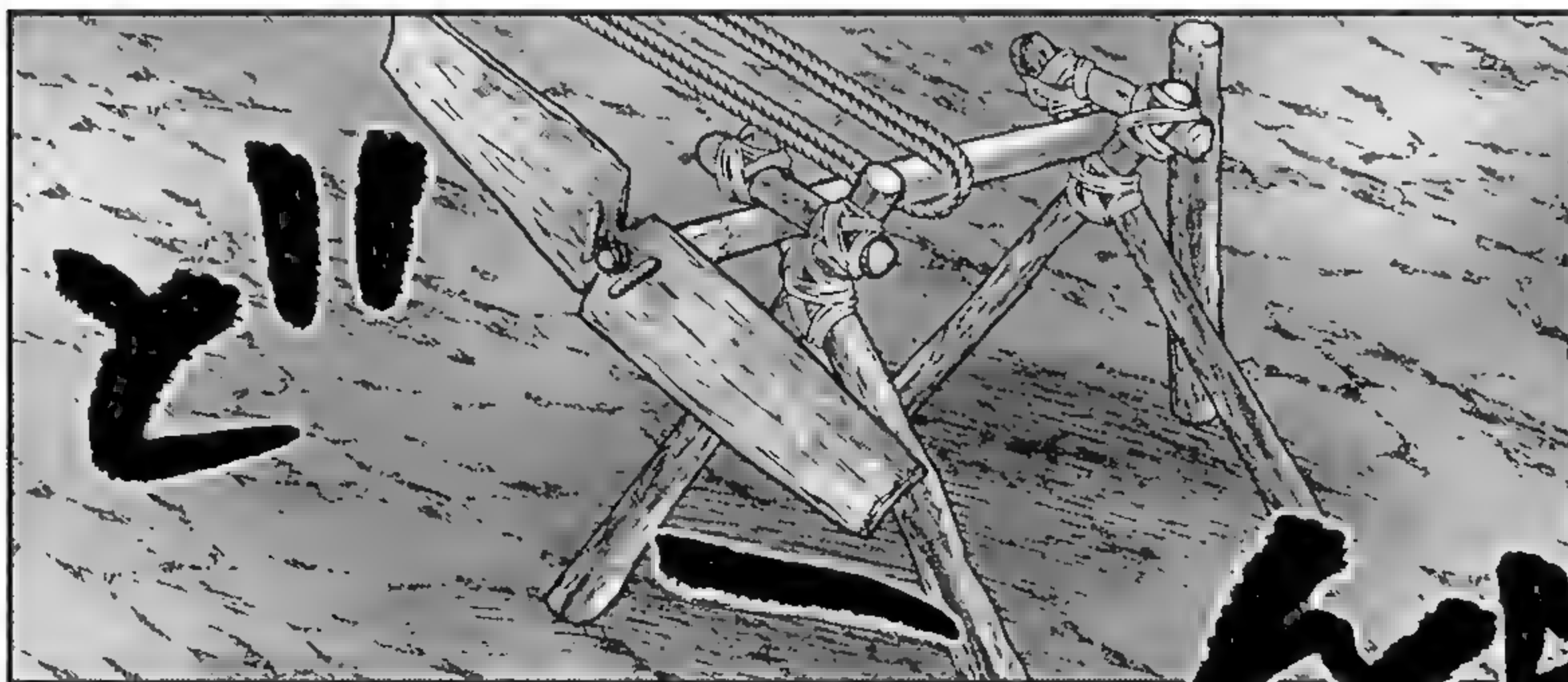


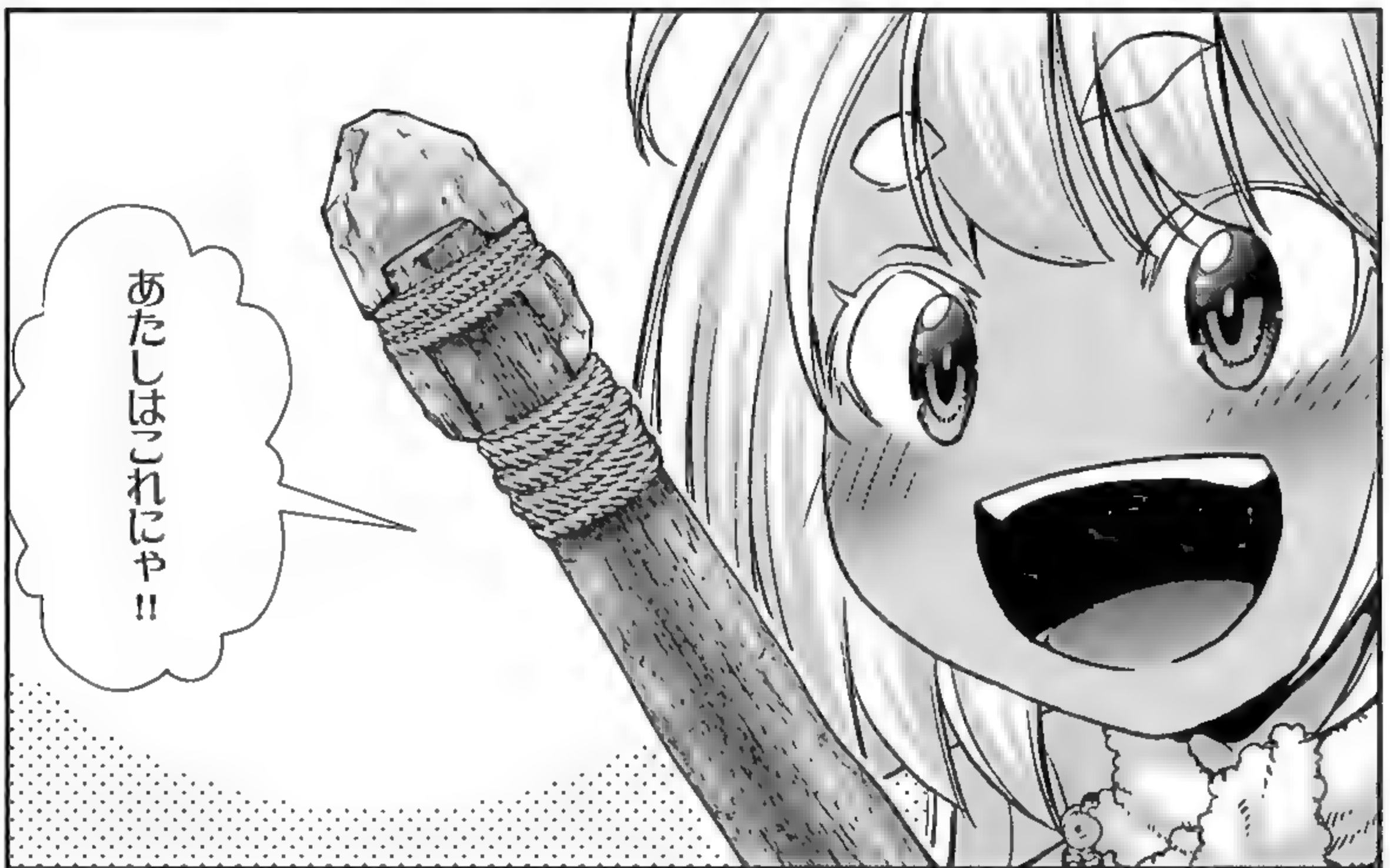
ア
ア
ア
...

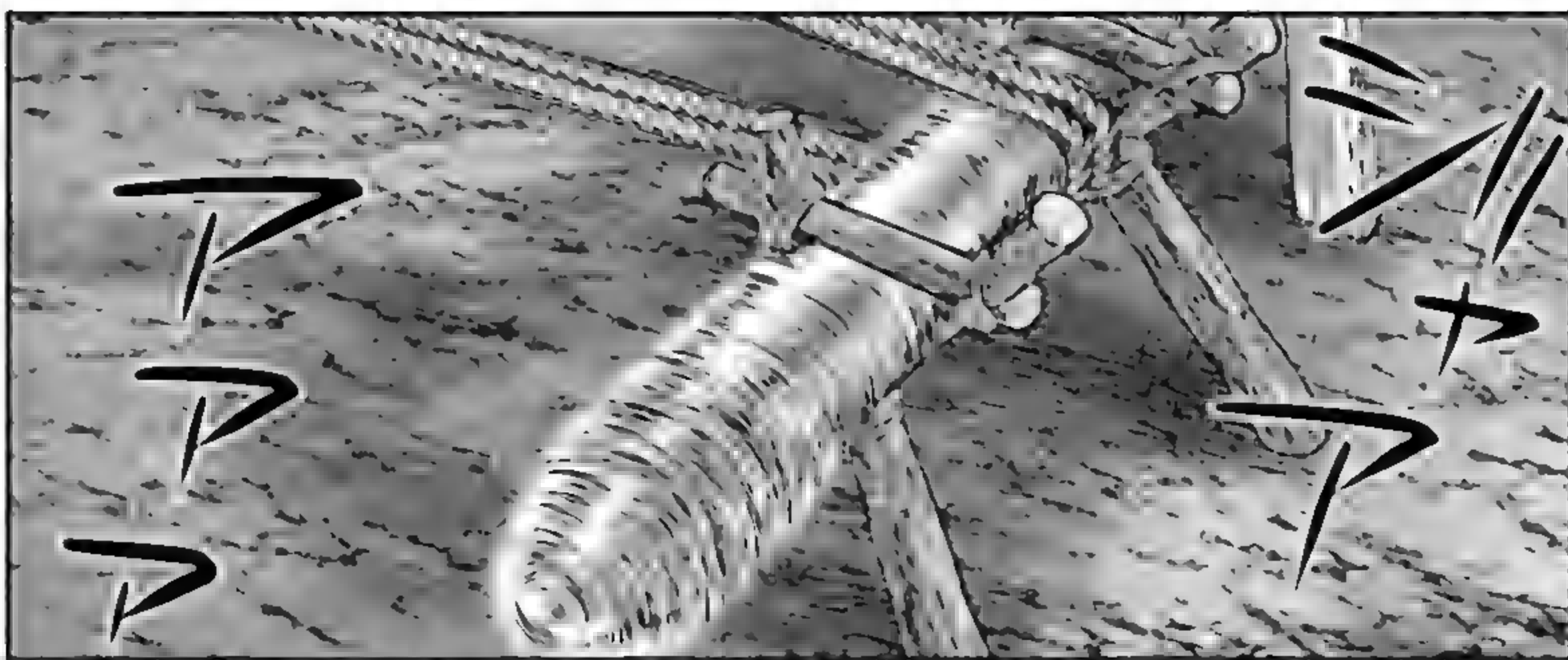


小さいのなら
こっちの方がいいにやー

おおおお



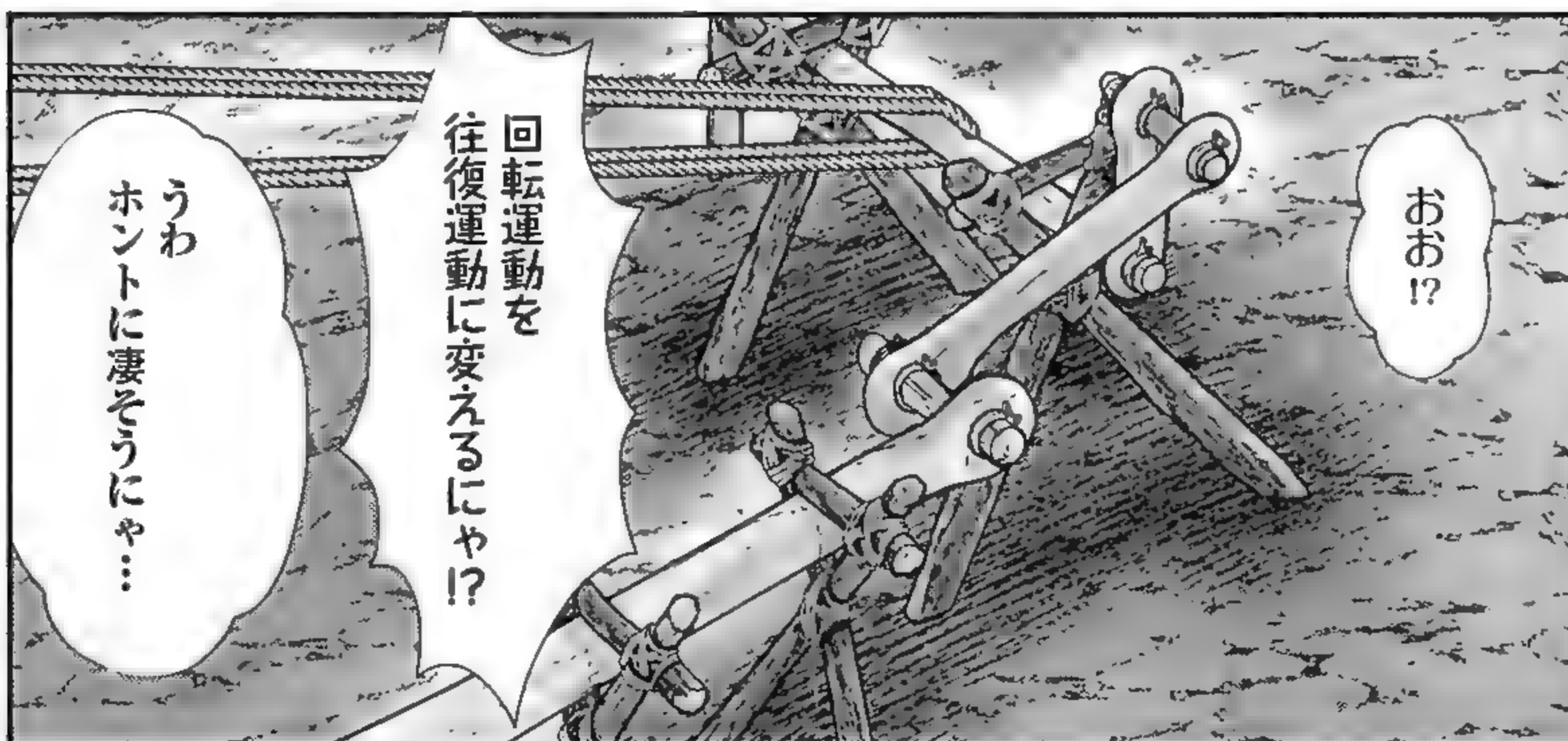


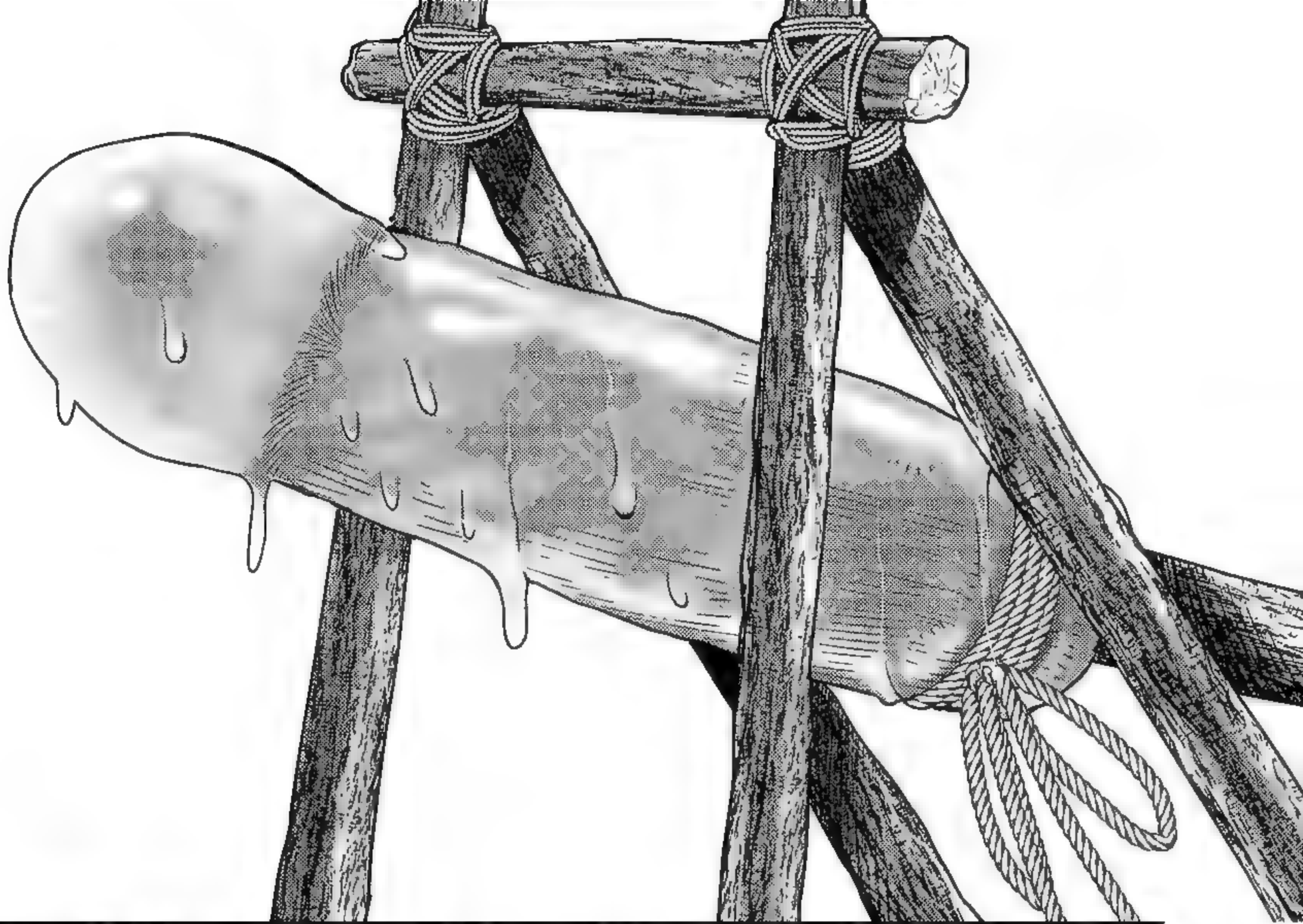


木とか石の
加工用にや？

オリツエが作ってた
「どりる」にや!!

弱いけど
案外使えそうにや



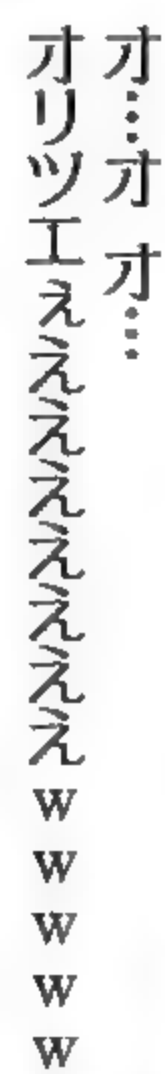


チ○ポキノコが…

動くにや♡

チ○ポキノコ
キノコの一種 表面はなめらかで
粘液ねんえきに覆われている
粘液ねんえき含め アルカリ系の苦みがあり
筋張すじばって硬いので食用にはならないが
実は毒性はなく全く無害である

軽く水洗いしたのち
使い捨てのバイブとして
使えるため
チ○ポキノコの名がついた





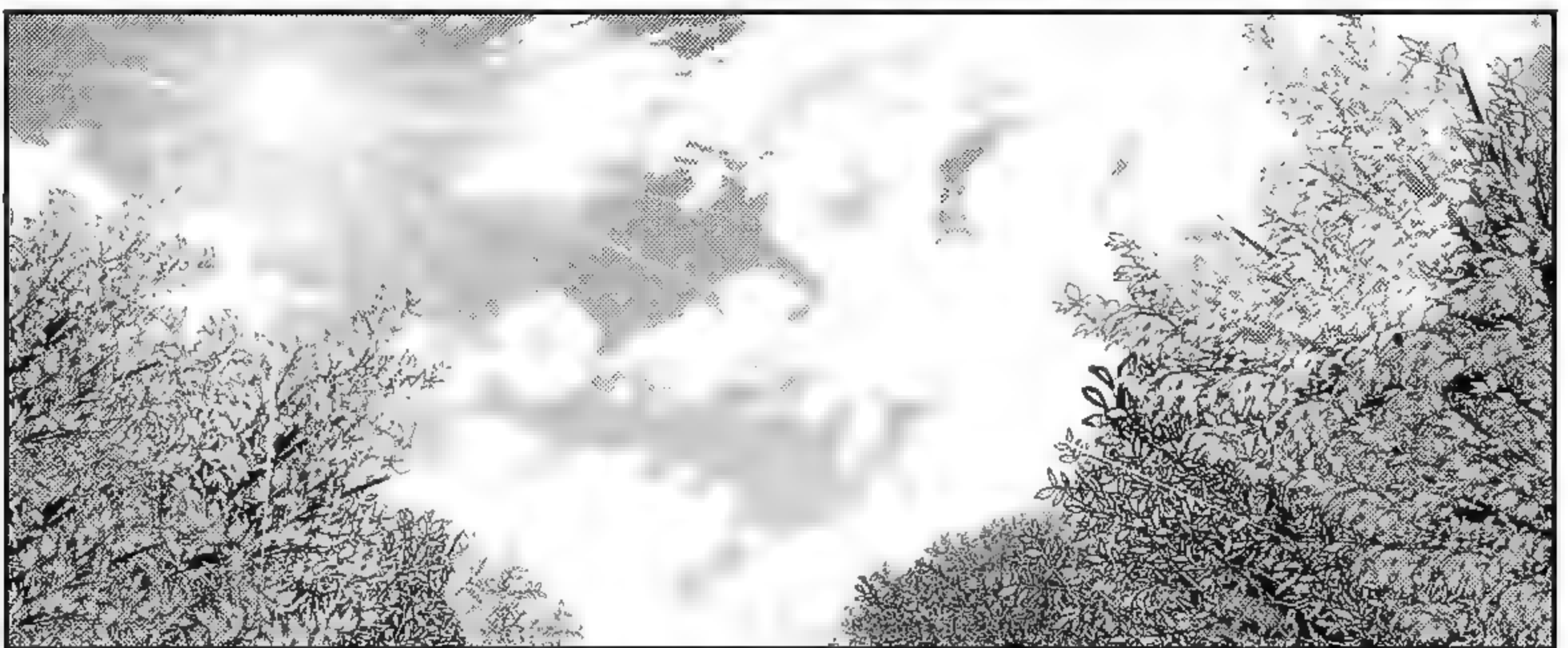
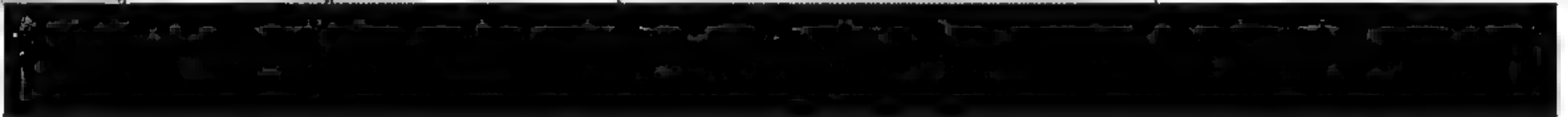


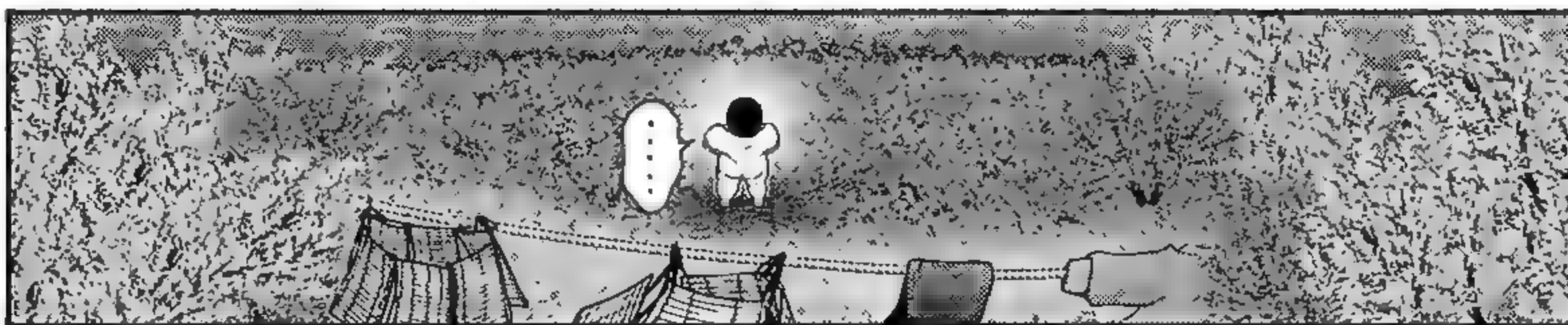
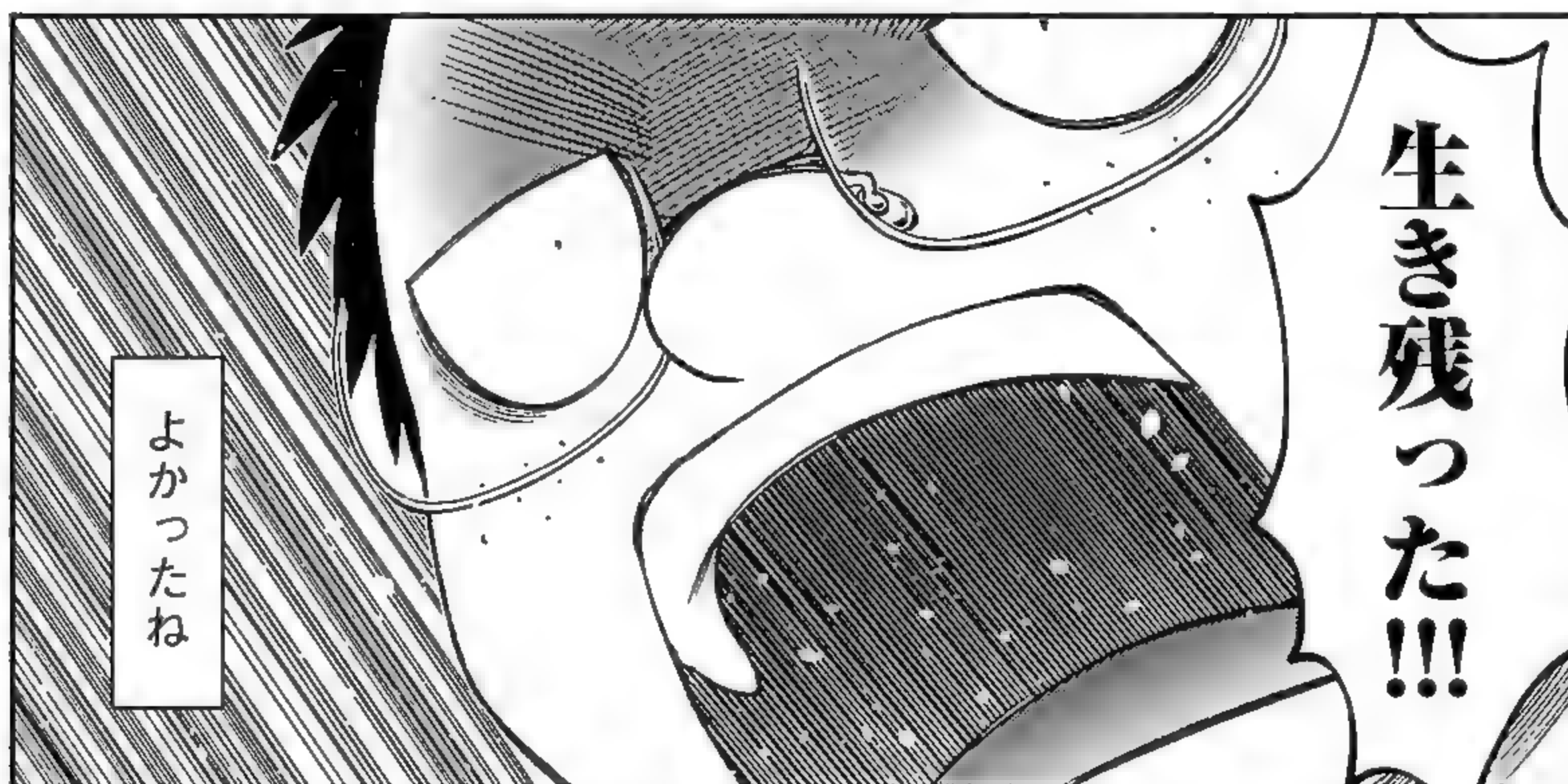














寒い！！

早く乾くといいね

服

NEXT「水中翼帆船」

藤澤江大志の異世界クリエータバイブル日誌 第7巻 / 完

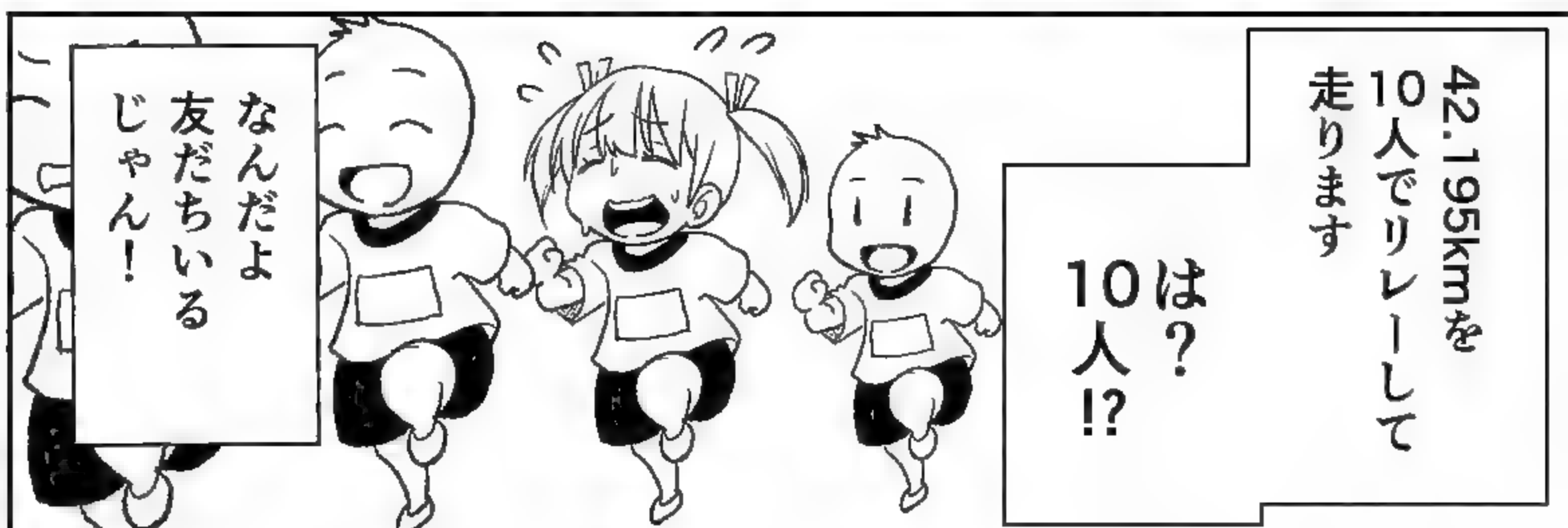
織津江大志^の
異世界ク^{むす}リ娘
サバイバル日誌





だったら
走ろう！

というわけで
リレーマラソンに
参加してきました



42.195kmを
10人でリレーして
走ります

は？
10人！？

なんだよ
友だちいる
じゃん！



そう思うじゃん
？

さて友だち
…とは？

足ひっぱん
なよ

足ひっぱん
なよ

足ひっぱん
なよ

足ひっぱん
なよ

足ひっぱん
なよ



あとがき

ともー。
原作のNAKERU様。

既述
30モデリング乳の
巨乳が知れぬまで
回っています。

作しい間に開って
モデリングしたくなる。
そして一度閉めてしまうと
気が付くと一日が経っている。

やあ。

それでは次巻もよろしくー。

全裸男性10人が
白昼のビーチに出現！
というニュースがありましたね
そもそも服を着ている状態が
不自然なのではと思う
今日この頃です。

昨今は犬も服を着て外出
しますが、そうして全裸犬が
ニュースになることでしょう。

乳を出しても
服は着る！

まあ…みんなが
全裸になっても
犬は服を着るけどね!!

では生きて8巻で
会いましょう。
ニギハヤヒさんよう！

カバーイラスト ボツ案より



ハルピュイアのハピちゃんが 超Hな発明を♡

大地震の後、ハルピュイア達を心配したために
津波に飲み込まれてしまった織津江大志。

上も下もわからぬ最悪の状況が続き…遂に海面に顔を出せた彼だが…!?
そんな織津江の状況を知らぬハルピュイア達は

織津江を真似、水車を作り、その力を利用してHな発明を…♡

『科学的に存在しうるクリチャー娘の観察日誌』公式スピンオフ第7弾!!



The otherworldly survival diary
of a young man with creature girls.

織津江大志の異世界グリ娘サバイバル日誌

The otherworldly survival diary of a young man with creature girls.

Story: KAKERU
Comic: Takahiro Seguchi

原作

KAKERU

漫画

瀬口たかひろ

Champion
RED Comics

RED

7



The otherworldly survival diary
of a young man with creature girls.

Story: KAKERU
Comic: Takahiro Seguchi



チャンピオンRED
コミックス

おり つ え たい し い せ かい
織津江大志の異世界
むす にっ し
クリ娘サバイバル日誌 7

2023年12月 1 日 初版発行

著 者

カ ケ ル
KAKERU・原作

せ ぐ ち
瀬口たかひろ・漫画

©KAKERU/Takahiro Seguchi 2023

発 行 者

牧 内 真 一 郎

発 行 所

株式会社 秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03) 3265-1326 販売(03) 3264-7248
製作(03) 3265-7373

印 刷 所

大日本印刷株式会社

Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載)

ISBN978-4-253-23999-8

デジタル版 2023年発行

製作所 デジタルカタパルト株式会社

<https://www.digital-catapult.com>